

## 2016年12月分新聞書評



台湾少女、洋裁に出会う～母とミシンの60年～

鄭 鴻生 著

紀伊國屋書店出版部

『主婦之友』『婦人倶楽部』...。日本統治下の1930年代の台湾で日本の婦人雑誌に魅了された少女は、親の反対を押しきって洋装店の見習いとなる。やがて台南に自ら洋裁学校を開校し...。母が息子に語った“小さな近代史”。

産経新聞 2016/12/03

2016:10./268p

978-4-314-01143-3

本体 ¥1,700+税



ふしぎ?ふしぎ!<時間>ものしり大百科<3> 感じる<時間>

藤沢 健太、井上 慎一 著

ミネルヴァ書房

時間に関する知識を、「過去から未来まで」を視野に入れてわかりやすく解説するシリーズ。3は、生き物と<時間>の関係のふしぎに迫る。見返しに「いろいろな動物の寿命」等あり。

産経新聞 2016/12/04

2016:8./39p

978-4-623-07709-0

本体 ¥2,800+税



ヴァリエティ

奥田 英朗 著

講談社

脱サラで会社を興した38歳の社長、渋滞中の車に知らない人を乗せる妻...。著者お気に入りの短編から、唯一のショートショート、敬愛するイッセー尾形、山田太一との対談まで、あれこれ贅沢に収録した蔵出し作品集。

産経新聞 2016/12/04

2016:9./270p

978-4-06-220226-8

本体 ¥1,200+税



籠の鸚鵡

辻原 登 著

新潮社

ヤクザ、ホステス、町役場の出納室長。欲望と殺意の果てに現れるむき出しの人間の姿。80年代半ば、バブル期の和歌山を舞台に、怒涛のスリルと静謐な思索が交錯する傑作長篇。『新潮』連載を書籍化。

産経新聞 2016/12/04

2016:9./316p

978-4-10-456306-7

本体 ¥1,600+税



村上春樹と私～日本の文学と文化に心を奪われた理由～

ジェイ・ルービン 著

東洋経済新報社

「IQ84」「ノルウェイの森」をはじめ、夏目漱石「三四郎」や芥川龍之介「羅生門」など数多くの日本文学を翻訳し、その魅力を紹介した世界的翻訳家が、村上春樹のこと、日本の文学と文化に心を奪われた理由を綴る。

産経新聞 2016/12/04

2016:11./228p

978-4-492-06202-9

本体 ¥1,500+税



- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2017年1月時点での税抜価格です。



**自由と愛国のマーチ～日の丸ギターが奏でる希望の唄～**

山口 采希 著

太陽出版

教育勅語、五箇条の御誓文、自衛隊、戦時歌謡曲、拉致問題…。日本の文化、伝統、歴史の大切さを訴え、歌にしている大阪出身の歌手・山口采希の自伝的エッセイ。

2016:12./ 239p

978-4-88469-889-8

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2016/12/04



**大人の気づかい～仕事も人間関係もうまくいく～**

坂東 眞理子 著

リベラル社

「女性の品格」の著者が、官僚、副知事、学長の経験から得た 45 のルール。仕事をしてきたなかで自分がしてもらった「気づかい」、あるいは自分が気づかされた「気づかい」を具体的な事例とともに紹介する。

2016:11./ 205p

978-4-434-22715-8

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2016/12/04



**トランプショックがせまる～貿易戦争・核戦争の危機～**

日高 義樹 著

海竜社

ホワイトハウスに入ることになったドナルド・トランプを待ち構えているのは、1930年以来の世界的な混乱である。大統領選後のアメリカはどうか、日本の安全保障は何が変わるのか、ワシントンからの最新情報を伝える。

2016:11./ 213p

978-4-7593-1514-1

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2016/12/04



**言葉の降る日**

加藤 典洋 著

岩波書店

静かに言葉は降り積もる。いまはもういない、あの人たちへの思いとともに。親しくその聲咳に接した吉本隆明、鶴見俊輔だけでなく、太宰治や坂口安吾など、その実像と思想の核心にふれ、切実なる生と死を彫琢する。

2016:10./ 8p,310p

978-4-00-022953-1

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2016/12/04、毎日新聞 2016/12/18



**汝の名はスパイ、裏切り者、あるいは詐欺師～インテリジェンス騎人伝～**

手嶋 龍一 著

マガジンハウス

キム・フィルビー、リヒャルト・ゾルゲ、ジュリアン・アサンジ…。彼らは世界を揺り動かす超一流の情報をいかにして手に入れたのか？ 極めつけの「インテリジェンス」を巡って諜報戦を繰り広げた伝説のスパイたちの軌跡。

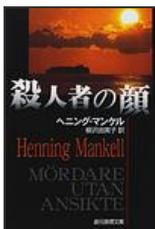
2016:11./ 263p

978-4-8387-2896-1

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2016/12/04、毎日新聞 2016/12/25



**殺人者の顔(創元推理文庫)**

ヘニング・マンケル 著

東京創元社

雪の予感がする早朝、動機不明の二重殺人が発生した。男は惨殺され、女も「外国の」と言い残して事切れる。片隅で暮らす老夫婦を、誰がかくも残虐に殺害したのか。療原の火のように燃えひろがる外国人排斥運動の行方は？

2001:1./ 430p

978-4-488-20902-5

本体 ¥1,000+税



産経新聞 2016/12/10



**殺人犯はそこにいる～隠蔽された北関東連続幼女誘拐殺人事件～(新潮文庫 し-53-2)**

清水 潔 著  
新潮社

栃木県足利市、群馬県太田市という隣接する 2 市で 5 人の少女が誘拐または殺害された。冤罪「足利事件」を含む一連の事件を同一犯による連続事件だと喝破した著者が、徹底した取材で真犯人を炙り出したノンフィクション。

2016:6./ 509p  
978-4-10-149222-3  
本体 ¥750+税



産経新聞 2016/12/10



**それも一局～弟子たちが語る「木谷道場」のおしえ～**

内藤 由起子 著  
水曜社

プロ棋士 53 人を育て上げた昭和を代表する大棋士・木谷實。自宅の「木谷道場」で、木谷はどのように内弟子たちを指導し、育てたのか。道場の近所で生まれ育った囲碁観戦記者が、木谷道場の足跡を綴る。

2016:10./ 240p  
978-4-88065-396-9  
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2016/12/11



**ノスタルジー1972**

中島 京子、早見 和真、朝倉 かすみ、堂場 瞬一、重松 清、皆川 博子 著  
講談社

1972。何かが終わり、すべてが始まった年。豪華執筆陣がノスタルジーとともに今に繋がる日本を描き出すクロニクルアンソロジー。

2016:11./ 235p  
978-4-06-220296-1  
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2016/12/11



**コブのない駱駝～きたやまおさむ「心」の軌跡～**

きたやま おさむ 著  
岩波書店

伝説の音楽グループ「フォーク・クルセダーズ」で活躍し、作詞家として数々のヒット曲を手がけながらも、マスコミの第一線から退き、精神科医となった著者の自伝。波乱に満ちた人生と「心」の軌跡を振り返る。

2016:11./ 8p,253p  
978-4-00-061158-9  
本体 ¥1,800+税



産経新聞 2016/12/11



**ヘダッ!**

三羽 省吾 著  
新潮社

桐山勇、18 歳。かなりの天狗。J1 のチームに加入が内定していたが、「ある噂」のために、突然の取消。仕方なく、JFL 所属の武山 FC へ、腰掛けのつもりで入ることにしたが…。『小説新潮』連載を単行本化。

2016:11./ 345p  
978-4-10-456802-4  
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2016/12/11



**小松左京さんと日本沈没秘書物語**

乙部 順子 著  
産経新聞出版

日本 SF 界の巨匠が最後に残したのは、希望のメッセージ。未来を、人間をあきらめなかった作家・小松左京と 34 年という時間を共に過ごしてきた秘書が、その素顔を綴る。『産経新聞』連載等を単行本化。

2016:11./ 215p  
978-4-8191-1293-2  
本体 ¥1,300+税



産経新聞 2016/12/11



**日台の架け橋として～居之無倦、行之以忠～**

江 丙坤、中日文教基金会 著  
日本工業新聞社

日本との貿易赤字、米国からの圧力、緊迫する中国との「兩岸関係」。戦後の台湾経済躍進の中心的役割を担った男は、いかにして困難に立ち向かったのか。自らの半生を辿りながら、数々の歴史的交渉の舞台裏を明かす。

2016:11./ 307p  
978-4-86306-126-2  
本体 ¥1,900+税



産経新聞 2016/12/11



**日本酒マニアック BOOK**

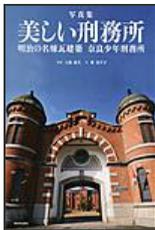
葉石 かおり 著  
シンコーミュージック

サブカルチャー的な視点で日本酒を楽しむための本。イケメン蔵元グラビア、思わずジャケ買いしたくなる日本酒マニアック銘柄 32 選、6 号酵母がもたらす日本酒の新時代、新世代蔵元の熱き挑戦など、面白記事が満載。

2016:11./ 111p  
978-4-401-64352-3  
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2016/12/11



**美しい刑務所～明治の名煉瓦建築奈良少年刑務所～**

西日本出版社

明治時代に建てられた、ロマネスク様式の奈良少年刑務所は、2017 年 3 月に刑務所としての 109 年の歴史に幕を閉じる。重厚な煉瓦造りの建物を写真で紹介するほか、刑務所に関わった人々が綴る思い出なども収録。

2016:11./ 131p  
978-4-908443-01-5  
本体 ¥1,800+税



産経新聞 2016/12/17



**綴られる愛人**

井上 荒野 著  
集英社

作家であり人の妻でもある女。地方に住む男子大学生。二人は立場を偽り、秘密の文通を始める。熱を帯びる手紙は、彼らを危険すぎる関係へいざない…。著者新境地、衝撃の長編恋愛サスペンス。

2016:10./ 269p  
978-4-08-771012-0  
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2016/12/18



**煽動者**

ジェフリー・ディーヴァー 著  
文藝春秋

集団パニックを引き起こし、大惨事を起こせー悪辣な愉快犯とダンスの頭脳戦。熾烈な戦いの最中、ダンスに失職の危機が迫る!

2016:10./ 495p  
978-4-16-390540-2  
本体 ¥2,400+税



産経新聞 2016/12/18



**東京甘味食堂**

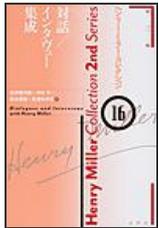
若菜 晃子 著  
本の雑誌社

あんみつ、くず餅、かき氷、みたらし団子にところてん…。東京の街角に今も残る昭和の風情漂う名店を訪ね歩ぐ甘味エッセイ。

2016:11./ 263p  
978-4-86011-293-6  
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2016/12/18



### ヘンリー・ミラー・コレクション<16> 対話/インタビュー集成

ヘンリー・ミラー 著  
水声社

1950年代から70年にかけて、ヘンリー・ミラーが自らの創作活動、ビッグ・サーやパリでの生活、友人・愛した女性たちとの関係などをテーマに多岐にわたり縦横に語った対話やインタビューを集成。略年譜、解説も収録。

2016:11./284p  
978-4-8010-0005-6  
本体 ¥3,000+税



産経新聞 2016/12/18



### 俗語発掘記消えたことば辞典(講談社選書メチエ 640)

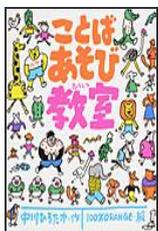
米川 明彦 著  
講談社

明治から現在までに消えていった俗語ばかりを集め、辞典風に紹介。「流行語の発生と消滅」「若者語の変化」などの解説も収録する。明治以降のもうひとつの風俗史が強烈に浮かび上がる一冊。

2016:12./253p  
978-4-06-258643-6  
本体 ¥1,650+税



産経新聞 2016/12/18



### ことばあそび教室

中川 ひろたか、100%ORANGE 著  
のら書店

たべものしりとり、しりとり川柳、あたまたに数字がつくことばを並べたかぞえうた、同じ音なのに違う意味のことば、ことばを絵に置きかえた手紙…。楽しいことばあそびが満載の絵本。

2016:11./39p  
978-4-905015-29-1  
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2016/12/18



### カフカはなぜ自殺しなかったのか?~弱いからこそわかること~

頭木 弘樹 著  
春秋社

親との関係、仕事、結婚…。カフカは人生のあらゆる場面で絶望していたが、それでも死を選ぶことはなかった。その事実からカフカの人生を見つめ直す。カフカの日記や手紙の面白さも紹介する。

2016:12./263p  
978-4-393-36543-4  
本体 ¥1,700+税



産経新聞 2016/12/18



### 震災復興にかける、ダイムラーの行動力。~東北をおこすリーダーを!~(ソーシャルイノベーション最前線 02)

ソーシャルイノベーション研究会 著  
日経BPコンサルティング

ダイムラーは、巨額の寄付金と50台の作業用車両を東日本大震災の被災地へ贈った。その寄付金をもとにしたリーダー育成プロジェクトと、そこから生まれた新事業を紹介する。切り取れる支援車両図鑑の一覧付き。

2016:12./157p  
978-4-86443-065-4  
本体 ¥1,000+税



産経新聞 2016/12/18



### 電王

高嶋 哲夫 著  
幻冬舎

幼い頃、級友に除け者扱いされる相場と取海を救った将棋。だが三段リーグ最終戦で惜敗した相場は棋界から去った。大人になり、トップ棋士として将棋ソフトと対局することになった取海は…。『ポンツーン』連載を加筆し書籍化。

2016:12./326p  
978-4-344-03046-6  
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2016/12/18



**つくおき〜週末まとめて作り置きレシピ〜(美人時間ブック)**

nozomi 著  
光文社

週末に作り置きして平日がラクになる!夫婦二人暮らしの1週間の作り置きレシピを、買い物から料理の流れまで紹介する。全レシピに調理時間・調理器具・金額つき。休日の食べきりレシピも収録。

2015:10./ 127p

978-4-334-97841-9

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2016/12/24



**小澤征爾**

小澤 征爾 著  
新潮社

その指先が、視線が、息づかいが紡ぎ出す至上の音楽。世界を魅了しながら、さらなる高みを求めて奏で続ける終わりのなき旅の道程...。傘寿を迎えた世界のマエストロ・小澤征爾、円熟の30年間の軌跡を辿る記念碑的写真集。

2016:8./ 167p

978-4-10-350211-1

本体 ¥6,400+税



産経新聞 2016/12/24



**飛鳥むかしむかし<飛鳥誕生編>(朝日選書 949)**

奈良文化財研究所 編  
朝日新聞出版

日本人の心のふるさと、飛鳥・藤原。なぜここに古代国家が誕生したのか。日本文化の基礎はいかにして形づくられたのか。日本国誕生の歴史を、カラー復原イラストを交えわかりやすく紹介。『朝日新聞』奈良版の連載を書籍化。

2016:8./ 230p,6p

978-4-02-263049-0

本体 ¥1,850+税



産経新聞 2016/12/31



**宮沢賢治全集<1> 春と修羅・春と修羅補遺・春と修羅 第二集(ちくま文庫)**

宮沢賢治 著  
筑摩書房

朝日新聞 2016/12/04

1986:2./ 744p

978-4-480-02002-4

本体 ¥1,100+税



**雁の寺・越前竹人形 改版(新潮文庫 み-7-3)**

水上 勉 著  
新潮社

乞食女の捨て子として惨めな日々を送ってきた少年僧慈念の、殺人にいたる鬱積した孤独な怨念の凝集を見詰める「雁の寺」と、はかない愛の姿を越前の竹林を背景に描く「越前竹人形」。水上勉の代表的名作2編を収める。

2012:12./ 341p

978-4-10-114103-9

本体 ¥550+税



朝日新聞 2016/12/04



**風の又三郎 改訂新版(角川文庫クラシックス)**

宮沢賢治 著  
角川書店

朝日新聞 2016/12/04

1996:6./ 198p

978-4-04-104009-6

本体 ¥440+税



**注文の多い料理店(新潮文庫)**宮沢 賢治 著  
新潮社

生前唯一の童話集『注文の多い料理店』全編と、「雪渡り」「茨海小学校」など、地方色の豊かな童話 19 編を収録。賢治が愛してやまなかった“ドリームランドとしての日本岩手県”の、闊達で果敢な住人たちとまとめて出会える一卷。

朝日新聞 2016/12/04

1990:5./ 358p

978-4-10-109206-5

本体 ¥440+税

**花男<1>(Big spirits comics special)**松本 大洋 著  
小学館

クールで常識的、成績優秀な小学 3 年生の茂雄は母親とふたり暮らし。夏休みを迎え、さあ、これから塾だ、がんばるぞ!というその時、母の花織から、夏休みの間、父のもとに行き暮らすようにと言われたからびっくり。

朝日新聞 2016/12/04

1998:12./ 240p

978-4-09-185731-6

本体 ¥857+税

**花男<2>(Big spirits comics special)**松本 大洋 著  
小学館

秋になった。花男は相変わらず、商店街の草野球チーム・フラワーズで活躍中だ。そして毎日、この街の小学校に転校した茂雄を迎えに行っている。だがそこに「人買い」と称する男が、花男の前に現れる。

朝日新聞 2016/12/04

1998:12./ 238p

978-4-09-185732-3

本体 ¥857+税

**花男<3>(Big spirits comics special)**松本 大洋 著  
小学館

クラスメイトに秘密のアジトへ案内された茂雄。大人ぶって冷めた態度をとるものの、話をしているうちに、ちよつとが力が入ってきた。とりあえず「街の平和を守るため」、探偵団が作った第 1 目標は、口の悪い駄菓子屋のババアだ。

朝日新聞 2016/12/04

1998:12./ 255p

978-4-09-185733-0

本体 ¥857+税

**夢みる教養～文系女性のための知的生き方史～(河出ブックス 097)**小平 麻衣子 著  
河出書房新社

「教養」という語に折りたたまれた心性の変遷を解きほぐし、前向きに学ぶ女性たちの、実現されない夢の構造を明らかにする。

朝日新聞 2016/12/04

2016:9./ 201p

978-4-309-62497-6

本体 ¥1,500+税

**身体が語る人間の歴史～人類学の冒険～(ちくまプリマー新書 265)**片山 一道 著  
筑摩書房

人間はなぜユニークなのか。日本からポリネシアまで、世界をめぐる人類学者が、身体の歴史を読みとき、人間という存在の本質に迫る。

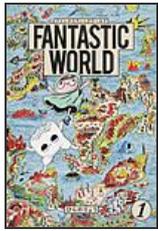
朝日新聞 2016/12/04

2016:10./ 239p

978-4-480-68971-9

本体 ¥860+税





**FANTASTIC WORLD<1>(to ti comics)**

ひらの りょう 著

リイド社

地球の内側には、もう一つの文明がありました。人と人外たちの知られざる歴史と景観、少年ピコと親友(!?)歯ちゃんの大冒険活劇。

朝日新聞 2016/12/04

2016:10./ 281p

978-4-8458-4430-2

本体 ¥2,980+税



\* 9 7 8 4 8 4 5 8 4 4 3 0 2 \*



**住友銀行秘史**

國重 惇史 著

講談社

保身に走る上司とぶつかり、裏社会の勢力と闘ったのは、銀行を愛してやまないひとりのバンカーだった。戦後最大の経済事件「イトマン事件」の内部告発を行った元住友銀行取締役が、すべてを綴った手記を公開する。

朝日新聞 2016/12/04

2016:10./ 469p

978-4-06-220130-8

本体 ¥1,800+税



\* 9 7 8 4 0 6 2 2 0 1 3 0 8 \*



**ニッポンエロ・グロ・ナンセンス～昭和モダン歌謡の光と影～(講談社選書メチエ 637)**

毛利 真人 著

講談社

関東大震災から日中戦争へと至る時代。モボとモガが闊歩し、刹那的な享楽主義が都市を覆い、眩い光彩を放った。あまりにも不埒な歌詞と軽佻浮薄なメロディ。日本歌謡史のミッシング・リンクを明らかにする。

朝日新聞 2016/12/04

2016:10./ 314p

978-4-06-258640-5

本体 ¥1,850+税



\* 9 7 8 4 0 6 2 5 8 6 4 0 5 \*



**棺の女(小学館文庫 カ3-1)**

リサ・ガードナー 著

小学館

ガレージで発見された、黒焦げの男の遺体。殺したのは、男に監禁されていた二十代の女性フローラ。現場に駆けつけた女刑事 D・D は、彼女がかつて世間を騒がせた誘拐監禁事件の被害者だったことを知るが…。ハードサスペンス。

朝日新聞 2016/12/04

2016:11./ 621p

978-4-09-406359-2

本体 ¥970+税



\* 9 7 8 4 0 9 4 0 6 3 5 9 2 \*



**幻の料亭・日本橋「百川」～黒船を饗した江戸料理～**

小泉 武夫 著

新潮社

維新の荒波は、名だたる文化人たちがつどう料亭「百川」にも否応なく押し寄せた…。食の伝道師・小泉センセイが、饗応料理の真髄と化政文化の醍醐味を鮮やかに描き出し、高級料亭消滅の謎を追う。

朝日新聞 2016/12/04

2016:10./ 189p

978-4-10-454805-7

本体 ¥1,300+税



\* 9 7 8 4 1 0 4 5 4 8 0 5 7 \*



**生きる理由を探してる人へ(角川新書 K-105)**

大谷 ノブ彦、平野 啓一郎 著

KADOKAWA

「自殺=悪」の決めつけが遺族を苦しめることもある。それでも自殺は「しないほうがいい」。追いつめられていても、現状から脱出して「違うかたちで生きる」という道を提示できないか。芸人と作家による異色対談。

朝日新聞 2016/12/04

2016:10./ 200p

978-4-04-082070-5

本体 ¥800+税



\* 9 7 8 4 0 4 0 8 2 0 7 0 5 \*



**僕らの落語～本音を語る! 噺家×噺家の対談集～(淡交新書)**

広瀬 和生 著  
淡交社

落語ファン、必読! 米團治×花緑、白酒×一之輔、百栄×兼好、こみち×粹歌、人気・実力を兼ね備えた落語家 4 組による対談集。

2016:10./ 271p  
978-4-473-04128-9  
本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2016/12/04



**なぜ日本のフランスパンは世界一になったのか～パンと日本人の 150 年～(NHK 出版新書 501)**

阿古 真理 著  
NHK出版

コッペパン、あんパン、食パン…。技術革新と「和洋折衷」力で、独自のパン文化を築いた日本。空前のパンブームの背景にある、先人たちの苦闘の歴史をひもとく。パンだけでなく、「食」にまつわる現代の動きがわかる一冊。

2016:10./ 253p  
978-4-14-088501-7  
本体 ¥780+税



朝日新聞 2016/12/04



**鎌鼬～田代の土方巽～**

鎌鼬美術館 編  
慶應義塾大学出版会

1965 年 9 月、二人の男が何の前触れもなく田代の村に現れ、田んぼや野良を駆け回り、古民家に潜り込んで、撮影を行った。細江英公による舞踏家・土方巽の写真などを、秋田県田代の鎌鼬美術館が編集。

2016:11./ 62p  
978-4-7664-2387-7  
本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2016/12/04



**全国ローカル路線バス～車窓から日本を再発見!～(じっぴコンパクト新書 296)**

ブルーガイド編集部 編  
実業之日本社

荷物の輸送やスクールバスといった、地域の重要な足。被災地の代替輸送や離島、火山など過酷な環境に行く路線。1 日片道 1 便などの、ユニークな運行形態の路線…。地元のために様々な役割を担う、全国の路線バス事情を紹介。

2016:10./ 183p  
978-4-408-00891-2  
本体 ¥850+税



朝日新聞 2016/12/04



**ありふれた折り(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM443-1)**

ウィリアム・ケント・クルーガー 著  
早川書房

フランクは少年時代のできごとを回想する。思いがけない悲劇が彼の家族を襲い、やがて明らかになるのは……ひと夏の事件を静かに描く感動のミステリ。解説/北上次郎

2016:11./ 491p  
978-4-15-182351-0  
本体 ¥1,060+税



朝日新聞 2016/12/04



**自分の時間を取り戻そう～ゆとりも成功も手に入れられるたった 1 つの考え方～**

ちきりん 著  
ダイヤモンド社

多忙で余裕のない 4 人の物語から浮かび上がる「日本で働く人たちの問題点」とは? 世界中で進みつつある「大きな変化」とは? 生産性の重要性と上げ方を事例とともに解説し、自分の時間を取り戻す具体的な方法を伝授する。

2016:11./ 251p  
978-4-478-10155-1  
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/12/04



**ザ・ニュー・ゲート<08> 神刀の継承者**

風波 しのぎ、魔界の住民 著

アルファポリス

オンラインゲームの世界からリアル異世界へ飛ばされたシンは、島国ヒノモトの姫・奏たちの故郷まで同行することに。平穏なヒノモトだが、裏では動乱を起こそうとする存在が暗躍していて…。『小説家になろう』掲載を書籍化。

2016:11./ 297p

978-4-434-22698-4

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2016/12/04



**月が導く異世界道中<10>**

あずみ 圭 著

アルファポリス

リミアの王都に飛ばされた真と識は、正体がバレないようにコスプレ姿で魔将と対決。ところがそこに、ヒューマン最強の女剣士・竜殺しソフィアと刃竜ランサーのコンビが現れて…。『小説家になろう』掲載を改稿して書籍化。

2016:11./ 274p

978-4-434-22683-0

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2016/12/04



**また、桜の国で**

須賀 しのぶ 著

祥伝社

ワルシャワの在ポーランド日本大使館に着任した外務書記生の慎。ロシア人の父を持つ彼は戦争回避に向け奔走し、アメリカ人記者レイと知り合う。だが遂にドイツがポーランドに侵攻し…。『小説 NON』連載を加筆訂正。

2016:10./ 497p

978-4-396-63508-4

本体 ¥1,850+税



朝日新聞 2016/12/04、朝日新聞 2016/12/25



**罪の声**

塩田 武士 著

講談社

父の遺品の中からカセットテープを見つけた俊也。幼い自分の声の音声は 31 年前の未解決事件で恐喝に使われた録音テープと全く同じだった。「グリコ・森永事件」をモデルにした長編小説。『小説現代』電子版連載を単行本化。

2016:8./ 409p

978-4-06-219983-4

本体 ¥1,650+税



朝日新聞 2016/12/04、朝日新聞 2016/12/25、読売新聞 2016/12/25



**妻への祈り~島尾敏雄作品集~(中公文庫 し 10-6)**

梯 久美子 編

島尾 敏雄 著

中央公論新社

特攻隊隊長として赴任した加計呂麻島での出会い、不安と嫉妬で苦しみ心を病んでいく妻、奄美へ移住し重ねていく日々…。純文学の極北と称された島尾敏雄の諸作品から、妻ミホの姿を浮かび上がらせる文庫オリジナル編集。

2016:11./ 459p

978-4-12-206303-7

本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2016/12/04、読売新聞 2016/12/25



**試行錯誤に漂う**

保坂 和志 著

みすず書房

自分の中に外からかすかに聞こえてくる音ともいえない音、声ともいえない声、光の筋ともいえない光の筋に少しでも近づくために書く…。書くこと、考えることの自由を体現する小説家によるエッセイ。『みすず』掲載を書籍化。

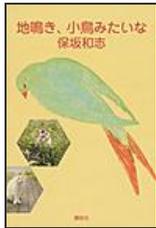
2016:10./ 307p

978-4-622-08541-6

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2016/12/04、日本経済新聞 2016/12/04



**地鳴き、小鳥みたいな**

保坂 和志 著

講談社

夏。K先生の訃報。若い友人の死。20代で出会ったある先生との忘れがたい対話。枯れて見えたその先生から聞かされた性欲をめぐる話が意外で…。記憶の体感を綴る4篇。『群像』他掲載を単行本化。

2016:10./ 216p

978-4-06-220287-9

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/12/04、日本経済新聞 2016/12/25、毎日新聞 2016/12/25



**坊ちゃんのそれから**

芳川 泰久 著

河出書房新社

大暴れして教師を辞め、東京に帰った坊っちゃんとしん。激動の明治を駆け抜ける二人の「それから」を描く、驚愕の「続坊っちゃん」!

2016:10./ 299p

978-4-309-02508-7

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/12/04、毎日新聞 2016/12/04



**寄りかからず(ちくま文庫)**

茨木 のり子 著

筑摩書房

強い意志とナイーヴな感受性によって紡ぎだされた詩集『寄りかからず』に「球を蹴る人」「草」「行方不明の時間」の詩3篇と高瀬省三氏のカット16点を添えて贈る瀟洒な一冊。

2007:4./ 136p

978-4-480-42323-8

本体 ¥580+税



朝日新聞 2016/12/11



**愚行の世界史～トロイアからベトナムまで～<上>(中公文庫)**

バーバラ・W.タックマン 著

中央公論新社

国王や政治家たちは、なぜ国民の利益と反する政策を推し進めてしまうのか。世界史上に名高い四つの事件を詳述し、失政の原因とメカニズムを探る。

2009:12./ 374p

978-4-12-205245-1

本体 ¥1,190+税



朝日新聞 2016/12/11



**愚行の世界史～トロイアからベトナムまで～<下>(中公文庫)**

バーバラ・W.タックマン 著

中央公論新社

歴史家タックマンが俎上にのせたのは、ルネサンス期教皇庁の墮落、アメリカ合衆国独立を招いた英国議会の奢り。そして最後にベトナム戦争をとりあげる。

2009:12./ 411p

978-4-12-205246-8

本体 ¥1,238+税



朝日新聞 2016/12/11



**競売ナンバー49の叫び(ちくま文庫)**

トマス・ピンチオン 著

筑摩書房

ある夏の日の午後、主人公エディパは、大富豪ピアス・インヴェラリティの遺言管理執行人に指名されたことを知る。偽造切手とは?郵便ラップとは?立ち現われる反体制的なコミュニケーションの方法とその歴史。

2010:4./ 367p

978-4-480-42696-3

本体 ¥900+税



朝日新聞 2016/12/11



**おばちまは飛び入りスパイ(集英社文庫)**

ドロシー・ギルマン 著  
集英社  
朝日新聞 2016/12/11

1988:12./ 395p  
978-4-08-760154-1  
本体 ¥686+税



**2666**

ロベルト・ボラーニョ 著  
白水社  
途方もない野心と圧倒的なスケールで描く、戦慄の黙示録的世界。鬼才が最後に遺した、記念碑的大巨篇!

2012:9./ 868p  
978-4-560-09261-3  
本体 ¥7,000+税



**プロット・アゲンスト・アメリカ～もしもアメリカが...～**

フィリップ・ロス、柴田 元幸 著  
集英社  
第二次大戦時に、元飛行士で反ユダヤ主義者リンドバーグが大統領になったら? 7歳の少年の目線で差別にさらされる恐怖と家族・民族・国家を描く。歴史改変長編小説。『すばる』掲載を単行本化。

2014:8./ 531p  
978-4-08-773486-7  
本体 ¥2,200+税



**LIFE SHIFT～100年時代の人生戦略～**

リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット 著  
東洋経済新報社  
多くの人が 100 年以上生きる社会で、どうすれば、個人や家族、企業、社会全体が長寿化から得る恩恵を最も大きくできるのか。世界で活躍するビジネス思想家たちが、成長至上の次に来る、新しいビジョンを示す。

2016:10./ 399p,15p  
978-4-492-53387-1  
本体 ¥1,800+税



**生命、エネルギー、進化**

ニック・レーン 著  
みすず書房  
生命誕生から真核生物と有性生殖が登場するまでの「生物学のブラックホール」のプロセスを、化学反応とエネルギー論の観点から具体的に描出。生命の起源・複雑化・性・死といった難題を統一的に解釈する。

2016:9./ 343p,51p  
978-4-622-08534-8  
本体 ¥3,600+税



**熟語本位英和中辞典 新版**

斎藤 秀三郎 著  
岩波書店  
熟語を重視した豊富な用例、懇切な文法解説、多様な文体を駆使した訳文の英和辞典。常用漢字体と現代仮名遣いに改めた新版。全文検索が可能な新版テキスト、底本本文を収録した CD-ROM 付き。

2016:10./ 21p,1,984p  
978-4-00-080319-9  
本体 ¥10,000+税

朝日新聞 2016/12/11



### ユーラシアニズム～ロシア新ナショナリズムの台頭～

チャールズ・クローヴァー 著

NHK出版

2014年のウクライナ危機以降、プーチン政権の真の狙いは一体どこにあるのか?「ユーラシア連合」の構想は何を指すのか?百年前から密かに受け継がれてきたロシア独自の地政学的イデオロギーの実態を解明する。

朝日新聞 2016/12/11

2016:9./ 545p,28p,1p

978-4-14-081706-3

本体 ¥3,300+税



### 経済学のすすめ～人文知と批判精神の復権～(岩波新書 新赤版 1622)

佐和 隆光 著

岩波書店

経済学にくわえて、文学・哲学・歴史学・思想史を学び、経済学を水面下で支える思想信条に基づく批判精神を培う。思考力・判断力・表現力を鍛えるためにモラル・サイエンスとしての経済学がいかに役立つのかを解き明かす。

朝日新聞 2016/12/11

2016:10./ 8p,210p

978-4-00-431622-0

本体 ¥780+税



### 犯罪小説集

吉田 修一 著

KADOKAWA

人間の深奥に潜む、弱く、歪んだ心。どうしようもなく罪を犯してしまった人間と、それを取り巻く人々の業と哀しみを描ききった珠玉の5篇。2007年『悪人』、14年『怒り』、そして……著者最高傑作の誕生。

朝日新聞 2016/12/11

2016:10./ 331p

978-4-04-104738-5

本体 ¥1,500+税



### 死者は語らずとも(PHP文芸文庫 か3-3)

フィリップ・カー 著

PHP研究所

ナチス政権下のベルリン。オリンピック開催の陰謀に巻き込まれた元刑事グンターの孤独な闘いを描いた英国推理作家協会賞受賞作。

朝日新聞 2016/12/11

2016:9./ 701p

978-4-569-76557-0

本体 ¥1,400+税



### Fランク化する大学(小学館新書 281)

音 真司 著

小学館

講義中にモップが飛んでくる、授業はテレビ番組タレ流し、教員減らして体育会に有名監督……。教員だった著者が、Fランク化(劣化)が止まらない大学の病の根本と大学選びの落とし穴を明らかにする。良い大学の選び方にも言及。

朝日新聞 2016/12/11

2016:10./ 189p

978-4-09-825281-7

本体 ¥780+税



### 柳田国男～知と社会構想の全貌～(ちくま新書 1218)

川田 稔 著

筑摩書房

日本民俗学はいかにして形成されたのか。農政官僚から学者への転身の中で紡がれた社会構想をはじめ、その壮大な知の全貌を解明する。

朝日新聞 2016/12/11

2016:11./ 572p,2p

978-4-480-06928-3

本体 ¥1,300+税





**日米開戦と人造石油(朝日新書 588)**

岩間 敏 著  
朝日新聞出版

石炭から石油を作る。日本はヒトラーが主導して成功した「人造石油」の技術に幻惑された。戦後公開された機密資料を読み解き、今までほとんど明らかにされてこなかった、日米開戦の過程と人造石油開発の実態に迫る。

2016:10./ 269p  
978-4-02-273688-8  
本体 ¥780+税



朝日新聞 2016/12/11



**使用人たちが見たホワイトハウス～世界一有名な「家」の知られざる裏側～**

ケイト・アンダーセン・ブラウワー 著  
光文社

ホワイトハウスの中はどうなっている?大統領一家と使用人たちの強固な信頼関係の秘密とは?執事、ドアマン、シェフ...。ケネディ～オバマのアメリカ歴代大統領に仕えた数多くのスタッフが、ホワイトハウスの真の姿を語る。

2016:10./ 445p 図版  
16p  
978-4-334-97894-5  
本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2016/12/11



**死後の恋～夢野久作傑作選～(新潮文庫 ゆ-15-1)**

夢野 久作 著  
新潮社

ロシア革命直後のウラジオストックで、怪しい男がロマノフ王家の宝石にまつわる奇妙な体験を語る表題作をはじめ、夢と現の狭間へと誘う奇才・夢野久作ワールドから厳選した甘美と狂気の全 10 編を収録。

2016:11./ 450p  
978-4-10-120641-7  
本体 ¥630+税



朝日新聞 2016/12/11



**子どもと貧困**

朝日新聞取材班 著  
朝日新聞出版

想像を超える孤立と無力感の中で生きる子どもたち。貧困は本当に努力で解決できる「自己責任」なのか。6人に1人とされる子どもの貧困の実態に迫り、解決を探る。『朝日新聞』連載に加筆・修正・追加取材を行い書籍化。

2016:10./ 264p,6p  
978-4-02-251424-0  
本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2016/12/11



**宗秋月全集～在日女性詩人のさきがけ～**

宗 秋月 著  
土曜美術社出版販売

言葉を遊ぶ余裕など、私にはないのだ。言葉は私の命であり、詩は命ぎりぎりの叫びの、おさえなのだ。2011年に亡くなった在日女性詩人の詩、小説、エッセイ、語りを収めた作品集。英訳、韓国語訳された詩も併録する。

2016:9./ 637p,30p  
978-4-8120-2329-7  
本体 ¥4,200+税



朝日新聞 2016/12/11



**21世紀の豊かさ～経済を変え、真の民主主義を創るために～**

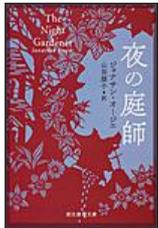
ホセ・ルイス・コラッジオ 編  
コモンズ

南米・ヨーロッパ・米国・日本の精鋭 12 人が、各地の社会運動を踏まえながら、オルタナティブな経済・政治・社会への道筋を多角的に展開。21 世紀型の豊かさを構想する。

2016:10./ 415p  
978-4-86187-137-5  
本体 ¥3,300+税



朝日新聞 2016/12/11



**夜の庭師(創元推理文庫 Fオ 5-1)**

ジョナサン・オージェ 著  
東京創元社

天性の語り手である 14 歳のモリーは、弟と命からがらイングランドに辿り着き、ようやく雇ってくれるところをみつけた。そこで彼らを待っていたのは、奇怪な屋敷と、夜中に屋敷を歩き回る不気味な人影...夜の庭師だった。

朝日新聞 2016/12/11

2016:11./ 426p  
978-4-488-53902-3  
本体 ¥1,160+税



**えんとつ町のプペル**

にしの あきひろ 著  
幻冬舎

信じぬくんだ。たとえひとりになっても-。えんとつだらけの町。そこに住むひとは、黒い煙にとじこめられて、青い空を知りません。えんとつそうじ屋の少年ルビッチは、ハロウインの日にあられたゴミ人間のプペルと出会い...

朝日新聞 2016/12/11

2016:10./ 1 冊(ページ付なし)  
978-4-344-03016-9  
本体 ¥2,000+税



**少年が来る(新しい韓国の文学 15)**

ハン ガン 著  
クオン

1980 年 5 月 18 日、韓国の光州で起きた民主化抗争・光州事件。あのとき、生を閉じた者の身に何が起きたのか。生き残った者は、あれからどうやって生きてきたのか。光州事件で命を落とした人々への鎮魂の物語。

朝日新聞 2016/12/11

2016:10./ 275p  
978-4-904855-40-9  
本体 ¥2,500+税



**キラーストレス～心と体をどう守るか～(NHK 出版新書 503)**

NHK スペシャル取材班 著  
NHK出版

知らないうちに私たちの心と体をむしばむストレス、キラーストレスのメカニズムを明らかにするとともに、さまざまなストレス対策法を紹介する。ライフイベントストレスチェック付き。NHK スペシャルをもとに書籍化。

朝日新聞 2016/12/11

2016:11./ 232p  
978-4-14-088503-1  
本体 ¥780+税



**結んで放して(Action Comics)**

山名 沢湖 著  
双葉社

同人誌の世界を舞台に、人生の岐路に立つ女性たちの気持ち、優しく切なく静かに沁み渡る、表題作「結んで放して」を含む、珠玉の短編集。

朝日新聞 2016/12/11

2016:11.  
978-4-575-84885-4  
本体 ¥600+税



**ポロゴーフはミムジイ～伊藤典夫翻訳 SF 傑作選～(ハヤカワ文庫 SF 2102)**

ルイス・パジェット 著  
早川書房

不可思議なおもちゃを手にした兄妹の成長を描く表題作他、7 篇を収録するアンソロジー

朝日新聞 2016/12/11、読売新聞 2016/12/11

2016:11./ 431p  
978-4-15-012102-0  
本体 ¥980+税





**僕が写した愛しい水俣**

塩田 武史 著  
岩波書店

私は 20 代半ばの若者だった。カメラマンとして、仕事として水俣に入ったのではない…。当時、衝撃とともに受けとめられた写真と、30 年を経て甦った秘蔵の写真の数々を、思いをこめて編み上げた記録。

朝日新聞 2016/12/18

2008:2./ 138p  
978-4-00-024764-1  
本体 ¥2,400+税

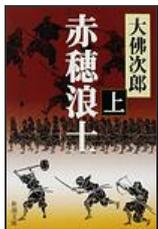


**ゴルファーを笑え!(新潮文庫)**

夏坂 健 著  
新潮社

朝日新聞 2016/12/18

1997:3./ 346p  
978-4-10-146021-5  
本体 ¥514+税



**赤穂浪士<上> 改版(新潮文庫)**

大仏 次郎 著  
新潮社

朝日新聞 2016/12/18

2007:12./ 696p  
978-4-10-108304-9  
本体 ¥857+税



**宇井純セレクション<1> 原点としての水俣病**

藤林 泰、宮内 泰介、友澤 悠季 編  
宇井 純 著  
新泉社

公害とのたたかいに生きた環境学者・宇井純の珠玉の文章を選びすぎり、その足跡と思想の全体像を集成。1 は、水俣病問題を、歴史的経緯、社会の構造、地域の生活、科学技術など多角的な視点から論じた 35 編を収録。

朝日新聞 2016/12/18

上製本/ 2014:7./ 408p  
978-4-7877-1401-5  
本体 ¥2,800+税



**宇井純セレクション<2> 公害に第三者はない**

藤林 泰、宮内 泰介、友澤 悠季 編  
宇井 純 著  
新泉社

公害とのたたかいに生きた環境学者・宇井純の珠玉の文章を選びすぎり、その足跡と思想の全体像を集成。2 は、公害の歴史に学び、住民運動の現場を歩き、いまも公害を生み出し続ける日本社会の歪みを問う 39 編を収録。

朝日新聞 2016/12/18

上製本/ 2014:7./ 381p  
978-4-7877-1402-2  
本体 ¥2,800+税



**宇井純セレクション<3> 加害者からの出発**

藤林 泰、宮内 泰介、友澤 悠季 編  
宇井 純 著  
新泉社

公害とのたたかいに生きた環境学者・宇井純の珠玉の文章を選びすぎり、その足跡と思想の全体像を集成。3 は、工場から水銀を流した加害者の一人としての悔恨を記し、ゆるやかな適正技術のありようを提言する 39 編を収録。

朝日新聞 2016/12/18

上製本/ 2014:7./ 385p  
978-4-7877-1403-9  
本体 ¥2,800+税





**エクサスケールの衝撃～次世代スーパーコンピュータが壮大な新世界の扉を開く～**

齊藤 元章 著

PHP研究所

「エネルギーがフリーに」「働く必要のない社会」「人類が不老を得る」……。「エクサスケール・コンピューティング」で全てが変わる!

2014.12./ 587p

978-4-569-81892-4

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2016/12/18



**ゴルフがある幸せ。(日経ビジネス人文庫 な2-4)**

夏坂 健 著

日本経済新聞出版社

笑いあり、エスプリあり、そして涙ありー。ゴルフに憑かれた古今東西の名人・達人・奇人たちによる珍談・奇談・美談を満載。「読むゴルフ」の伝道師・夏坂健の傑作選。

2015.1./ 359p

978-4-532-19753-7

本体 ¥850+税



朝日新聞 2016/12/18



**ダーウィンの覗き穴～性的器官はいかに進化したか～**

メノ・スヒルトハウゼン 著

早川書房

ペニスにバイブを備えたガガンボ? イケてる雄とそうでない雄の精子を使い分けるクモ? ありそうでなかった「生殖器の科学」を、生物学者のガイドと多数の図版で紹介する。

2016.1./ 340p

978-4-15-209596-1

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2016/12/18



**小さな家を素敵に変えるアイデア～予算をかけずに部屋をおしゃれに!～(講談社の実用 BOOK)**

渡辺 ゆり子 著

講談社

ニトリ、東急ハンズ、ネット通販、オカダヤの小物で、海外ホテルのようにエレガントな空間に! カリスマコーディネーターが、ごく普通の狭小住宅でも「低予算で素敵に見せる裏ワザ」を惜しみなく公開します。

2016.10./ 95p

978-4-06-299854-3

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/12/18



**ごはんの時間～井上ひさしがいた風景～**

井上 都 著

新潮社

楽しかった子供時代。父と母の離婚。和解出来ぬまま亡くなった父…。井上ひさしの長女である著者が、あのごはん、このおかずの懐かしい記憶とともに綴るエッセイ集。『毎日新聞』連載を書籍化。

2016.9./ 173p

978-4-10-350281-4

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/12/18



**最も危険なアメリカ映画～『国民の創生』から『バック・トゥ・ザ・フューチャー』まで～**

町山 智浩 著

集英社インターナショナル

全米に人種差別を蘇らせた「名画」、米軍が封印した「巨匠の記録映画」、今も論争が続く「感動作」、トランプ現象を予告した「問題作」——アメリカ映画の中に潜む「超大国の暗部」を徹底解説!

2016:10./ 255p  
978-4-7976-7334-0

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2016/12/18



**ゼロからわかるキリスト教**

佐藤 優 著

新潮社

貧婪な新自由主義、過酷な格差社会、「イスラム国」の暴虐、現代の難問の根底にはすべて宗教がある。もう、知らないでは許されない! 日本人の苦手なキリスト教論を徹底して実用的に語る入門書。

2016:10./ 203p

978-4-10-475211-9

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2016/12/18



**みんなの道徳解体新書(ちくまプリマー新書 266)**

パオロ・マッツァリーノ 著

筑摩書房

義務教育化されるこの機会に道徳って何なのか、誰のために必要なのか考えるために副読本を読んでみた。するとつつこみどころ満載!?

2016:11./ 179p

978-4-480-68969-6

本体 ¥780+税



朝日新聞 2016/12/18



**林業がつくる日本の森林**

藤森 隆郎 著

築地書館

半世紀にわたって森林生態系と造林の研究に携わってきた著者が、生産林として持続可能で、生物多様性に満ちた美しい日本の森林の姿を描く。日本列島各地で、さまざまな条件のもと取り組まれている森づくりのめざすべき道を示した。

2016:10./ 199p

978-4-8067-1526-9

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2016/12/18



**封印作品の謎<テレビアニメ・特撮編>**

安藤 健二 著

彩図社

「ウルトラセブン」12 話、「怪奇大作戦」24 話、「ノストラダムスの大予言」「サンダーマスク」、日本テレビ版「ドラえもん」…。語ることがタブーになっている封印作品たちを取材し、封印されている理由を明らかにする。

2016:10./ 286p

978-4-8013-0186-3

本体 ¥694+税



朝日新聞 2016/12/18



**ミルワード先生のシェイクスピア講義(フィギュール彩 73)**

ピーター・ミルワード 著

彩流社

神父でもある著者が、「ロミオとジュリエット」のジュリエットなど、シェイクスピアの悲劇に登場する「超自然的な存在」である 5 人のヒロインを中心に語り、シェイクスピアの魅力に迫る。シェイクスピアの基礎知識も掲載。

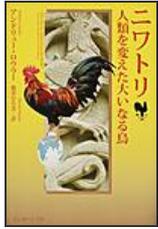
2016:11./ 197p

978-4-7791-7079-9

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2016/12/18



### ニワトリ〜人類を変えた大いなる鳥〜

アンドリュー・ロウラー 著  
合同出版

世界中で最も広範囲に分布している鳥類で、最もありふれた畜産動物、ニワトリはなぜ人類に欠かせないパートナーとなったのか? ニワトリの足跡を求めて、歴史・文化・科学を巡り、地球各地を巡る、驚きの文明論。

朝日新聞 2016/12/18

2016:11./ 365p  
978-4-7726-9553-4

本体 ¥2,400+税



### 『新約聖書』の誕生(講談社学術文庫 2401)

加藤 隆 著  
講談社

イエス没後「新約聖書」成立までなぜ 300 年も要したのか。なぜ相矛盾する四福音書が存在するのか。異端活動の果実を巧みに取り入れた「キリスト教主流派」が、聖なる「テキスト共同体」を創り出すまでを描く。

朝日新聞 2016/12/18

2016:11./ 349p

978-4-06-292401-6

本体 ¥1,130+税



### 深夜の市長(創元推理文庫 M う1-4)

日下 三蔵 編  
海野 十三 著  
東京創元社

昼とは別の姿を見せる真夜中の東京“大都市 T”。僕は、ある晩の殺人事件をきっかけに、数々の怪事件を解決すべく暗躍する“深夜の市長”の存在を知り…。代表長編である表題作と 10 短編を収録したミステリ短編集。

朝日新聞 2016/12/18

2016:11./ 411p

978-4-488-44614-7

本体 ¥1,100+税



### 音楽の原理

近藤 秀秋 著  
アルテスパブリッシング

音楽とは何か。「原理」「コンテクスト」「実践」の 3 部に分け、物理学、心理学、認知科学、文化人類学、音楽学、音楽理論などあらゆる知の領域を越境し、音楽の淵源にせまる。

朝日新聞 2016/12/18

2016:11./ 550p,18p

978-4-86559-152-1

本体 ¥8,000+税



### 日本「一発屋」論〜バブル・成長信仰・アベノミクス〜(朝日新書 591)

原 真人 著  
朝日新聞出版

高度成長という巨大な成功体験を引きずり、アベノミクスのバブル「一発」に賭けるほど、おろかなことはない。綱渡りの財政を続ける「いやな予感」の先にあるものは? 失敗の本質を衝く、スリリングな日本経済論。

朝日新聞 2016/12/18

2016:11./ 223p

978-4-02-273691-8

本体 ¥760+税



### 伝わる力〜90分で変わる!〜

橋谷 能理子 著  
プレジデント社

「伝わる力」はあなたの人生をもっと輝かせる! キャスター歴 30 年のプロが、プレゼン、雑談、恋活などで必ず結果がでるコミュニケーション術を伝授する。立教大学の講義をもとに書籍化。書き込み式のワークあり。

朝日新聞 2016/12/18

2016:11./ 191p

978-4-8334-2197-3

本体 ¥1,400+税





**消えゆく沖縄～移住生活 20年の光と影～(光文社新書 850)**

仲村 清司 著  
光文社

この20年の間に、沖縄で何が起きたのか。1996年、那覇に移住し、「沖縄ブーム」「沖縄問題」と軌を一にし、変質していく文化や風土などに触れ続けてきた著者が、「中期決算的な自分の心情と素顔の沖縄」を綴る。

2016:11./207p  
978-4-334-03953-0  
本体 ¥780+税



朝日新聞 2016/12/18



**英単語の世界～多義語と意味変化から見る～(中公新書 2407)**

寺澤 盾 著  
中央公論新社

bar といえば、酒場?それとも...法廷?英語は世界中の言語から多くの語彙を吸収し、既存の英単語も新しい意味を獲得してきた。英単語の多様な意味をつなぐものとは何か。その秘密に迫る。

2016:11./6p,202p  
978-4-12-102407-7  
本体 ¥780+税



朝日新聞 2016/12/18



**水俣・女島の海に生きる～わが闘病と認定の半生～**

緒方 正実、牧野 喜好 編  
緒方 正実 著  
世織書房

病苦と向き合いながら自らの水俣病を問いつけた著者の、魂の語り。水俣病の患者認定を求めて行政や社会と闘った10年を振り返ると同時に、認定を受けるまでの半生の胸の内を明かす。

2016:11./9p,331p  
978-4-902163-91-9  
本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2016/12/18



**娯楽番組を創った男～丸山鐵雄と<サラリーマン表現者>の誕生～**

尾原 宏之 著  
白水社

丸山眞男が畏れた兄とは?「日曜娯楽版」や「のど自慢」をはじめ現代の娯楽番組の基礎を創ったNHK かつての「大奇人」の生涯。

2016:10./263p,3p  
978-4-560-09516-4  
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2016/12/18、読売新聞 2016/12/18



**人口と日本経済～長寿、イノベーション、経済成長～(中公新書 2388)**

吉川 洋 著  
中央公論新社

人口減少が進む日本。財政赤字は拡大の一途をたどっているが、「日本の衰退は不可避」との思い込みに対し、経済学は「否」と答える。日本に蔓延する「人口減少ペシミズム(悲観論)」を排し、日本経済の本当の課題に迫る。

2016:8./3p,198p  
978-4-12-102388-9  
本体 ¥760+税



朝日新聞 2016/12/18、日本経済新聞 2016/12/25



**セカンドハンドの時代～「赤い国」を生き抜いた人びと～**

スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ 著  
岩波書店

ソ連共産主義下の暮らしを生きてきた人間の声をつづる。21世紀に頭をもたげる抑圧的な国家像をとらえたインタビュー集。「戦争は女の顔をしていない」などに続く、「ユートピアの声」シリーズ5部作完結。

2016:9./7p,606p,15p  
978-4-00-061151-0  
本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2016/12/18、毎日新聞 2016/12/18、朝日新聞 2016/12/25、読売新聞 2016/12/25



### オリエンタルピアノ

ゼイナ・アビラシエド 著

河出書房新社

曾おじいちゃんが作ったのは特殊な「バイリンガルピアノ」—音楽を愛し西洋とアラブ世界を生きた家族が奏でる、とっておきの物語。

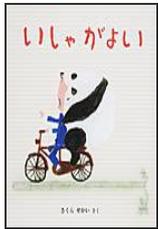
2016:10./ 197p

978-4-309-27771-4

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2016/12/18、毎日新聞 2016/12/25



### いしゃがよい(福音館の幼児絵本)

さくら せかい 著

福音館書店

山で迷子のパンダを見つけたエンさん。「ファファ」となくパンダをファンファンと名付けて、育てることにしました。エンさんは、体が弱いファンファンを自転車に乗せて医者通いすることに…。見返しに奥付あり。

2015:5./ 23p

978-4-8340-8164-0

本体 ¥900+税



朝日新聞 2016/12/22



### レイン～雨を抱きしめて～(Sunnyside Books)

アン・M.マーティン、西本 かおる 著

小峰書店

クラスに馴染めず、父親ともうまくいかない(アスペルガー症候群)の少女・ローズにとって愛犬レインはたいせつなこころの支え。ところが街を巨大ハリケーンが襲った日、レインは行方不明になってしまう……。

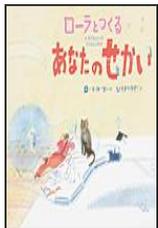
2016:10./ 233p

978-4-338-28711-1

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/12/24



### ローラとつくるあなたのせかい

ローラ・カーリン 著

BL出版

もし、自分の世界をつくるとしたら、どんなふうにつくる?どこにもない、あなただけの世界をローラと一緒につくってみよう。創造するよろこびをつたえ、子どもの心を自由にときはなつ絵本。

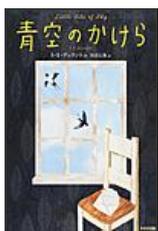
2016:11./ 48p

978-4-7764-0776-8

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2016/12/24



### 青空のかけら(鈴木出版の児童文学)

S.E.デュラント、杉田 七重 著

鈴木出版

児童養護施設スキリー・ハウスで暮らす身寄りのない姉弟ミラとザックのいちばんの願いは、「家族」ができること。そしてある夏、チャンスが訪れる…。イギリスからとどいた、愛と信頼の物語。

2016:10./ 284p

978-4-7902-3318-3

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/12/24



### フランクリン・ローズヴェルト<上> 日米開戦への道

ドリス・カーズ・グッドウィン 著

中央公論新社

アメリカ史上、唯一四選されたローズヴェルト大統領の評伝。大恐慌からの再建と第二次世界大戦を指導した大統領の素顔、妻との愛憎、ホワイトハウスや米国民の実情を描く。上は、中立からの方針転換、日米開戦などを収録。

2014:8./ 567p

978-4-12-004645-2

本体 ¥4,200+税



朝日新聞 2016/12/25



**フランクリン・ローズヴェルト<下> 激戦の果てに**

ドリス・カーズ・グッドウィン 著  
中央公論新社

アメリカ史上、唯一四選されたローズヴェルト大統領の評伝。大恐慌からの再建と第二次世界大戦を指導した大統領の素顔、妻との愛憎、ホワイトハウスや米国民の実情を描く。下は、妻エレノアの尽力と史上初の四選などを収録。

朝日新聞 2016/12/25

2014:9./ 573p  
978-4-12-004646-9  
本体 ¥4,200+税



**田中慎弥の掌劇場(集英社文庫 た82-2)**

田中 慎弥 著  
集英社

見知らぬアタッシュケースを預けられた男、自殺と断定された妻を殺害したのは自分だと主張する夫など、日常がふいに歪む瞬間を 1600 字で切り取った、芥川賞作家初の掌編小説集。(解説/中村文則)

朝日新聞 2016/12/25

2015:4./ 162p  
978-4-08-745308-9  
本体 ¥440+税



**花の忠臣蔵**

野口 武彦 著  
講談社

いつの世も、人はカネと意地のあいだで揺れる。誰も自分たちを見えない手で操るのが、貨幣経済のからくりであることを知らない。正義感、勸善懲悪主義、責任感。日本人のプラス感情の源泉である「忠臣蔵」を読み解く。

朝日新聞 2016/12/25

2015:12./ 318p  
978-4-06-219869-1  
本体 ¥2,200+税



**ルシアン・フロイドとの朝食～描かれた人生～**

ジョーディ・グレッグ 著  
みすず書房

祖父フロイト、動物への偏愛、過激な女性遍歴...美しくない肖像・裸体を描きながら現代美術のカリスマ的具象画家となった男の人生。

朝日新聞 2016/12/25

2016:1./ 327p,28p 図  
版 12p  
978-4-622-07944-6  
本体 ¥5,500+税



**乱舞の中世～白拍子・乱拍子・猿楽～(歴史文化ライブラリー 420)**

沖本 幸子 著  
吉川弘文館

庶民のみならず貴族や寺院社会を席卷した、白拍子・乱拍子というリズム。滅びてしまった芸態を復元し、今に伝わる能楽にどのように包含されているのかを考察。人々が身体表現の楽しさを知り、舞い始めた時代を描く。

朝日新聞 2016/12/25

2016:3./ 6p,189p  
978-4-642-05820-9  
本体 ¥1,700+税



**「病は気から」を科学する**

ジョー・マーチャント 著  
講談社

過敏性腸症候群、がん、うつ、自己免疫疾患、分娩。最新医療における「心の役割」を緻密な取材をもとに検証。イギリスの気鋭科学ジャーナリストによる、知的興奮のノンフィクション!

朝日新聞 2016/12/25

2016:4./ 389p  
978-4-06-217937-9  
本体 ¥3,000+税





**武満徹・音楽創造への旅**

立花 隆 著  
文藝春秋

恋愛、青春、人生から創作の秘密まで、日本音楽界の巨星・武満徹に、知の巨人・立花隆が迫った、前代未聞の傑作ノンフィクション。『文學界』連載を単行本化。

朝日新聞 2016/12/25

2016:2./ 781p

978-4-16-390409-2

本体 ¥4,000+税



**かわいい海とかわいくない海 end.~歌集~(現代歌人シリーズ 10)**

瀬戸 夏子 著  
書肆侃侃房

恋よりもっと次第に飢えていくきみはどんな遺書より素敵だ瀬戸夏子に言葉を渡すな！読み手は母語を狂わされるから。  
——星野智幸

朝日新聞 2016/12/25

2016:2./ 139p

978-4-86385-212-9

本体 ¥1,900+税



**屋根裏の仏さま(CREST BOOKS)**

ジュリー・オオツカ、岩本 正恵、小竹 由美子 著  
新潮社

「写真花嫁」としてアメリカに渡った日本の娘たち。子を産み育て、働き、ようやく築いた平穏な暮らしも、日米開戦とともにすべてが潰え…。「わたしたち」を主語に、一人ひとりのエピソードを綴る、痛ましくも美しい中篇小説。

朝日新聞 2016/12/25

2016:3./ 171p

978-4-10-590125-7

本体 ¥1,700+税



**孤高のハンセン病医師~小笠原登「日記」を読む~**

藤野 豊 著  
六花出版

戦前・戦後を一貫して絶対隔離政策に反対し、ハンセン病患者の通院治療、通常の入院治療を実施した医師・小笠原登。「日記」を基に、1940?54年の彼の言動を解明する。『敬和学園大学研究紀要』等掲載をもとに書籍化。

朝日新聞 2016/12/25

2016:3./ 5p,216p

978-4-905421-95-5

本体 ¥1,800+税



**「共生」の都市社会学~下北沢再開発問題のなかで考える~**

三浦 倫平 著  
新曜社

現代都市における「共生」という問題を社会的に捉えてゆくためには、どのような認識や方法が重要になるのか。「共生」の揺らぎやそれを乗り越えようとする実践が現れている東京・下北沢の再開発問題を分析し、明らかにする。

朝日新聞 2016/12/25

2016:3./ 462p

978-4-7885-1470-6

本体 ¥5,200+税



**尊厳と身分~憲法的思惟と「日本」という問題~**

蟻川 恒正 著  
岩波書店

日本社会にとっての「個人の尊厳」という課題を問う論集。戦後日本の九条訴訟、国旗国歌、権力者の責任等の論点に新たな視座を切り拓き、「日本」という問題に接近する。

朝日新聞 2016/12/25

2016:5./ 8p,318p

978-4-00-023731-4

本体 ¥3,600+税





**化粧の日本史～美意識の移りかわり～(歴史文化ライブラリー 427)**

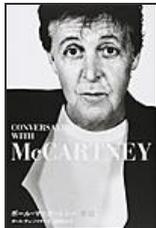
山村 博美 著  
吉川弘文館

化粧には、おしゃれ、みだしなみのほか、身分や年齢、未既婚などを示す機能もあつた。メイクアップの変遷をたどり、流行の背景を社会現象を交えて探るとともに、美意識の変化やメディア戦略にも触れつつ、化粧の歴史を描く。

2016:6./ 6p,221p  
978-4-642-05827-8  
本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2016/12/25



**ポール・マッカートニー 告白**

ポール・デュ・ノイヤー 著  
DU BOOKS

ビートルズ以前と以後、天才音楽家の知られざる苦闘の歴史-。幼少期からはじまる音楽遍歴、創作の秘密と葛藤、活動を支える信念、直面する老い...。36年に及ぶ著者との対話を通して、素顔のポール・マッカートニーを描く。

2016:6./ 537p 図版  
16p  
978-4-907583-58-3  
本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2016/12/25



**家族システムの起源<1> ユーラシア(上)**

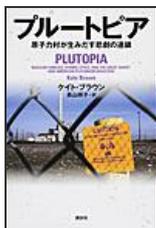
エマニュエル・トッド 著  
藤原書店

家族システムの起源は、“核家族”である-。長年、世界各地の家族構造を研究してきた著者が、家族類型の起源と分化について論述し、人類の歴史の姿を提示する。中国、日本、インド亜大陸などの地域を収録。

2016:6./ 417p  
978-4-86578-072-7  
本体 ¥4,200+税



朝日新聞 2016/12/25



**プルトピア～原子力村が生みだす悲劇の連鎖～**

ケイト・ブラウン 著  
講談社

アメリカはリッチランドに、ロシアはオゾルスクに、プルトニウムの街・原子力村としての“プルトピア”をつくりだした-。米ソが「歪んだ理想郷」を生みだした経緯と起源に迫るノンフィクション。

2016:7./ 508p  
978-4-06-219999-5  
本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2016/12/25



**神話で読みとく古代日本～古事記・日本書紀・風土記～(ちくま新書 1192)**

松本 直樹 著  
筑摩書房

古事記、日本書紀、風土記という〈神話〉を丁寧に読みとくと、古代日本の国家の実像が見えてくる。精神史上の「日本」誕生を解明する、知的興奮に満ちた一冊。

2016:6./ 285p  
978-4-480-06895-8  
本体 ¥880+税



朝日新聞 2016/12/25



**家族システムの起源<1> ユーラシア(下)**

エマニュエル・トッド 著  
藤原書店

家族システムの起源は、“核家族”である-。長年、世界各地の家族構造を研究してきた著者が、家族類型の起源と分化について論述し、人類の歴史の姿を提示する。中央および西ヨーロッパ、中東を収録。

2016:6./ p420?937  
978-4-86578-077-2  
本体 ¥4,800+税



朝日新聞 2016/12/25



**ジョイランド(文春文庫 キ 2-48)**

スティーヴン・キング 著  
文藝春秋

巨匠が放つノスタルジックで切ない青春ミステリー 遊園地でアルバイトを始めた大学生のぼくは、幽霊屋敷に出没する殺人鬼と対決する.....もう戻れない青春時代を美しく描く巨匠の新作。

朝日新聞 2016/12/25

2016:7./ 376p  
978-4-16-790666-5  
本体 ¥860+税



**クレムリン〜赤い城塞の歴史〜<上>**

キャサリン・メリデール、松島 芳彦 著  
白水社

神話と伝説を宿した、今なおロシアの心臓部を探る。中世から現代まで、権力と民衆、戦争と革命、建築と美術など、陰影豊かに描く通史。

朝日新聞 2016/12/25

2016:8./ 255p,36p  
978-4-560-09504-1  
本体 ¥2,900+税



**クレムリン〜赤い城塞の歴史〜<下>**

キャサリン・メリデール、松島 芳彦 著  
白水社

神話と伝説を宿した、今なおロシアの心臓部を探る。中世から現代まで、権力と民衆、戦争と革命、建築と美術など、陰影豊かに描く通史。

朝日新聞 2016/12/25

2016:8./ 267p,74p  
978-4-560-09505-8  
本体 ¥2,900+税



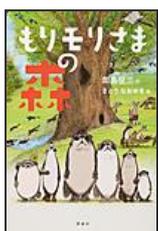
**密室の戦争〜日本人捕虜、よみがえる肉声〜**

片山 厚志、NHK スペシャル取材班 著  
岩波書店

国が戦争をするのではない、人が人を殺すのだ...。第二次大戦中、太平洋の激戦地で捕虜となった日本兵。その尋問録音記録に残されていた衝撃の告白とは。尋問室での壮絶な闘いを再現するドキュメンタリー。

朝日新聞 2016/12/25

2016:7./ 10p,233p  
978-4-00-024881-5  
本体 ¥2,300+税



**もりもりさまの森**

田島 征三、さとう なおゆき 著  
理論社

「森の中でたいへんなことが起こっている」というおじいちゃんに連れられ、森へ行った林太郎たち。動物に変身して野性の感覚を満喫するが、森を破壊する人間たちに追いつめられ...。人間の暮らしを動物の側から見つめ直す物語。

朝日新聞 2016/12/25

2016:7./ 174p  
978-4-652-20158-9  
本体 ¥1,400+税



**「J 演劇」の場所〜トランスナショナルな移動性へ〜**

内野 儀 著  
東京大学出版会

1990年代以降の現代アメリカ演劇ならびにアメリカ演劇研究の同時代的動向、著者が命名した「J 演劇(日本国籍の演劇)」、ゼロ年代後半の J 演劇の欧米における新たな受容などについて論じる。

朝日新聞 2016/12/25

2016:9./ 14p,412p,18p  
978-4-13-080217-8  
本体 ¥6,800+税





### ヘンリー・ソーロー野生の学舎

今福 龍太 著  
みすず書房

ウォールデン湖畔に建てた小屋で自給自足し、森を何時間も歩き、真に自由な生き方を考え抜いた思想家、ヘンリー・ソーロー。その膨大なテキストを読み解き、思索のエッセンスを発見する。『みすず』連載を単行本化。

朝日新聞 2016/12/25

2016:7./ 275p,4p  
978-4-622-07978-1  
本体 ¥3,800+税



### 日本戯曲大事典

白水社

明治初期より現代に至るおよそ 150 年間に発表・上演された新作戯曲約 1 万作品について、約 1000 名の劇作家別に紹介する。新作文楽、新作能・狂言、レビュー、人形劇、高校演劇などについてはジャンル別に解説。

朝日新聞 2016/12/25

2016:9./ 792p,221p  
978-4-560-09410-5  
本体 ¥24,000+税



### ヒトラーの娘たち～ホロコーストに加担したドイツ女性～

ウェンディ・ロワー、武井 彩佳、石川 ミカ 著  
明石書店

ナチズムが生んだ一般のドイツ女性たちは、“血塗られた地”で熱意あふれる事務職員であり、掠奪者であり、拷問者であり、殺人者であった。レイシズム、国家主義のさいはてに待つ、知られざる歴史の闇に迫る。

朝日新聞 2016/12/25

2016:7./ 325p  
978-4-7503-4374-7  
本体 ¥3,200+税



### スペース金融道

宮内 悠介 著  
河出書房新社

「宇宙だろうと深海だろうと、核融合炉内だろうと零下 190 度の惑星だろうと取り立てる」新星金融コンビ!新本格 SF コメディ誕生。

朝日新聞 2016/12/25

2016:8./ 289p  
978-4-309-02493-6  
本体 ¥1,600+税



### 沖縄は未来をどう生きるか

大田 昌秀、佐藤 優 著  
岩波書店

辺野古に基地は、絶対に作れない。沖縄戦を体験した元知事と、久米島に母方のルーツを持つ作家が、琉球処分から「復帰」、現代にいたる歴史をたどりつつ、沖縄の課題、そして未来への展望を語り合う。

朝日新聞 2016/12/25

2016:8./ 9p,283p  
978-4-00-061144-2  
本体 ¥1,700+税



### ことばの地理学～方言はなぜそこにあるのか～

大西 拓一郎 著  
大修館書店

川や海の交通網、家族制度、人口密度など、多彩な視点から方言を分析し、「土地」と「ことば」の結びつきの謎に迫る。

朝日新聞 2016/12/25

2016:8./ 204p  
978-4-469-21360-7  
本体 ¥2,200+税





**マイナス金利政策～3次元金融緩和の効果と限界～**

岩田 一政、左三川 郁子、日本経済研究センター 著

日本経済新聞出版社

賛否両論が渦巻く歴史的な大実験、マイナス金利政策。経済、マーケットへの影響は？ 副作用は？ 長期停滞論、ヘリコプター・マネー論も交え、マイナス金利政策の効果を徹底検証する。

朝日新聞 2016/12/25

2016:8./ 405p

978-4-532-35704-7

本体 ¥2,800+税



**世界マヌケ反乱の手引書～ふざけた場所の作り方～**

松本 哉 著

筑摩書房

国や大企業に頼らず、金をあまり使わないで楽しく生きる奴らが、交流する場所を作って繋がり、世界をひっくり返す愉快な方法! 帯文 いとうせいこう他

朝日新聞 2016/12/25

2016:9./ 209p,11p

978-4-480-81533-0

本体 ¥1,300+税



**すべての見えない光(CREST BOOKS)**

アンソニー・ドーア、藤井 光 著

新潮社

ドイツの若い通信兵と、フランスの盲目の少女の心を?いだのは、ラジオから流れる懐かしい声だった。ピューリツァー賞受賞の傑作長篇。

朝日新聞 2016/12/25

2016:8./ 526p

978-4-10-590129-5

本体 ¥2,700+税



**ピカソになりきった男**

ギョ・リブ、鳥取 絹子 著

キノボックス

その朝、俺はピカソだった。その贋作が俺の最後の作品になり、数時間後に逮捕されるとは思ってもいなかった。30年間、贋作を作り続けた男が明かす、美術界の知られざる実態。

朝日新聞 2016/12/25

2016:8./ 254p

978-4-908059-45-2

本体 ¥1,600+税



**どうぶつのことば～根源的暴力をこえて～**

鴻池 朋子 著

羽鳥書店

芸術の始まりに立ち戻り、人間がものをつくることを問い直す。教育人間学、芸術人類学、考古学、比較文学など様々な専門家との対話と鴻池朋子自身の言葉で紡ぐ。

朝日新聞 2016/12/25

2016:9./ 365p

978-4-904702-63-5

本体 ¥3,400+税



**反覆～新興芸術の位相～ 新装復刻増補版**

彦坂 尚嘉 著

アルファベータブックス

60年代末の芸術の風化現象に対する闘争を背景とした彦坂尚嘉の活動をまとめた記録。「〈もの派〉批判—70年代論」を増補。

朝日新聞 2016/12/25

2016:10./ 434p

978-4-86598-020-2

本体 ¥3,500+税





**きみがぼくを見つける**

サラ・ボーム 著  
ポプラ社

海辺にひとり暮らす「ぼく」は、雑貨店の貼り紙で見つけた犬を連れ、奇妙な逃避行を開始する。なぜ「ぼく」は「きみ(犬)」を求めたのか? アイルランド、夜の涯てに立つ「犬と人間」の物語。

朝日新聞 2016/12/25

2016:10./ 293p

978-4-591-15170-9

本体 ¥1,800+税



**トランプ**

ワシントン・ポスト取材班、マイケル・クラニッシュ、マーク・フィッシャー 著  
文藝春秋

初めて明かされる、国盗り物語の全貌。トランプ家の歴史から、幼少時代、ビジネスマンとしての経歴、トランプ旋風まで、ワシントン・ポスト記者の徹底取材をもとに、「トランプとは何者か」を突き止める。

朝日新聞 2016/12/25

2016:10./ 541p

978-4-16-390539-6

本体 ¥2,100+税



**描かれた病～疾病および芸術としての医学挿画～**

リチャード・バーネット 著  
河出書房新社

目を背けたくなる美しさ.....写真誕生以前の細密イラストが雄弁に語る医療と社会をめぐるイメージの博物誌!

朝日新聞 2016/12/25

2016:10./ 253p

978-4-309-25564-4

本体 ¥3,800+税



**非モテの品格～男にとって「弱さ」とは何か～(集英社新書 0855)**

杉田 俊介 著  
集英社

性体験、雇用、加齢、家族.....。男はなぜ、今の世を生き辛く感じるのか。男性たちの弱さに寄り添いながら問題と向き合い、優しく、幸福に生きていく方法を探った全く新しい男性批評。

朝日新聞 2016/12/25

2016:10./ 238p

978-4-08-720855-9

本体 ¥760+税



**老人ホームで生まれた<とつとつダンス>～ダンスのような、介護のような～**

砂連尾 理 著  
晶文社

舞鶴の特別養護老人ホームで生まれた「とつとつダンス」という身体表現と介護を横断するプロジェクト。ダンサー・振付家の著者が、「とつとつダンス」ができあがった経緯を語る。ダンス・ワークショップの手順も掲載。

朝日新聞 2016/12/25

2016:10./ 206p

978-4-7949-6935-4

本体 ¥1,700+税



**HERE**

リチャード・マグワイア 著  
国書刊行会

窓と作りつけの暖炉のほかには何も無い部屋で、アメリカのある家族の歴史と、紀元前 30 億 50 万年から 22175 年にいたる壮大な地球の歴史が描かれていく。1989 年のオリジナル版などを掲載した冊子付き。

朝日新聞 2016/12/25

2016:10./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-336-06073-0

本体 ¥4,000+税





**戦地からのラブレター～第一次世界大戦従軍兵から、愛するひとへ～(亜紀書  
房翻訳ノンフィクション・シリーズ 2-13)**

ジャン=ピエール・ゲノ 著

亜紀書房

家に残した妻への甘い愛の囁き、塹壕でのつらい日々を母に訴える手紙。第一次世界大戦の戦地から大切なひとに宛てて綴られたフランス・ドイツ兵の偽りなき言葉たち。ラジオ番組の呼びかけに応じて集まった手紙をまとめる。

朝日新聞 2016/12/25

2016:9./ 243p

978-4-7505-1443-7

本体 ¥1,900+税



**秋萩の散る**

澤田 瞳子 著

徳間書店

綺麗事だけで国は動かぬ。日本(ひのもと)の威信と将来を担う人々の姿、奇跡のような瞬間が、奈良の都に満ちる。儂く尊い古代の日々を描いた、人生の機微に触れる歴史小説。『読楽』『小説新潮』掲載等に応えて書き下ろしを追加。

朝日新聞 2016/12/25

2016:10./ 237p

978-4-19-864270-9

本体 ¥1,500+税



**ユナイテッド・ステイツ・オブ・ジャパン<上>(ハヤカワ文庫 SF 2098)**

ピーター・トライアス 著

早川書房

第二次大戦で日独が勝利し、巨大メカが闊歩する日本統治下のアメリカで、石村は違法ゲーム「USA」を追う。衝撃の改変歴史SF

朝日新聞 2016/12/25

2016:10./ 308p

978-4-15-012098-6

本体 ¥700+税



**ユナイテッド・ステイツ・オブ・ジャパン<下>(ハヤカワ文庫 SF 2099)**

ピーター・トライアス 著

早川書房

先の大戦で日独が負けた改変歴史世界を舞台とするゲームを開発し、アメリカ人抵抗組織に協力している六浦賀将軍。彼を追う石村大尉は、行く手を阻む敵メカを撃破し、抵抗組織の本拠地へ向かうのだが…。単行本も同時刊行。

朝日新聞 2016/12/25

2016:10./ 287p

978-4-15-012099-3

本体 ¥700+税



**マージナル・オペレーション改<01>(星海社 FICTIONS シ 1-17)**

芝村 裕吏 著

星海社

ミャンマー奥地のキャンプ・ハキムで、3000 人の少年兵たちとともに中国人民解放軍との戦いを続ける元ニート・アラタ。ある日、彼のもとに、北朝鮮に渡り、かの国の体制支援を行うという奇妙な依頼が舞い込み…。

朝日新聞 2016/12/25

2016:11./ 225p

978-4-06-139955-6

本体 ¥1,250+税



**黒剣(くろがね)のクロニカ<01>(星海社 FICTIONS シ 1-18)**

芝村 裕吏 著

星海社

アトランティス海没後の多島海。都市国家・コフの貴族“黒剣家”に生まれたフランは、母を父に殺され、次兄から虐待を受けながら育った。しかし、“小百合家”の2人の姫と出会ったことがフランの境遇に大きな転機をもたらす。

朝日新聞 2016/12/25

2016:11./ 229p

978-4-06-139956-3

本体 ¥1,300+税





### 全裸監督～村西とおる伝～

本橋 信宏 著

太田出版

人生、死んでしまいたいときには下を見ろ!おれがいるー。前科 7 犯。借金 50 億。米国司法当局から懲役 370 年求刑。奇跡の男か、稀代の大ボラ吹きか。「AV の帝王」と呼ばれた男・村西とおるの半生を綴る。

2016:10./ 708p

978-4-7783-1537-5

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2016/12/25



### 在日二世の記憶(集英社新書 0857)

小熊 英二、高 賛侑、高 秀美 編

集英社

「一世」以上に劇的な運命と、アイデンティティをめぐる困難な問いに翻弄された「二世」たちの記録。各分野のパイオニアとして逞しく生き抜いてきた 50 人のライフストーリーは、深い感動を呼び起こす!

2016:11./ 761p

978-4-08-720857-3

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/12/25



### 建築の前夜～前川國男論～

松隈 洋 著

みすず書房

ル・コルビュジエのもとで学び、帰国後レーモンド事務所を経て独立した建築家・前川國男の敗戦までの軌跡。東京帝室博物館から在盤谷日本文化会館まで、日本近代建築史上重要なコンペの実相を解き明かす。

2016:12./ 490p

978-4-622-08546-1

本体 ¥5,400+税



朝日新聞 2016/12/25



### ホワット・イズ・ディス?～むずかしいことをシンプルに言ってみた～

ランドール・マンロー、吉田 三知世 著

早川書房

専門家だけがわかる言葉はなしで、シンプルな語彙とマンガで原発からロケット、生細胞、元素周期表などややこしいものを説明したら.....『ホワット・イフ?』のマンローさんによる世界のトリセツ。

2016:11./ 71p

978-4-15-209654-8

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2016/12/25



i

西 加奈子 著

ポプラ社

「この世界にアイは存在しません」入学式の翌日、数学教師は言った。ひとりだけ、え、と声を出した。ワイルド曾田アイ。その言葉は、アイに衝撃を与え、彼女の胸に居座り続けることになる。ある「奇跡」が起こるまでは...

2016:11./ 298p

978-4-591-15309-3

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/12/25



### おばちゃんたちのいるところ

松田 青子 著

中央公論新社

「わたしたち、ものけになりましょう」追いつめられた現代人のもとへ、八百屋お七や皿屋敷のお菊が一肌脱ぎにやってくる。愉快的連作短編集。『アンデル小さな文芸誌』連載を加筆修正し単行本化。

2016:12./ 231p

978-4-12-004918-7

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2016/12/25



### プラハの墓地(海外文学セレクション)

ウンベルト・エーコ、橋本 勝雄 著

東京創元社

陰謀渦巻く 19 世紀ヨーロッパ。文書偽造の腕を買われた青年は、各国の秘密情報部と接点を持ち、やがて史上最悪の偽書と言われる「シオン賢者の議定書」に行き着く…。議定書成立の秘密と、憎しみと差別のメカニズムを描く。

2016:2./ 530p

978-4-488-01051-5

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2016/12/25、読売新聞 2016/12/25



### 原節子の真実

石井 妙子 著

新潮社

小津との本当の関係、たったひとつの恋、空白の一年、そして引退の真相-。伝説を生きた女優・原節子の真実を鮮やかに甦らせた、本格評伝。未公開写真も多数収録する。

2016:3./ 303p

978-4-10-340011-0

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/12/25、読売新聞 2016/12/25



### 手のひらの京(みやこ)

綿矢 りさ 著

新潮社

なんて小さな都だろう。私はここが好きだけど、いつか旅立つときがくる-。京都を舞台に、人生に恋に悩みながらもまっすぐ生きる三姉妹を描く現代版「細雪」。『新潮』掲載を書籍化。

2016:9./ 220p

978-4-10-332623-6

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2016/12/25、日本経済新聞 2016/12/25



### 野良ビトたちの燃え上がる肖像

木村 友祐 著

新潮社

河川敷で猫と暮らす柳さんは、ある日町で「野良ビトに缶を与えないでください」という看板を見た。やがて国ぐるみで野宿者を隔離しようとする計画が…。格差、貧困の問題に迫る新鋭の力作。『新潮』掲載を単行本化。

2016:11./ 170p

978-4-10-336132-9

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/12/25、日本経済新聞 2016/12/25、毎日新聞 2016/12/25



### 飾らず、偽らず、欺かず～管野須賀子と伊藤野枝～

田中 伸尚 著

岩波書店

「大逆事件」で処刑された管野須賀子。その約 10 年後の「甘粕事件」で憲兵隊に虐殺された伊藤野枝。女性を縛る社会道徳や政治権力と対決し、自由を求めて疾走した 2 人の生と思想を、関係者の証言や資料をもとに描き出す。

2016:10./ 7p,237p,5p

978-4-00-061156-5

本体 ¥2,100+税



東京・中日新聞 2016/12/04



### 感情化する社会

大塚 英志 著

太田出版

心地よい感情を提供することばしか、政治にもジャーナリズムにも文学にも求めない現在の日本。あらゆるものを「感情」として表出し、「感情」として消費して生きている現状を、不愉快に「批評」する試み。

2016:10./ 293p

978-4-7783-1536-8

本体 ¥1,500+税



東京・中日新聞 2016/12/04



**マラス～暴力に支配される少年たち～**

工藤 律子 著  
集英社

第 14 回開高健ノンフィクション賞受賞作。中米ホンジュラス、世界一凶悪と言われる若者ギャング団「マラス」に身を投じる少年たちと彼らを救おうとする人々の姿を追った衝撃のルポルタージュ!

東京・中日新聞 2016/12/04

2016:11./ 331p  
978-4-08-781621-1

本体 ¥1,800+税



**世界一ありふれた答え**

谷川 直子 著  
河出書房新社

夫に裏切られた主婦。指を動かせない難病にかかったピアニスト。全てを失ったかに見えた二人だったが……伊藤比呂美氏絶賛の感涙作!

東京・中日新聞 2016/12/04、産経新聞 2016/12/11

2016:10./ 165p

978-4-309-02509-4

本体 ¥1,400+税



**相倉久人にきく昭和歌謡史**

相倉 久人、松村 洋 著  
アルテスパブリッシング

卓抜なジャズ評論で時代を画した相倉久人が自在に語りおろした日本ポップス文化論。エノケン、服部良一、坂本九、クレージーキャッツ、百恵・聖子・明菜・奈保子など、流行歌を通して昭和を見る。松村洋との連続対談を再構成。

東京・中日新聞 2016/12/04、朝日新聞 2016/12/04、朝日新聞 2016/12/25

2016:9./ 317p

978-4-86559-146-0

本体 ¥2,000+税



**絶滅の地球誌(講談社選書メチエ 638)**

澤野 雅樹 著  
講談社

毎年、5 万の種が消滅する地球は「第六の絶滅」へと静かな行進を続けている。今まさに進行する「大絶滅」と、人間が手にした「核」という力の生成過程と 3 つの帰結を論じ、現代と未来における人間の立ち位置と行方を展望する。

東京・中日新聞 2016/12/04、毎日新聞 2016/12/04

2016:11./ 365p

978-4-06-258641-2

本体 ¥2,000+税



**犯罪・捜査・メディア～19 世紀フランスの治安と文化～(叢書・ユニベルシタス 1049)**

ドミニク・カリファ 著  
法政大学出版局

19 世紀フランスにおいて、秩序を脅かす犯罪者、公権力を担う警察、そして両者のイメージを創造したジャーナリズムは、民主主義社会の治安の危機をいかに映し出したか。犯罪に関わる文学的表象や社会防衛の言説史を分析する。

東京・中日新聞 2016/12/11

2016:10./ 7p,296p,52p

978-4-588-01049-1

本体 ¥4,000+税



**狂うひと～「死の棘」の妻・島尾ミホ～**

梯 久美子 著  
新潮社

島尾敏雄の私小説「死の棘」の愛人の正体は? 本当に狂っていたのは妻か夫か。島尾夫妻それぞれの日記や手紙など膨大な資料によって、妻・ミホの生涯を辿り、戦後文学史に残る伝説的夫婦の真実に迫る。

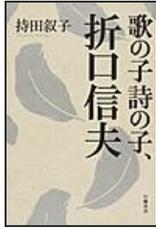
東京・中日新聞 2016/12/11、読売新聞 2016/12/11、毎日新聞 2016/12/11、日本経済新聞 2016/12/18、毎日新聞 2016/12/18、朝日新聞 2016/12/25、読売新聞 2016/12/25、日本経済新聞 2016/12/25、毎日新聞 2016/12/25

2016:10./ 666p

978-4-10-477402-9

本体 ¥3,000+税





**歌の子詩の子、折口信夫**

持田 叙子 著  
幻戯書房

日本近代文学運動とその相関図の中に折口を位置づけ、文学者としての折口が切り開いた、古代と近代を結ぶ試みを読み解く。

東京・中日新聞 2016/12/11、読売新聞 2016/12/25

2016:9./ 259p

978-4-86488-107-4

本体 ¥2,800+税



**年月日**

閻 連科、谷川 毅 著  
白水社

大日照りの村に残った老人と盲目の犬。一本のトウモロコシの苗を守り、ネズミやオオカミと闘う。命をつなぐための、最後の手段とは？

東京・中日新聞 2016/12/11、毎日新聞 2016/12/18

2016:11./ 153p

978-4-560-09531-7

本体 ¥1,700+税



**直撃本田圭佑(Sports Graphic Number Books)**

木崎 伸也 著  
文藝春秋

2010 年南アフリカ W 杯から本格的に本田圭佑を取材。アポなしで直接本人と取材交渉するというスタイルで引き出し続けた、揺れ動く魂の肉声とその哲学の記録。『Number』掲載に加筆・修正。

東京・中日新聞 2016/12/18

2016:11./ 316p

978-4-16-390557-0

本体 ¥1,300+税



**平山秀幸映画屋(カゾウヤ)街道～呑むか撮るか～**

平山 秀幸、鈴木 たけし 編  
平山 秀幸 著

ワイズ出版

職人・平山秀幸監督が語る全作品インタビュー集。一作ごとに異なる分野の映画を作り続ける平山監督のインタビューを通して、緻密にして大胆な映画術の神髄を解き明かす。フィルモグラフィーも収録。

東京・中日新聞 2016/12/18

2016:10./ 412p

978-4-89830-302-3

本体 ¥2,900+税



**菓子ひなみ～三六五日の和の菓子暦～**

京都新聞出版センター

日次(ひなみ)につづる和菓子の 365 日。一日一菓、季節の便りを暦に添えて一。はなびら餅、粽、水無月、月見団子など、季節のめぐり、暮らしの営みに合わせた京都と滋賀の和菓子を綴る一冊。

読売新聞 2016/12/04

2007:4./ 287p

978-4-7638-0586-7

本体 ¥1,400+税



**和菓子(NHK 美の壺)**

NHK「美の壺」制作班 著  
NHK出版

四季折々の風流と極上の口福で人々を魅了してきた甘い「芸術品」。奥ゆかしくも雅な和菓子世界の 3 つの「ツボ」をお教えます。歴史、意外な魅力の在りか、最新情報までを紹介。NHK テレビ番組「美の壺」を書籍化。

読売新聞 2016/12/04

2007:4./ 70p

978-4-14-081201-3

本体 ¥950+税





### わくわくほっこり和菓子図鑑

君野 倫子 著

二見書房

赤福餅、あんみつ、ういろう、かるかん…。和菓子の基本や伝統を伝えながら、楽しくて、可愛い全国の和菓子を問合せ先とともに紹介します。和菓子の豆知識、レシピも収録。データ:2012年3月現在。

2012:4./ 119p

978-4-576-12057-7

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2016/12/04



### 逃げるは恥だが役に立つ<第1巻>(KC Kiss 911)

海野 つなみ 著

講談社

読売新聞 2016/12/04

2013:6./ [166p]

978-4-06-340911-6

本体 ¥429+税



### 地元菓子(とんぼの本)

若菜 晃子 著

新潮社

愛知県一色・えびせん街道、東京ドイツ菓子の店、四国のお嫁入り菓子…。歴史と風土と人々の愛情に守られて育ってきた味、残ってきた味。日本全国津々浦々、旅する過程で出会った地元菓子の数々を紹介する。

2013:5./ 125p

978-4-10-602245-6

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/12/04



### 逃げるは恥だが役に立つ<第2巻>(KC Kiss 920)

海野 つなみ 著

講談社

読売新聞 2016/12/04

2013:10./ [166p]

978-4-06-340920-8

本体 ¥429+税



### 逃げるは恥だが役に立つ<第3巻>(KC Kiss 924)

海野 つなみ 著

講談社

読売新聞 2016/12/04

2014:2./ [166p]

978-4-06-340924-6

本体 ¥429+税



### 逃げるは恥だが役に立つ<第4巻>(KC Kiss 936)

海野 つなみ 著

講談社

読売新聞 2016/12/04

2014:10./ [166p]

978-4-06-340936-9

本体 ¥429+税



### 逃げるは恥だが役に立つ<第5巻>(KC Kiss 954)

海野 つなみ 著

講談社

母親のケガで急遽実家に帰っていたみくりが久しぶりに帰宅する。内心大喜びの津崎さんだが、素直に嬉しさを表せない。そして迎えた月2回の「ハグの日」。やっぱり自分からは言い出してくれない津崎さんだが...!?

2015:4./ [158p]

978-4-06-340954-3

本体 ¥429+税



読売新聞 2016/12/04

**逃げるは恥だが役に立つ<第 6 巻>(KC Kiss 968)**海野 つなみ 著  
講談社

定例のハグの最中、想いが募ったみくりが発した一言を津崎が否定したことから、ふたりの距離は遠ざかってしまい...?そして訪れた津崎の 37 歳の誕生日。彼らの結婚生活を急転させる、長い長い夜が始まるー!

2015:10./ [158p]  
978-4-06-340968-0

本体 ¥429+税



読売新聞 2016/12/04

**逃げるは恥だが役に立つ<第 7 巻>(KC Kiss 984)**海野 つなみ 著  
講談社

就職としての契約結婚をした、みくりと津崎さんだが、契約恋人の期間を経てホンモノと恋人となった。それはいいのだが、結婚の契約部分はどうなるのか新たな問題が持ち上がる。そんなとき、津崎さんの勤務先に統合の話が!?

2016:6./ [174p]

978-4-06-340984-0

本体 ¥429+税



読売新聞 2016/12/04

**逢沢りく<上>(文春文庫 ほ 22-1)**ほし よりこ 著  
文藝春秋

簡単に嘘の涙をこぼすことができる十四歳の美少女。悲しみの意味はまだわからない。あたたかな笑いと涙に包まれる感動長篇マンガ。

2016:9./ 221p

978-4-16-790695-5

本体 ¥600+税



読売新聞 2016/12/04

**逢沢りく<下>(文春文庫 ほ 22-2)**ほし よりこ 著  
文藝春秋

関西の親戚に預けられたり。関西弁ワールドに翻弄され、「私は絶対染まらない」と心に誓うが、次第に変化しつつある自分の心にとまどう。やがて、家に帰ることになり...。長編コミック。

2016:9./ 244p

978-4-16-790696-2

本体 ¥600+税



読売新聞 2016/12/04

**ヒラリー・クリントン~その政策・信条・人脈~(新潮新書 681)**春原 剛 著  
新潮社

「親中・反日」との憶測は本当か——。初の女性大統領は何をを目指すのか。側近や閣僚候補はどんな人たちなのか。ヒラリー単独インタビューの経験も持つ気鋭の記者が、政権の全貌を徹底予測する。

2016:8./ 239p

978-4-10-610681-1

本体 ¥760+税



読売新聞 2016/12/04

**結婚クライシス~中流転落不安~**山田 昌弘 著  
東京書籍

日本人が結婚しなくなったその背景には「中流転落不安」があった! 「婚活」「パラサイト・シングル」といった流行語を生みだした社会学者が、学生生活や就職、恋愛、結婚、子育て、高齢化、婚活の実態などを考察する。

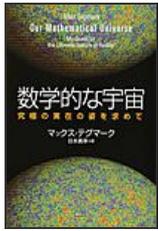
2016:8./ 191p

978-4-487-81008-6

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2016/12/04



**数学的な宇宙～究極の实在の姿を求めて～**

マックス・テグマーク 著

講談社

人間とは何か? あなたは時間のどこにいるのか? 私たちの宇宙はどれくらい大きいのか? 「数学的宇宙仮説」を立てた著者が、「实在とは何か」をテーマに、独自の物理観、实在観を説明する。

読売新聞 2016/12/04

2016:9./ 480p

978-4-06-216962-2

本体 ¥3,500+税



**戦国と宗教(岩波新書 新赤版 1619)**

神田 千里 著

岩波書店

乱世の英雄たちが入り乱れ、激しい戦争を繰り返していた戦国時代。人々は心の安寧をどこに求めたか。大名たちの戦勝祈願、庶民たちの本願寺信仰、キリスト教など当時の信仰の諸相を、「天道」という観念に注目しつつ読み解く。

読売新聞 2016/12/04

2016:9./ 9p,200p,6p

978-4-00-431619-0

本体 ¥820+税



**わたしの隣の王国**

七河 迦南 著

新潮社

空手少女、杏那と研修医の優は人気テーマパークでのデート中に、別々の世界に引き裂かれる。魔王からもうひとつの世界を守るため旅立つ杏那。優は現実のパークで密室殺人の謎を解き、杏那を見つけ出そうとするが...

読売新聞 2016/12/04

2016:9./ 308p

978-4-10-350311-8

本体 ¥1,800+税



**草食系のための対米自立論(小学館新書 268)**

古谷 経衡 著

小学館

対米追従を続けてきた日本。しかし、福島原発「トモダチ作戦」で暴かれた真実は、日本人に“対米自立意識”を芽生えさせた。近年の日米関係を政治・文化の面から検証し、同じ価値観を持つ同盟国という幻想を一刀両断にする。

読売新聞 2016/12/04

2016:10./ 190p

978-4-09-825268-8

本体 ¥780+税



**逃げるは恥だが役に立つ<第 8 巻>(KC Kiss 998)**

海野 つなみ 著

講談社

ある日、ふたりで飲みに行った帰りに思いがけず、風見さんの前で涙が止まらなくなってしまった百合ちゃん。百合ちゃんの涙の理由は?そして、風見さんのその後の行動は?

読売新聞 2016/12/04

2016:10./ [158p]

978-4-06-340998-7

本体 ¥429+税



**七四**

神家 正成 著

宝島社

完全密室の七四式戦車で死体が見つかり、警務隊の甲斐和美が捜査に協力することに。一方、ソフトウェア開発会社の社長・坂本は取引先から契約を解除される。プログラムのバグで一〇式戦車の事故が多発したというのだが...

読売新聞 2016/12/04

2016:10./ 433p

978-4-8002-6139-7

本体 ¥1,680+税





**元サル物語～科学は人類の進化をいかに考えてきたのか～**

ジョナサン・マークス、長野 敬、長野 郁 著  
青土社

科学へ突きつけられた挑戦状。我々は本当にサル=類人猿から「進化」してきたのか。博覧強記の人類学者がこれまでの科学的言説を総点検し、その誤りと過ちを舌鋒鋭く暴き出す。

2016:10./ 249p,3p  
978-4-7917-6955-1  
本体 ¥2,600+税



読売新聞 2016/12/04



**<憧憬>の明治精神史～高山樗牛・姉崎嘲風の時代～**

長尾 宗典 著  
ペリカン社

夭逝した評論家・高山樗牛と日本宗教学の父・姉崎嘲風。二人が編み出した「憧憬」という造語が近代日本思想にもたらしたものは。

2016:10./ 364p  
978-4-8315-1451-6  
本体 ¥6,000+税



読売新聞 2016/12/04



**死の淵を見た男～吉田昌郎と福島第一原発～(角川文庫 か63-7)**

門田 隆将 著  
KADOKAWA

2011年3月、日本は「死の淵」に立った。福島県浜通りを襲った大津波は、福島第一原発の原子炉を暴走させた。日本が「三分割」されるという中で、使命感と郷土愛に貫かれて壮絶な闘いを展開した男たちがいた。

2016:10./ 496p  
978-4-04-103621-1  
本体 ¥840+税



読売新聞 2016/12/04



**ネコがこんなにかわくなった理由～No.1 ペットの進化の謎を解く～(PHP 新書 1065)**

黒瀬 奈緒子 著  
PHP研究所

唯一、「自ら飼われた」この不思議な動物。30種以上いるネコ科のなかで、なぜネコだけがペットなの？ DNAレベルから考えた初の新書！

2016:10./ 225p  
978-4-569-83096-4  
本体 ¥820+税



読売新聞 2016/12/04



**テロリストは日本の「何」を見ているのか～無限テロリズムと日本人～(幻冬舎新書 い-26-1)**

伊勢崎 賢治 著  
幻冬舎

日本はテロの脅威にどう立ち向かえばいいのか？憲法9条はどうすべきなのか？世界各国の紛争地で武装解除をしてきた著者が、日本がまさに直面している危機と解決策について具体的に説く。

2016:10./ 227p  
978-4-344-98432-5  
本体 ¥800+税



読売新聞 2016/12/04



**土地～完全版～<01巻>**

朴 景利、金正出、吉川 風 著  
クオン

朝鮮半島南部の農村平沙里の大地主・崔参判家で、前代未聞の事件が起きる。そんな中でも自分の殻に閉じこもり続ける参判家の当主・致修は、母親との間に長年にわたる確執があり…。韓国を舞台にした民族史的長編ロマン。

2016:11./ 476p  
978-4-904855-41-6  
本体 ¥2,800+税



読売新聞 2016/12/04



**土地～完全版～<02 巻>**

朴 景利、金 正出、清水 知佐子 著  
クオン

中央の権力争いや王室の混乱は、平沙里にも不穏な空気を伝え、村の秩序が揺らぎ始めていた。そんな中、参判家の当主・致修は前年の事件で出奔した者たちを追って、智異山に向かうが…。韓国を舞台にした民族史的長編ロマン。

2016:11./ 517p  
978-4-904855-42-3  
本体 ¥2,800+税



読売新聞 2016/12/04



**ねたぶあ～オレと中島らもの 6945 日～**

鮫肌 文殊 著  
講談社

常識を木っ端みじんに打ち砕かれながら、酒を呑み、女を知り。放送作家・鮫肌文殊が、中島らもの出会いから死去するまでを描ききった、放送禁止用語満載のラブレター。WEB 連載を大幅に加筆修正して単行本化。

2016:11./ 317p  
978-4-06-220360-9  
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2016/12/04



**比(なら)ぶ者なき**

馳 星周 著  
中央公論新社

7 世紀末。藤原史(ふひと)の胸には野望が秘められていた。それは「日本書紀」という名の神話を創り上げ、天皇を神にすること。そして自らも神となり藤原家に永遠の繁栄をもたらすこと…。『Web 小説中公』連載を単行本化。

2016:11./ 495p  
978-4-12-004909-5  
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2016/12/04



**しんせかい**

山下 澄人 著  
新潮社

19 歳の山下スミは演劇塾で学ぶため北を目指す。辿り着いた先の<谷>では、俳優や脚本家志望の若者たちが自給自足の共同生活を営んでいた…。文学界の異端者が自らの原点を描き出す。『新潮』掲載を単行本化。

2016:10./ 163p  
978-4-10-350361-3  
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/12/04、東京・中日新聞 2016/12/18



**現代日本外交史～冷戦後の模索、首相たちの決断～(中公新書 2402)**

宮城 大蔵 著  
中央公論新社

米ソ冷戦終結から近年に至る日本外交の四半世紀は、危機の連続だった。湾岸戦争、連立政権、北朝鮮核危機、テロとの戦い、中国台頭、経済危機、歴史認識、沖縄米軍基地…。16 政権の苦闘をたどり、日本外交の課題に迫る。

2016:10./ 3p,289p  
978-4-12-102402-2  
本体 ¥880+税



読売新聞 2016/12/04、読売新聞 2016/12/25



**「ひとり」の哲学(新潮選書)**

山折 哲雄 著  
新潮社

人はひとりで生まれ、ひとりで死ぬ。「孤独」と向き合うことで、より豊かな生を得ることができる。親鸞、道元、日蓮ら、先達の生き様を振り返り、「ひとりの覚悟」に光を当てる。『新潮 45』連載を改題、加筆修正し書籍化。

2016:10./ 237p  
978-4-10-603793-1  
本体 ¥1,300+税



読売新聞 2016/12/04、毎日新聞 2016/12/18



**行人 改版(新潮文庫 な-1-12)**

夏目 漱石 著  
新潮社

学問だけを生きがいとしている一郎は、妻に理解されないばかりでなく、両親や親族からも敬遠されている。「他の心」をつかめなくなった人間の寂寞とした姿を追究して『こころ』につながる作品。

2011.1./ 501p  
978-4-10-101012-0  
本体 ¥590+税



読売新聞 2016/12/11



**春琴抄・吉野葛(中公文庫)**

谷崎潤一郎 著  
中央公論新社

美貌と才気に恵まれた盲目の地唄の師匠春琴。その弟子佐助は献身と愛ゆえに自らも盲目となる一代代表作『春琴抄』と『吉野葛』を収録。

1986.1./ 176p  
978-4-12-201290-5  
本体 ¥500+税



読売新聞 2016/12/11



**その夏の今は・夢の中での日常(講談社文芸文庫)**

島尾 敏雄 著  
講談社

死をかかえ込み極限を生きた特攻隊員の異常な生の日々を、穏やかな島の人々の生活と対比させ、鋭い感性で描く「出孤島記」など、生と死のはざままで、現実と非現実、日常性とは何かを問う島尾文学傑作7編。

1988.8./ 311p  
978-4-06-196022-0  
本体 ¥1,200+税



読売新聞 2016/12/11



**幕末史(新潮文庫 は-56-1)**

半藤 一利 著  
新潮社

嘉永6年、ペリー率いる米艦隊が浦賀沖に出現し、やがて京の都はテロに震えだす。黒船来航から西郷隆盛の敗死まで、波乱と激動に満ちた25年間と歴史を動かした男たちを、独自の切り口で語り尽くす。

2012.11./ 512p  
978-4-10-127181-1  
本体 ¥750+税



読売新聞 2016/12/11



**本能寺の変 431年目の真実(文芸社文庫 あ5-1)**

明智 憲三郎 著  
文芸社

光秀の謀反、あの「怨恨説」は本当なのか?信長は、なぜ、あれほど無防備だったのか?家康の奇怪な行動、その裏には何が?明智光秀の子孫が本能寺の変に潜む謎を解き明かし、驚愕の真実を明らかにする。

2013.12./ 345p  
978-4-286-14382-8  
本体 ¥720+税



読売新聞 2016/12/11



**不倫**

パウロ・コエーリョ 著  
KADOKAWA

恵まれた暮らしをしていたリンダは、ふと自分の幸せに疑問を持ち孤独感にさいなまれる。政治家の元彼との再会が、彼女の隠れていた一面を呼び覚ました。危険で刺激的な関係。だが、それが重大な結果を招いてしまう...

2016.4./ 303p  
978-4-04-104017-1  
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2016/12/11



**ビジネスモデル・ナビゲーター**

オリヴァー・ガスマン、カロリン・フランケンバーガー、ミハエラ・チック 著  
翔泳社

成功企業のビジネスモデルは 55 種類のモデルパターンのいずれかに分類される。この 55 パターンの組み合わせや創造的な模倣によって、新しいビジネスモデルを創出するツールを紹介する。

2016:10./ 422p  
978-4-7981-4688-1  
本体 ¥2,200+税



読売新聞 2016/12/11



**大坂城～絵で見る日本の城づくり～(講談社の創作絵本)**

青山 邦彦 著  
講談社

羽柴秀吉(後の豊臣秀吉)が築城した大坂城をモデルに、巨大な城が建ち上がって行く様子を精緻な絵で紹介。右ページの下部には、絵に描かれた建築工程の解説を付し、さがし絵も楽しめる。見返しにイラストあり。

2016:11./ 32p  
978-4-06-133296-6  
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2016/12/11



**黄犬ダイアリー**

ドナルド・キーン、キーン 誠己 著  
平凡社

2012 年に日本国籍を取得したキーンさんが日常で感じたことを語り、その養子となった誠己さんが父の素顔をつづった親子エッセイ。

2016:10./ 213p  
978-4-582-83741-4  
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2016/12/11



**アートの入り口～美しいもの、世界の歩き方～<ヨーロッパ編>**

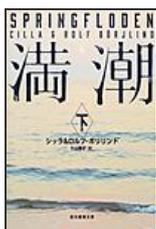
河内 タカ 著  
太田出版

数多くの著名なアーティストたちと交流してきた著者が、好きなアーティストや写真家たちについて綴る。「20 世紀アート」の豊かな故郷、ヨーロッパのアートがわかるエッセイ集。フェイスブック掲載をもとに書籍化。

2016:9./ 367p  
978-4-7783-1520-7  
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2016/12/11



**満潮<下>(創元推理文庫 M ホ 12-2)**

シッラ・ポリンド、ロルフ・ポリンド 著  
東京創元社

オリヴィアが探していた行方不明の元捜査官は、ホームレスのなかでいた。過去を掘り起こすオリヴィアの行動が意外な関係者たちを揺さぶる。一流企業の取締役、政治家、エスコート会社の経営者。そしてたどりついた真相は...

2016:10./ 350p  
978-4-488-21409-8  
本体 ¥1,100+税



読売新聞 2016/12/11



**満潮<上>(創元推理文庫 M ホ 12-1)**

シッラ・ポリンド、ロルフ・ポリンド 著  
東京創元社

警察大学の学生オリヴィアは、課題で未解決事件を調べていた。刑事だった亡き父が担当していた、ノードコステル島の砂浜に女性が生き埋めにされ、溺死させられた事件だ。オリヴィアは話を聞こうと父の同僚だった男を探す...

2016:10./ 372p  
978-4-488-21408-1  
本体 ¥1,100+税



読売新聞 2016/12/11



**リケコイ。(集英社文庫 き 20-2)**

喜多 喜久 著  
集英社

恋愛経験ゼロ。冴えない理系大学院生の森が、リケジョの後輩・羽生にひと目惚れ! だが彼女にはイケメン彼氏がいて…。どこまでも不器用で、思わず応援したくなる、歯がゆさ満載の青春ストーリー。

2016:10./ 330p  
978-4-08-745507-6  
本体 ¥600+税



読売新聞 2016/12/11



**悲劇の構造～シェイクスピアと懐疑の哲学～**

スタンリー・カヴェル 著  
春秋社

神も知識も愛も、すべての基盤を喪失した世界で人はいかに生きるか? リア王、マクベス、ハムレットといったシェイクスピア劇が問いかける懐疑論的課題を別抉し、人間の真実を突きつけるアメリカ哲学の巨人カヴェルの思索。

2016:10./ 3p,438p  
978-4-393-32351-9  
本体 ¥4,500+税



読売新聞 2016/12/11



**独裁力(幻冬舎新書 か-20-1)**

川淵 三郎 著  
幻冬舎

末期的な状態だった日本バスケットボール界を、わずか半年で問題解決に導き、新リーグを設立、一躍救世主となった著者。その稀有なるリーダーシップと果てなきバイタリティーの源を明かす。

2016:9./ 213p  
978-4-344-98427-1  
本体 ¥780+税



読売新聞 2016/12/11



**昭和史跡散歩<東京篇>(イースト新書 073)**

一坂 太郎 著  
イースト・プレス

人々の記憶に今なお深く刻まれる昭和史の数々の「史跡」を記録し、その陰に潜む庶民の苦悩と歴史の深層を掘り起こす。東京篇は、同潤会アパート、陸軍中野学校跡、巣鴨プリズン跡、東京タワーなどを収録。

2016:10./ 399p  
978-4-7816-5073-9  
本体 ¥972+税



読売新聞 2016/12/11



**哲学する子どもたち～パカロレアの国フランスの教育事情～**

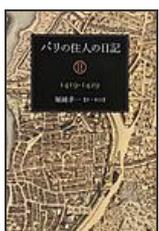
中島 さおり 著  
河出書房新社

なぜフランスの子どもたちは、自分の頭で考え語る力を得るのか? 日本とは全く違う授業など、母の視点で描くフランスの学びの現場。

2016:11./ 253p  
978-4-309-24781-6  
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/12/11



**パリの住人の日記<2> 1419-1429**

八坂書房

百年戦争下の殺伐とした世をしたたかに生き抜く人びとの姿と時代の息づかいを鮮やかに伝えるヴァチカン図書館所蔵の「スウェーデン女王蔵書 1923 番写本」を訳し、注を付す。2 は 1419?1429 年を収録。

2016:10./ 440p,28p  
978-4-89694-746-5  
本体 ¥3,800+税



読売新聞 2016/12/11



**師匠!(PHP 文芸文庫 た 6-2)**

立川 談四楼 著  
PHP研究所

落語界における師匠と弟子の、厳しくもやさしさに溢れた関係を、立川談志に育てられた著者が自身の経験を盛り込んで描く短篇小説集。

2016:11./ 285p

978-4-569-76648-5

本体 ¥680+税



読売新聞 2016/12/11



**脳はいかに意識をつくるのか～脳の異常から心の謎に迫る～**

ゲオルク・ノルトフ、高橋 洋 著  
白揚社

神経哲学のトップランナーが、うつ病、統合失調症等の精神疾患を抱える患者の臨床的な症例や最新の脳画像技術を駆使して得られた実証的な成果を基に、精神病患者のみならず健常者の意識がいかに構築されるのかを探究する。

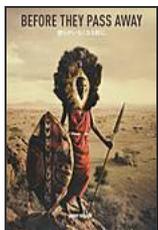
2016:11./ 277p

978-4-8269-0192-5

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2016/12/11



**彼らがいなくなる前に**

ジミー・ネルソン、神長倉 伸義 著  
パイインターナショナル

部族の民が滅び去る前に、彼らの魂を記録する場所が必要だ-。世界各地の少数民族を訪ね、彼らと生活をともにしながら、失われつつある民族の生活や文化を肖像として撮影した「美しい」少数民族写真集。

2016:12./ 280p

978-4-7562-4796-4

本体 ¥4,200+税



読売新聞 2016/12/11



**浮遊霊ブラジル**

津村 記久子 著  
文藝春秋

初の海外旅行を前に急逝した私。幽霊となって念願の地をめざすが…。表題作をはじめ、2013 年川端康成文学賞受賞作「給水塔と亀」など、全 7 作を収めた短篇集。『文学界』『新潮』等掲載を単行本化。

2016:10./ 180p

978-4-16-390542-6

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2016/12/11、朝日新聞 2016/12/18、読売新聞 2016/12/25、日本経済新聞 2016/12/25



**学校では教えてくれない!国語辞典の遊び方(角川文庫 さ 70-1)**

サンキュータツオ 著  
KADOKAWA

新明解国語辞典くんはワイルドな秀才、新選国語辞典くんはクールな理系男子…。辞書 200 冊をコレクションする、オタクで学者で芸人のサンキュータツオが、広くて深い辞書の世界をナビゲート。オススメ辞書も紹介します。

2016:11./ 244p

978-4-04-400207-7

本体 ¥640+税



読売新聞 2016/12/11、日本経済新聞 2016/12/11



**役者人生、泣き笑い**

西田 敏行 著  
河出書房新社

デビューから 50 年、古希を機に西田敏行が自らの人生を赤裸々に明かす初の自伝。監督、俳優、友人との交流や制作等の面白秘話満載!

2016:10./ 277p

978-4-309-02506-3

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/12/11、日本経済新聞 2016/12/18



**今日は、お日柄もよく(徳間文庫 は 36-1)**

原田 マハ 著  
徳間書店

二ノ宮こと葉は、製菓会社に勤める 27 歳の OL。ある日、結婚披露宴で、伝説のスピーチライター・久遠久美の素晴らしい祝辞に出会い感動したこと葉は、久美に弟子入りすることに....。

2013:6./ 381p

978-4-19-893706-5

本体 ¥648+税



読売新聞 2016/12/18



**ブラインド・マッサージ(エクス・リブリス)**

畢 飛宇 著  
白水社

南京のマッサージ店で働く盲目のマッサージ師たち。ふとしたことで、平穩に思えた日常にさざ波が立ち、やがて大きなうねりとなって...。盲人たちの喜びと悲しみ、善意と悪意、夢と現実をリアルに描く長篇。

2016:8./ 361p

978-4-560-09046-6

本体 ¥3,400+税



読売新聞 2016/12/18



**家具でつくる本の空間**

藤江和子アトリエ 著  
彰国社

家具デザインの新たなフェーズを切り拓いてきた藤江和子氏。今回は図書館に焦点を当て、アイデア、設計プロセス、ディテールを明らかにし、ビジュアルを数多く用いて構成。

2016:8./ 151p

978-4-395-32071-4

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2016/12/18



**最終戦争/空族館(アエリウム)(ちくま文庫 き 40-1)**

日下 三蔵 編  
今日泊 亜蘭 著  
筑摩書房

日本 SF の胎動期から参加し「長老」と呼ばれた作家の、未発表作「空族館」や単行本未収録作 10 作を収録したオリジナルアンソロジー。

2016:10./ 457p

978-4-480-43393-0

本体 ¥1,100+税



読売新聞 2016/12/18



**古文書に見る江戸犯罪考(祥伝社新書 484)**

氏家 幹人 著  
祥伝社

児童虐待、介護の悲劇、夫婦間トラブル、通り魔殺人、多彩な詐欺...。現代に横行する犯罪のほとんどは江戸時代にもあった。信憑性の高い史料を基に、江戸時代の犯罪と刑罰について、わかりやすく紹介する。

2016:10./ 305p

978-4-396-11484-8

本体 ¥840+税



読売新聞 2016/12/18



**ジュリエット(CREST BOOKS)**

アリス・マンロー、小竹 由美子 著  
新潮社

母と娘、そのまた娘。届かない互いの思いを諦観とともに描く、2016 年 11 月公開の映画「ジュリエッタ」の原作である<ジュリエット>連作 3 篇など、ふとした出来事でゆすぶられる人生の瞬間を描いた全 8 篇を収録する。

2016:10./ 445p

978-4-10-590131-8

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2016/12/18



### 短歌を詠む科学者たち

松村 由利子 著  
春秋社

最先端の研究に従事する科学者が、千数百年も長らえてきた小さな詩の形に自らの思いを載せるとき、言葉は不思議な輝きを放つ。湯川秀樹、斎藤茂吉ら 7人の科学者の生涯をたどりながら、その短歌と研究を紹介する。

読売新聞 2016/12/18

2016:10./ 332p

978-4-393-44418-4

本体 ¥2,200+税



### 野心〜郭台銘伝〜

安田 峰俊 著  
プレジデント社

シャープを買収した台湾企業・鴻海の創業者、郭台銘とは何者か。M&A を繰り返す鴻海と、自ら独裁を公言し、苛烈な発言を繰り返す郭台銘の半生から、シャープの行く末を占う。

読売新聞 2016/12/18

2016:10./ 319p

978-4-8334-5104-8

本体 ¥1,600+税



### 教養としての仏教入門〜身近な17キーワードから学ぶ〜(幻冬舎新書 な-23-1)

中村 圭志 著  
幻冬舎

宗教を平易に説くことで定評のある著者が、日本人なら耳にしたことのあるキーワードを軸に仏教を分かりやすく解説。仏教の歴史、宗派の違い、一神教との比較など、基礎知識を網羅できる一冊。

読売新聞 2016/12/18

2016:9./ 259p

978-4-344-98430-1

本体 ¥840+税



### 重版未定<弱小出版社で本の編集をしていますの巻>

川崎 昌平 著  
河出書房新社

出版とは何か?弱小出版社を舞台に編集、営業、書店、取次まで、出版界の実態を赤裸々に描き出す。ウェブ連載人気漫画、単行本化。

読売新聞 2016/12/18

2016:11./ 229p

978-4-309-27788-2

本体 ¥1,000+税



### ヒットの崩壊(講談社現代新書 2399)

柴 那典 著  
講談社

激変する音楽業界で何が起きているのか? 「国民的ヒット曲」はもう生まれないのか? 現在の音楽シーンの実状を解き明かし、あらゆるカルチャーやエンタメに通じる消費のあり方と価値観の大転換を読み解く。

読売新聞 2016/12/18

2016:11./ 237p

978-4-06-288399-3

本体 ¥800+税



### 地図と愉しむ東京歴史散歩〜カラー版〜 地下の秘密篇(中公新書 2403)

竹内 正浩 著  
中央公論新社

地下鉄の丸ノ内線はなぜあちこちで地上に顔を出すのか。霞が関や市谷などにあった巨大な地下壕の跡、日本最大の怨霊である崇徳院をまつた神社…。たくさんの秘密が隠された東京の地下を、地図と模式図とカラー写真で紹介。

読売新聞 2016/12/18

2016:10./ 1p,157p

978-4-12-102403-9

本体 ¥940+税





**漱石先生、探偵ぞなもし(PHP 文庫 は 9-23)**

半藤 一利 著  
PHP研究所

漱石を語って読者に人気の著者が綴る、漱石先生をテーマにした随筆集の決定版！ 知られざる文豪の素顔が明かされる漱石ファン必読の書。

読売新聞 2016/12/18

2016:11./ 284p

978-4-569-76659-1

本体 ¥600+税



**ピノッキオの冒険(光文社古典新訳文庫 KAコ9-1)**

カルロ・コッローディ 著  
光文社

一本の棒つきれから作られた少年ピノッキオは、誘惑に屈して騒動を巻き起こす。周囲の大人たちを裏切り続ける悪たれ小僧の運命は？19世紀後半イタリア国家統一の時代、子どもに対する切なる願いを込めて書かれた児童文学。

読売新聞 2016/12/18

2016:11./ 387p

978-4-334-75343-6

本体 ¥840+税



**お世話され上手(シリーズ 22 世紀を生きる)**

积 徹宗 著  
ミシマ社

老いも認知症も、こわくない！迷惑かけ合いながら生きましょー。グループホーム「むつみ庵」を営み、お寺の住職かつ宗教研究者である著者が、「これからの救い」の物語を語る。細川貂々のマンガも収録。

読売新聞 2016/12/18

2016:11./ 210p

978-4-903908-84-7

本体 ¥1,600+税



**裸でも生きる<3> 輝ける場所を探して**

山口 絵理子 著  
講談社

起業から 10 年。途上国発のブランド「マザーハウス」を立ち上げた女性起業家が、次の挑戦の舞台に選んだ国は、インドネシアとスリランカだった。現地の職人たちとともに、モノづくりに挑む姿をリアルに綴る。

読売新聞 2016/12/18

2016:12./ 294p

978-4-06-220361-6

本体 ¥1,500+税



**貸本マンガと戦後の風景**

高野 慎三 著  
論創社

水木しげるの「少年戦記の会」関与の問題、つげ義春の知られざる「忍者秘帳」への言及などのテーマを取り上げながら、貸本マンガから見える戦後社会と大衆文化を論じる。『まんだらけ ZENBU』掲載を書籍化。

読売新聞 2016/12/18

2016:11./ 295p

978-4-8460-1577-0

本体 ¥2,500+税



**明治知識人としての内村鑑三〜その批判精神と普遍主義の展開〜**

柴田 真希都 著  
みすず書房

江戸末から昭和初期までを生きた思想家・内村鑑三。人類普遍の倫理的価値に支えられた世界を志向し、批判的活動を展開した内村を、日本や世界の歴史・社会の中に位置する「知識人」として立像する。

読売新聞 2016/12/18、読売新聞 2016/12/25

2016:9./ 8p,499p

978-4-622-08533-1

本体 ¥7,500+税





**バーナード嬢曰く。(REX COMICS 368)**

施川 ユウキ 著  
一迅社  
読売新聞 2016/12/25

2013:4./ 127p  
978-4-7580-6371-5  
本体 ¥619+税  
  
\* 9 7 8 4 7 5 8 0 6 3 7 1 5 \*



**日本文学全集<10> 能・狂言**

池澤 夏樹、岡田 利規、竹田 出雲、竹田 出雲、伊藤 比呂美、近松 門左衛門、近松 門左衛門、竹田 出雲、三好 松洛、桜庭 一樹、並木 千柳、いとう せいこう、三好 松洛、並木 千柳、並木 千柳、三好 松洛、松井 今朝子、竹田 小出雲、いしい しんじ、三浦 しをん 著

河出書房新社  
かつて今も、舞台からは人の声が響く。そこから演ずる者と見る者の交流が生じる。その喜びと興奮を現代の言葉で再現する。

2016:10./ 842p  
978-4-309-72880-3  
本体 ¥3,500+税  
  
\* 9 7 8 4 3 0 9 7 2 8 8 0 3 \*

読売新聞 2016/12/25



**バーナード嬢曰く。<2>(REX COMICS 521)**

施川 ユウキ 著  
一迅社  
読売新聞 2016/12/25

2015:8./ 128p  
978-4-7580-6529-0  
本体 ¥619+税  
  
\* 9 7 8 4 7 5 8 0 6 5 2 9 0 \*



**日本料理とは何か～和食文化の源流と展開～**

奥村 彪生 著  
農山漁村文化協会

中国の食文化を受容し、独自に変容、発展させてきた和食(日本食)の歴史をたどり、多様でユニークな伝統と特徴を明らかにする。

2016:3./ 606p  
978-4-540-14255-0  
本体 ¥5,000+税  
  
\* 9 7 8 4 5 4 0 1 4 2 5 5 0 \*

読売新聞 2016/12/25



**吸血鬼**

佐藤 亜紀 著  
講談社

独立蜂起の火種が燃る、19世紀ポーランド。新任役人ヘルマン・ゲスラーが妻とともに赴任した村で次々と起こる、村人の怪死とその凶兆を祓うべく行われる陰惨な因習。怪異の霧に蠢くものとは…。『小説現代』連載を単行本化。

2016:1./ 283p  
978-4-06-219918-6  
本体 ¥1,850+税  
  
\* 9 7 8 4 0 6 2 1 9 9 1 8 6 \*

読売新聞 2016/12/25



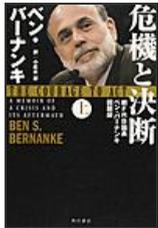
**危機と決断～前 FRB 議長ベン・バーナンキ回顧録～<下>**

ベン・バーナンキ、小此木 潔 著  
KADOKAWA

大恐慌以来、最悪の金融危機が訪れる――。なぜ AIG は救済され、リーマンは破綻したのか。その対応の中心にいた本人みずから明らかにする。前 FRB(連邦制度理事会)議長、ベン・バーナンキによる初めての著作。

2015:12./ 419p  
978-4-04-102366-2  
本体 ¥1,900+税  
  
\* 9 7 8 4 0 4 1 0 2 3 6 6 2 \*

読売新聞 2016/12/25



**危機と決断～前 FRB 議長ベン・バーナンキ回顧録～<上>**

ベン・バーナンキ、小此木 潔 著

KADOKAWA

二〇〇八年秋、米大手投資銀行リーマン・ブラザーズの破綻を機に世界を襲った金融危機。放置すれば世界大恐慌のような経済崩壊と大量失業に陥ってしまう——。「THE COURAGE TO ACT」待望の翻訳。

2015:12./ 350p 図版

16p

978-4-04-102365-5

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2016/12/25



**日本のプロテスタンティズムの政治思想～無教会における国家と宗教～**

柳父 罔近 著

新教出版社

内村鑑三をはじめとする無教会派知識人は、近代日本が負った国家形成と国民形成の課題を通じて「国家と宗教」の緊張を鋭く意識し、この問題と格闘した。彼らがそれをどのように表現し、展開してきたかを綿密に辿る。

2016:1./ 387p

978-4-400-42772-8

本体 ¥3,800+税



読売新聞 2016/12/25



**バルザック愛の葛藤・夢魔小説選集<5> 三十女**

バルザック 著

水声社

少女から母親へ、波乱にみちた奇想天外な女の人生が六部構成で壮大に語られる「三十女」ほか、謎の女と大粒のダイヤをめぐるミステリアスな「家庭の平和」の全2篇を収録する。

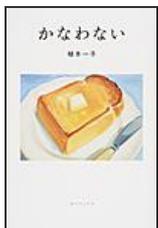
2015:12./ 340p

978-4-8010-0145-9

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2016/12/25



**かなわない**

植本 一子 著

タバックス

育児日記『働け ECD』から 5 年。写真家・植本一子がかかすにはいられなかった、結婚、家族、母、苦悩、愛。すべての期待を裏切る一大叙情詩。

2016:2./ 287p

978-4-907053-12-3

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2016/12/25



**死んでいない者**

滝口 悠生 著

文藝春秋

秋のある日、大往生を遂げた男の通夜に親類たちが集った。一人ひとりが死に思いをはせ、互いを思い、家族の記憶が広がって…。生の断片が重なり合い、永遠の時間が立ち上がる奇跡の一夜を描く。『文學界』掲載を単行本化。

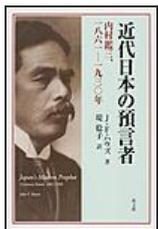
2016:1./ 144p

978-4-16-390412-2

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2016/12/25



**近代日本の預言者～内村鑑三、1861-1930 年～**

J.F.ハウズ 著

教文館

外国人研究者から見た「内村鑑三」とは?独自の思想を明晰な言葉で表現し続けた内村鑑三。その孤高の生涯を、日本の伝統と西洋的価値観との狭間で葛藤しつつ、統合を求めた精神的苦痛の軌跡として描き出す。

2015:12./ 551p,11p

978-4-7642-7402-0

本体 ¥5,000+税



読売新聞 2016/12/25



**あつけらかんの国キューバ～革命と宗教のあいだを旅して～**

越川 芳明 著  
猿江商會

日本人で唯一、現地の黒人信仰<サンテリア>の司祭になった、向こう見ずな大学教授が、ゆるくてタフなキューバ人の素顔を「格言」で読み解く。写真も豊富に掲載。『日本経済新聞』夕刊の連載に大幅な書き下ろしを加える。

2016:2./ 220p  
978-4-908260-04-9  
本体 ¥1,800+税

読売新聞 2016/12/25



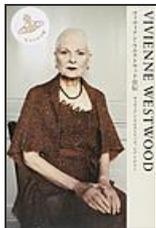
**1493～世界を変えた大陸間の「交換」～**

チャールズ・C.マン 著  
紀伊國屋書店出版部

コロンブスのアメリカ大陸到達後、大陸間で、農作物や動物、昆虫、病原菌、鉱物資源、そして人間が行き交いはじめ、本格的なグローバル化が進行していった。新たな視点で世界の歩みを振り返る。「1491」の続編。

2016:2./ 811p  
978-4-314-01135-8  
本体 ¥3,600+税

読売新聞 2016/12/25



**VIVIENNE WESTWOOD～ヴィヴィアン・ウエストウッド自伝～**

ヴィヴィアン・ウエストウッド、イアン・ケリー 著  
DU BOOKS

「トップメゾンのデザイナーで唯一、本物の貧しさを味わったことがある人物」と評されるヴィヴィアン・ウエストウッド。波乱万丈な人生に起こったさまざまな出来事や出会った人々を、自身の思想も含めつづった、初の自叙伝。

2016:3./ 614p  
978-4-907583-82-8  
本体 ¥4,000+税

読売新聞 2016/12/25



**教養としての憲法入門**

神野 潔 著  
弘文堂

憲法の歴史的背景に向けられた視点と、憲法改正などのテーマに向けられた視点をもち、現代を生き抜くための教養を伝える。

2016:3./ 15p,340p  
978-4-335-35663-6  
本体 ¥2,500+税

読売新聞 2016/12/25



**<少年>と<青年>の近代日本～人間形成と教育の社会史～**

田嶋 一 著  
東京大学出版会

日本の社会にはこれまでどのような次世代養育システムが作りだされてきたか。日本社会が近世から近代に移行する過程における<形成>と<教育>の歴史を、<少年>と<青年>の問題を主軸として社会史的な視点から解明する。

2016:3./ 8p,450p,8p  
978-4-13-056225-6  
本体 ¥8,800+税

読売新聞 2016/12/25



**私のサイクロプス**

山白 朝子 著  
KADOKAWA

出ては迷う旅本作家・和泉蠟庵の道中。荷物もちの耳彦とおつきの少女・輪、三人が辿りつく先で出会うのは悲劇かそれとも……。怪談専門誌「幽」の人気連載に書き下ろし「星と熊の悲劇」を加えた九篇の連作短編集。

2016:3./ 286p  
978-4-04-103727-0  
本体 ¥1,700+税

読売新聞 2016/12/25



**言ってはいけない～残酷すぎる真実～(新潮新書 663)**

橘 玲 著  
新潮社

きれいごとでは生きられない……。この社会の美言は絵空事だ。往々にして、努力は遺伝に勝てず、美人とブスには残酷な「美貌格差」があり、子育ての苦労はほぼムダになる……。人気作家が明かす、この「不愉快な現実」を直視せよ！

2016:4./ 254p  
978-4-10-610663-7  
本体 ¥780+税



読売新聞 2016/12/25



**室町幕府と地方の社会(岩波新書 新赤版 1581)**

榎原 雅治 著  
岩波書店

足利尊氏はなぜ鎌倉幕府打倒に動いたのか。南北朝動乱が半世紀も続いた理由は。その後、展開する公武一体の政治の流れをおさえつつ、戦に赴く在地の武士の行動様式、村々の形成などを検討。室町時代の全体像を描く。

2016:5./ 9p,229p,20p  
978-4-00-431581-0  
本体 ¥840+税



読売新聞 2016/12/25



**明日、機械がヒトになる～ルポ最新科学～(講談社現代新書 2370)**

海猫沢 めろん 著  
講談社

機械が人間に替わる時代がきた!? 「機械の人間化、人間の機械化」の先にあるものは? 小説家が日本屈指の科学者 7 人を取材し、AI からロボット、3D プリントまで、テクノロジーの最前線に迫る。

2016:5./ 291p  
978-4-06-288368-9  
本体 ¥840+税



読売新聞 2016/12/25



**心という難問～空間・身体・意味～**

野矢 茂樹 著  
講談社

ついに、世界と心ある他者に出会えた-。私が見たり聞いたりしているこれは、本当に世界そのものなのだろうか。かつては誰も見通すことができなかった、知覚し感覚するという経験を解き明かす、思考のドキュメント。

2016:5./ 4p,375p  
978-4-06-220078-3  
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2016/12/25



**数学者たちの楽園～「ザ・シンプソンズ」を作った天才たち～**

サイモン・シン 著  
新潮社

アメリカの人気風刺アニメ「ザ・シンプソンズ」の脚本家はハーバード卒だらけ。街角の貼り紙に意味不明な数式が書かれていたり、キャラクターたちの与太話の話題が宇宙物理学だったり…。作品に隠された数学の魅力を読み解く。

2016:5./ 421p  
978-4-10-539306-9  
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2016/12/25



**エドウィン・マルハウス(河出文庫 ミ2-1)**

スティーヴン・ミルハウザー 著  
河出書房新社

11 歳で夭逝した天才作家の評伝を親友が描く。濃密な子供の世界が展開されるダークな物語。伊坂幸太郎氏、西加奈子氏=推薦!

2016:6./ 532p  
978-4-309-46430-5  
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2016/12/25



### プラトン饗宴～訳と詳解～

山本 巍 著  
東京大学出版会

ギリシア語のテキストに徹底的に分け入り、新訳と詳細な解説で、古典の新たな魅力を甦らせる一冊。

読売新聞 2016/12/25

2016:6./ 13p,418p,9p

978-4-13-010129-5

本体 ¥6,500+税



### ハリネズミの願い

トーン・テレヘン 著  
新潮社

自分のハリが大嫌いで、つきあいの苦手なハリネズミが、誰かを招待しようと思いたち、招待状を書き始める。でも、手紙を送る勇気が出なくて…。臆病で気むずかしいハリネズミに友達はできるのか？ 深い孤独によりそう物語。

読売新聞 2016/12/25

2016:6./ 174p

978-4-10-506991-9

本体 ¥1,300+税



### 高坂正堯と戦後日本

五百旗頭 真、中西 寛 編  
五百旗頭 真 著  
中央公論新社

歴史に裏打ちされた予見や現実政治への率直な提言を行い、道義性を求め理想を追った知識人、高坂正堯。豊かな人格と、真摯な思索が紡ぐ的確な発言の数々を振り返り、論考する。「高坂正堯研究会」の研究成果。

読売新聞 2016/12/25

2016:5./ 4p,286p

978-4-12-004740-4

本体 ¥2,000+税



### 奴隷船の歴史

マーカス・レディカー、上野 直子 著  
みすず書房

アフリカから 1400 万人超をアメリカに運んだ奴隷船。飢餓や暴力に直面する奴隷と、一触即発の彼らと同じ船に閉じ込められた乗務員。「浮かぶ地下牢」の現場と、運搬中に 200 万人が命を落とした恐怖の「中間航路」を描く。

読売新聞 2016/12/25

2016:6./ 339p,66p 図

版 16p

978-4-622-07892-0

本体 ¥6,800+税



### ケルズの書～アイルランドの至宝～

萩原 美佐枝 著  
求龍堂

8 世紀に制作された聖書の手写本「ケルズの書」。その中の美しい色彩が施された装飾ページについて、15 年間にわたり、著者が復元模写を試みた記録。細密な構造を解明しながら、制作当時の色彩や図像の謎に迫る。

読売新聞 2016/12/25

2016:6./ 157p

978-4-7630-1608-9

本体 ¥6,000+税



### 統治機構の憲法構想

大石 眞 著  
法律文化社

憲法総論、自衛権、天皇関係、選挙制度・立法府、内閣、司法審査制、地方自治の 7 部構成で統治構造に関する諸問題を考究した 20 論考

読売新聞 2016/12/25

2016:7./ 20p,365p

978-4-589-03767-1

本体 ¥7,200+税





**いつかはみんな野生にもどる～環境の現象学～(エコクリティシズムコレクション)**

河野 哲也 著

水声社

メキシコのチェチェン・イツァ、パタゴニア、ヨセミテ渓谷、コルシカ島、そしてフクシマを訪れ、その地、そこでの時間の流れのなかで、自然と文明のあり方を哲学する旅。一般の人に向けた、独創的な新しさを持つ環境哲学の書。

2016:6./ 274p

978-4-8010-0188-6

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2016/12/25



**勝ち過ぎた監督～駒大苦小牧幻の三連覇～**

中村 計 著

集英社

北海道勢初の甲子園制覇、田中将大らの輩出、前人未到の三連覇へ王手……。短期間に数多の偉業を成し遂げた駒大苦小牧元監督・香田誉士史。栄光と挫折の舞台裏を、長期に亘る丹念な取材で解き明かす。

2016:8./ 427p

978-4-08-789006-8

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2016/12/25



**夜廻り猫～今宵もどこかで涙の匂い～<1>**

深谷 かほる 著

KADOKAWA

「泣く子はいねが～～」。涙の匂いのするところに現れる夜廻り猫の遠藤平蔵。老若男女、犬猫問わず、涙する人とともに呑み、笑い、ときに励まし、ときに見守り、いつも彼だけはそっと寄り添う。

2016:6./ 213p

978-4-04-734178-4

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2016/12/25



**マルクス最後の旅**

ハンス・ユルゲン・クリスマンスキ、猪股 和夫 著

太田出版

エンゲルスが闇に葬った「資本論」の核心とは-。「資本論」の続巻を構想しつつ最後の旅に赴いたマルクス。残された膨大なメモや記録、史実の中からマルクスの旅を再現し、ドイツの社会学の泰斗が大胆な仮説を描く。

2016:6./ 167p

978-4-7783-1525-2

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2016/12/25



**季節の民俗誌**

野本 寛一 著

玉川大学出版部

「雪国」に重きをおき、これまであまり日のあたらなかった年中行事や、年中行事の体系のなかに入りにくかった季節にかかわる人びとのいとなみに光をあてる。「自然暦」についても紹介。

2016:7./ 465p

978-4-472-30308-1

本体 ¥4,800+税



読売新聞 2016/12/25



**狩りの時代**

津島 佑子 著

文藝春秋

逝去直前まで推敲を重ねた津島文学の到達点 顔も知らぬ父、15歳で早世した兄。絵美子と母を気遣う、大勢のおじ・おばたち。大家族の物語はこの国の未来を照射する。遺作長篇。

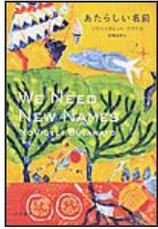
2016:8./ 285p

978-4-16-390501-3

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/12/25



### あたらしい名前

ノヴァイオレット・ブラワヨ 著

早川書房

ジンバブエの少女ダーリンは、暴力的でもろい世界のなかで成長していく。ジュノ・ディアスが絶賛した新人作家のデビュー作がついに登場。ブッカー賞最終候補作、PEN/ヘミングウェイ賞受賞作

2016:7/ 317p

978-4-15-209624-1

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2016/12/25



### みかづき

森 絵都 著

集英社

昭和 36 年、学校教育に不信を抱く千明から学習塾の立ち上げに誘われ、吾郎の波瀾の教育者人生が幕を開ける。昭和～平成の塾業界を舞台に、三世代にわたり奮闘する大島家を描いた、著者渾身の大作編!

2016:9/ 467p

978-4-08-771005-2

本体 ¥1,850+税



読売新聞 2016/12/25



### 初期社会主義の地形学(トポグラフィ)〜大杉栄とその時代〜

梅森 直之 著

有志舎

明治後期に誕生した日本の初期社会主義。日本資本主義批判の系譜の根源に立ち帰り、大杉栄をはじめとする初期社会主義者たちの思想と行動の意味を、かれらが生きたグローバルなコンテキストとともにあきらかにする。

2016:9/ 8p,351p,10p

978-4-908672-05-7

本体 ¥5,400+税



読売新聞 2016/12/25



### 煙が目にしみる〜火葬場が教えてくれたこと〜

ケイトリン・ドーティ、池田 真紀子 著

国書刊行会

初めてひげ剃りをした死体のことを、女は死ぬまで忘れない。ファーストキスや初体験以上に…。火葬技師見習いとして就職した初日から一人前の葬儀屋になるまでの日々と、そこから得た哲学を本音で熱く語る回想録。

2016:8/ 371p

978-4-336-06071-6

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2016/12/25



### 特攻 なぜ拡大したのか

大島 隆之 著

幻冬舎

昭和 19 年 10 月にフィリピンで始まった特攻は、その後の沖縄戦で戦いの中心となり、やがて「全軍特攻」へと向かう。なぜ歯止めがきかなかったのか、機密資料と証言をもとに真相に迫る。NHK スペシャルに大幅加筆し書籍化。

2016:7/ 339p

978-4-344-02969-9

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/12/25



### 渡邊洪基〜衆智を集むるを第一とす〜(ミネルヴァ日本評伝選)

瀧井 一博 著

ミネルヴァ書房

帝国大学の初代総長であり、民権運動に対する弾圧策として悪名高い「集会条例」の起草者、渡邊洪基。日本の近代化を支える「知」のあり方を追求した明治国会の造形者のひとりとして、渡邊洪基に新たな光を当てる。

2016:8/ 20p,338p,11p

978-4-623-07714-4

本体 ¥3,500+税



読売新聞 2016/12/25



**田中角栄～昭和の光と闇～(講談社現代新書 2382)**

服部 龍二 著  
講談社

東京一極集中の是正、限定的改憲論、日中裏安保、資源外交、北方領土問題の解決...角栄が夢見た「日本の未来」とは。田中角栄の生涯を追いながら、現代保守政治の源流としての田中政治を読み解く。

2016:9./ 355p

978-4-06-288382-5

本体 ¥920+税



読売新聞 2016/12/25



**最後の「天朝」～毛沢東・金日成時代の中国と北朝鮮～<上>**

沈 志華、朱 建栄 著  
岩波書店

「血で結ばれた同盟」という神話を破壊する書。中国・ロシアの未公開資料に基づき、長らくベールに包まれてきた中朝関係の秘史を明らかにする。上は、中朝共産主義者の関係前史、1945?1956年のできごとなどを収録。

2016:9./ 11p,284p,55p

978-4-00-023066-7

本体 ¥5,800+税



読売新聞 2016/12/25



**最後の「天朝」～毛沢東・金日成時代の中国と北朝鮮～<下>**

沈 志華、朱 建栄 著  
岩波書店

「血で結ばれた同盟」という神話を破壊する書。中国・ロシアの未公開資料に基づき、長らくベールに包まれてきた中朝関係の秘史を明らかにする。下は、1956?1976年のできごと、中朝関係の歴史的な位置づけなどを収録。

2016:9./ 11p,273p,83p

978-4-00-023067-4

本体 ¥5,800+税



読売新聞 2016/12/25



**明るい夜に出かけて**

佐藤 多佳子 著  
新潮社

今は学生でいたくなかった。コンビニでバイトし、青くない海の街でひとり暮らしを始めた。唯一のアイデンティティは深夜ラジオのリスナーってこと...。若さと生きることのすべてが詰まった長篇小説。

2016:9./ 284p

978-4-10-419004-1

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2016/12/25



**こちら葛飾区亀有公園前派出所<第 200 巻> 40周年だよ全員集合の巻(ジャンプコミックス)**

秋本 治 著  
集英社

空前絶後の 200 巻!! 「40周年だよ全員集合の巻」など、大増量 21 編収録! 400P の超ボリューム!!

2016:9./ 389p

978-4-08-880773-7

本体 ¥700+税



読売新聞 2016/12/25



**真田信繁の書状を読む(星海社新書 95)**

丸島 和洋 著  
星海社

書状という「一次資料」から浮かび上がる、真田信繁の素顔とは? 大河ドラマ「真田丸」の時代考証担当者が、真田信繁が出した全 17 点にもおよぶ書状を道しるべに、彼の足跡を辿りなおす。

2016:9./ 285p

978-4-06-138601-3

本体 ¥900+税



読売新聞 2016/12/25



**滞欧日記～1955-1957～**

萬年 甫 著  
中山書店

脳解剖学のパイオニアのひとりである著者が、フランス政府給費留学生として日本を離れていた 1955 年 10 月から 1957 年 2 月までの 17 か月間に、留守宅の家族宛に綴った書簡を日記の形に編集。小伝や追想も収録する。

読売新聞 2016/12/25

2016:8./ 813p  
978-4-521-74429-2  
本体 ¥5,000+税



**アメリカ大統領制の現在～権限の弱さをどう乗り越えるか～(NHK ブックス 1241)**

待鳥 聡史 著  
NHK出版

自由に政策を実現する権限が与えられていないアメリカの大統領。その理由をイギリス植民地以来の歴史と国際比較から解明し、カーター、オバマらを分析して、各大統領がこの困難にどう取り組んできたのかを明らかにする。

読売新聞 2016/12/25

2016:9./ 262p  
978-4-14-091241-6  
本体 ¥1,400+税



**本題～西尾維新対談集～(講談社文庫 に 32-21)**

西尾 維新 著  
講談社

一線を走る彼らに、前置きは不要だ!西尾維新が荒川弘、羽海野チカ、辻村深月ら 5 人の偉才と語る、創造と想像のあわい。

読売新聞 2016/12/25

2016:10./ 264p  
978-4-06-293507-4  
本体 ¥630+税



**クモの糸でバイオリン(岩波科学ライブラリー 254)**

大崎 茂芳 著  
岩波書店

「クモの糸にぶら下がる」など数多の挑戦を経て、クモの糸でバイオリンの弦をつくることに。暗中模索、数年がかりで完成した弦が、世界的な反響を巻き起こす。たゆまぬ好奇心が生んだ成功物語のすべてをレポートする。

読売新聞 2016/12/25

2016:10./ 7p,114p,2p  
978-4-00-029654-0  
本体 ¥1,200+税



**この青い空で君をつつもう**

瀬名 秀明 著  
双葉社

高校の美術部に所属する早季子に届いた一枚のはがき。さよならも言えず亡くなった同級生の和志が、何かを伝えようとしているのか…。力強い希望が溢れる、青春ラブストーリー。『小説推理』連載を書籍化。

読売新聞 2016/12/25

2016:10./ 298p  
978-4-575-23990-4  
本体 ¥1,500+税



**蜜蜂と遠雷**

恩田 陸 著  
幻冬舎

養蜂家の父とともに各地を転々とし自宅にピアノを持たない少年、かつての天才少女、サラリーマン…。ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、音楽を描いた青春群像小説。『星星映』『ポンツーン』連載を単行本化。

読売新聞 2016/12/25

2016:9./ 507p  
978-4-344-03003-9  
本体 ¥1,800+税





**小泉信三エッセイ選<1> 善を行うに勇なれ**

山内 慶太 編

小泉 信三 著

慶應義塾大学出版会

今上天皇の御教育係、戦時の慶應義塾長であった小泉の、日本のモラル・バックボーンとなる数多のエッセイを厳選。日々の心得や大学問題、今上天皇の皇太子時代に関する文章など、「当代の文章家」による 60 余編を収録する。

2016:10./ 8p,289p

978-4-7664-2383-9

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2016/12/25



**アレハンドリア(アリス狩り 5)**

高山 宏 著

青土社

「不思議の国のアリス」から 20 世紀文学、漱石・川端・乱歩・澁澤やマネエリスム美学、赤塚不二夫ギャグの破壊力までを論じる。表象文化論の第一人者による無限で豊かな<知>の饗宴。『ユリイカ』等掲載を単行本化。

2016:10./ 448p

978-4-7917-6959-9

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2016/12/25



**あひる**

今村 夏子 著

書肆侃侃房

あひるを飼うことになった家族と学校帰りに集まってくる子供たち。幸せな日常の危うさを描いた表題作と、揺れ動く子供たちの心の在りようを鋭く描く「おばあちゃんの家」「森の兄妹」の全 3 編を収録。

2016:11./ 140p

978-4-86385-241-9

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2016/12/25



**日本語の建築~空間にひらがなの流動感を生む~(PHP 新書 1070)**

伊東 豊雄 著

PHP研究所

日本を代表する建築家が、自身の代表的建築物を考察しながら、都市のあり方、地方再生、東北の復興を語る。建築を通した日本論。

2016:11./ 197p

978-4-569-83203-6

本体 ¥820+税



読売新聞 2016/12/25



**日本語のために(日本文学全集 30)**

河出書房新社

日本文学の定義は日本語で書かれていることである。言語と文学の関係を明らかにするための実例と日本語論を幅広く集め、豊饒の由来を明らかにする。

2016:8./ 524p

978-4-309-72900-8

本体 ¥2,600+税



読売新聞 2016/12/25、日本経済新聞 2016/12/25



**21世紀の不平等**

アンソニー・B.アトキンソン 著

東洋経済新報社

経済学のトレンドが成長から分配へ変わった今、不平等研究の第一人者が具体的に革新的な処方箋を提示する。全世界で読むべき一冊。

2015:12./

27p,369p,56p

978-4-492-31470-8

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2016/12/25、日本経済新聞 2016/12/25



### デリカシー体操～ヨシタケシンスケスケッチ集～

ヨシタケ シンスケ 著  
グラフィック社

忘れたことすらおぼえていない、どうでもいいものたち。「クククッ」と笑って癒される、心と頭のヒトコマ体操。イラストレーター・絵本作家ヨシタケシンスケの初期スケッチ集を、新作を加えて復刻。

2016:3./ 291p  
978-4-7661-2899-4

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2016/12/31



### 映画なしでは生きられない

真魚 八重子 著  
洋泉社

監督論、俳優論もあれば、テーマに沿って古今東西の映画を取り上げたコラムもあり。「映画系女子がゆく!」の著者・真魚八重子が、女性としての視線で物語を咀嚼した映画評論集。

2016:4./ 239p  
978-4-8003-0916-7

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2016/12/31



### これもまた、過ぎゆく

ミレーナ・ブスケツ、井上 知 著  
早川書房

母の死を深く嘆くブランカ。気晴らしをすべきだという周囲の忠告を受け入れ、カダケスに行くことを決めた。二人の子供、二人の元夫、妻子持ちの愛人、二人の親友とともに。六月、著者来日決定!

2016:6./ 171p  
978-4-15-209622-7

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/12/31



### 愛と欲望の雑談(コーヒーと一冊 8)

雨宮 まみ、岸 政彦 著  
ミシマ社

「女子をこじらせて」で女性性とうまく向き合えない自身の姿を描いたライターと、「断片的なものの社会学」で社会学の新しい扉を開いた社会学者が、恋愛、家族、コンプレックスなど、“他者とのかかわり”について語り合う。

2016:9./ 94p  
978-4-903908-80-9

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2016/12/31



### アメリカ・インディアンの口承詩～魔法としての言葉～(平凡社ライブラリー)

金関 寿夫 著  
平凡社

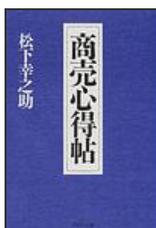
やさしさのなかの力、素朴さのなかの洗練、甦る魔法の詩人たち…。アメリカ現代詩が見いだした「古典」、先住民が伝えた口承文学の世界を解明する。93年思潮社刊「魔法としての言葉」の改題。(ソフトカバー)

2000:6./ 306p  
978-4-582-76347-8

本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2016/12/04



### 商売心得帖(PHP文庫)

松下 幸之助 著  
PHP研究所

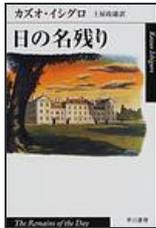
商売は朝に発意、昼に実行、夕べに反省の繰り返し。事業一筋半世紀、その豊富な体験と深い思索から説く商売のコツとは。ビジネスの基本と本質が詰まった一冊。

2001:5./ 204p  
978-4-569-57557-5

本体 ¥476+税



日本経済新聞 2016/12/04



**日の名残り(ハヤカワ epi 文庫)**

カズオ・イシグロ、土屋 政雄 著  
早川書房

短い旅に出た老執事が、美しい田園風景のなか古き佳き時代を回想する。長年仕えた卿への敬慕、執事の鑑だった亡父、女中頭への淡い想い…。失われゆく伝統的英国を描く英国最高の文学賞、ブッカー賞受賞作。

日本経済新聞 2016/12/04

2001:5./ 365p

978-4-15-120003-8

本体 ¥760+税



**興奮(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 12-1)**

ディック・フランシス 著

早川書房

最近イギリスの障害レースでは思いがけない大穴が十回以上も続出した。番狂わせを演じた馬には興奮剤投与の形跡が明白であったが、証拠が発見されなかった。そこにはどんなからくりがあるのか?

日本経済新聞 2016/12/04

1976:4./ 406p

978-4-15-070701-9

本体 ¥840+税



**横しぐれ(講談社文芸文庫)**

丸谷 才一 著

講談社

横しぐれ、たった 1 つのその言葉に感嘆して、不意に雨中に出て行ったその男を追跡しているうちに、父の、家族の、「わたし」の、思いがけない過去の姿が立ち現れてくる。

日本経済新聞 2016/12/04

1990:1./ 312p

978-4-06-196065-7

本体 ¥1,300+税



**自由からの逃走 新版(現代社会科学叢書)**

エーリッヒ・フロム、日高六郎 著

東京創元社

現代の「自由」の問題は、機械主義社会や全体主義の圧力によって、個人の自由がおびやかされるというばかりでなく、人々がそこから逃れたいくなる呪縛となりうる点にあるという斬新な観点で自由を解明した、必読の名著。

日本経済新聞 2016/12/04

1984:4./ 337p

978-4-488-00651-8

本体 ¥1,700+税



**本を読む本(講談社学術文庫)**

M.J.アドラー、C.V.ドーレン 著

講談社

読むに値する良書とは何か、読書の本来の意味とは何かを考え、知的かつ実践的な読書の技術をわかりやすく解説している。初級読書に始まり、点検読書や分析読書をへて、最終レベルにいたるまでの具体的な方法を示し、読者を積極的な読書へと導く。

日本経済新聞 2016/12/04

1997:10./ 265p

978-4-06-159299-5

本体 ¥940+税



**幻の動物とその生息地(静山社ペガサス文庫 口-1-22)**

J.K.ローリング 著

静山社

「ハリー・ポッター」の物語に登場する魔法動物が大集合! ホグワーツ魔法魔術学校の教科書を、ハリーたちの落書きまで再現して複製。88 の魔法動物の生態を収録する。

日本経済新聞 2016/12/04

2014:5./ 102p

978-4-86389-252-1

本体 ¥620+税





**実践経営哲学～経営のコツこなりと気づいた価値は百万両～(PHP ビジネス新書 M05)**

松下 幸之助 著

PHP研究所

「共存共栄に徹すること」「好況よし不況さらによし」「悩みこそ社長の生きがい」  
他、幸之助がみずから紡いだ珠玉の経営哲学集。

2014:7./ 241p

978-4-569-82005-7

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2016/12/04



**口笛を吹きながら本を売る～柴田信、最終授業～**

石橋 毅史 著

晶文社

神保町岩波ブックセンターの代表として日々本と向きあう柴田信さん。柴田さんの書店人生 50 年を辿ると、本屋と出版社が歩んできた道のり、本屋の未来を考える礎、これからの小商いの在りかたが見えてくる。

2015:4./ 211p

978-4-7949-6877-7

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2016/12/04



**人間晩年図巻<1990-94年>**

関川 夏央 著

岩波書店

あの人はどんな晩年を送ったのか。彼らが世を去ったのはいかなる時代だったのか。1990 年代を舞台に、世界的スターから市井の人まで、同時代人たちの晩年を描き出す。1990-94 年は、田中角栄、長谷川町子らを収録。

2016:5./ 8p,268p

978-4-00-061139-8

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2016/12/04



**人間晩年図巻<1995-99年>**

関川 夏央 著

岩波書店

あの人はどんな晩年を送ったのか。彼らが世を去ったのはいかなる時代だったのか。1990 年代を舞台に、世界的スターから市井の人まで、同時代人たちの晩年を描き出す。1995-99 年は、渥美清、ダイアナ元妃らを収録。

2016:6./ 8p,302p

978-4-00-061140-4

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2016/12/04



**ハリリー・ポッターと呪いの子～第一部・第二部～(「ハリリー・ポッター」シリーズ)**

J.K.ローリング、ジョン・ティファニー、ジャック・ソーン 著

静山社

「ハリリー・ポッターと死の秘宝」での戦いから 19 年。ハリリーとその次男アルバスは、ある不快な真実を知ること...。舞台「ハリリー・ポッターと呪いの子」の特別リハーサル版の脚本。3 人の著者によるオリジナル・ストーリー。

2016:11./ 414p

978-4-86389-346-7

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2016/12/04



**万博の歴史～大阪万博はなぜ最強たり得たのか～**

平野 暁臣 著

小学館クリエイティブ

「輝かしい未来」を見せてくれた万博は、大衆に夢と希望を与える“魔法の国”だった。だが、現在はかつてのような影響力をもち得ていない。万博 165 年の歩みを時系列でたどりながら、その本質と課題を読み解く。

2016:10./ 255p

978-4-7780-3609-6

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2016/12/04



### パスポート学

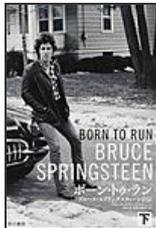
陳 天璽、大西 広之、小森 宏美、佐々木 てる 著  
北海道大学出版会

パスポートが必要なのは国境を越えるため？ 国籍を証明するため？ 自らのアイデンティティを確かめるため？ 人類学から歴史学、社会学、政治学、法学まで、各専門家がパスポートを通して世界のさまざまな現実

2016:11./ 14p,272p  
978-4-8329-6823-3  
本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2016/12/04



### ボーン・トゥ・ラン〜ブルース・スプリングスティーン自伝〜<下>

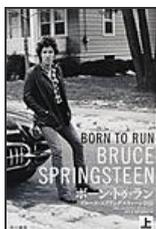
ブルース・スプリングスティーン、鈴木 恵、加賀山 卓朗 著  
早川書房

アメリカを代表するロック・ミュージシャン、ブルース・スプリングスティーン

2016:9./ 357p  
978-4-15-209641-8  
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2016/12/04



### ボーン・トゥ・ラン〜ブルース・スプリングスティーン自伝〜<上>

ブルース・スプリングスティーン、鈴木 恵、加賀山 卓朗 著  
早川書房

アメリカを代表するロック・ミュージシャン、ブルース・スプリングスティーンが七年の歳月を掛けて執筆した、史上初めての自伝。その生い立ちから代表的アルバムの誕生秘話まですべてを明かす！

2016:9./ 364p  
978-4-15-209640-1  
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2016/12/04



### ストロベリーナイフ

荻原 浩 著  
毎日新聞出版

農家なんてかっこ悪い。と思っていたはずだったー。イチゴ農家を継げと迫る母親。猛反対の妻。志半ばのデザイナーの仕事はどうする？ 恵介 36 歳、いま、人生の岐路に立つ！『毎日新聞』日曜くらぶ連載を単行本化。

2016:9./ 351p  
978-4-620-10823-0  
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2016/12/04



### 現代美術コレクター(講談社現代新書 2393)

高橋 龍太郎 著  
講談社

日本現代アートは高橋コレクションなくして語れない。草間彌生、奈良美智、会田誠など、アートシーンの最前線をコレクター本人が紹介。日本の現代アートが世界一である理由や、アート購入のコツなども語る。

2016:10./ 図 版  
16p,173p  
978-4-06-288393-1  
本体 ¥800+税



日本経済新聞 2016/12/04



### リーチ先生

原田 マハ 著  
集英社

西洋と東洋の芸術を融合し、新しい陶芸の世界を切り拓いたイギリス人陶芸家バーナード・リーチ。日本を愛し日本に愛されたその半生を二代にわたり弟子となった名も無き父子の視点から描く感動長編。

2016:10./ 464p  
978-4-08-771011-3  
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2016/12/04



**究極にうまいクラフトビールをつくる～キリンビール「異端児」たちの挑戦～**

永井 隆 著  
新潮社

大量生産に背を向けたキリンビールの「異端児」たちは、思い描いた理想のビールだけを出すクラフトビール専門店「スプリングバレーブルワリー」をつくった…。開店以来超満員の続く店の奇跡を描くビジネス・ノンフィクション。

2016:10./ 189p  
978-4-10-350491-7  
本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2016/12/04



**第四次産業革命～ダボス会議が予測する未来～**

クラウス・シュワブ 著  
日本経済新聞出版社

ダボス会議(世界経済フォーラム)の創設者として世界の経済と政治を40年間にわたって中心から観察しつづけてきた著者が、ダボス会議でグローバルエリートと行ったディスカッションを基に、来るべきメガトレンドを詳説する。

2016:10./ 232p  
978-4-532-32111-6  
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2016/12/04



**預金封鎖に備えよ～マイナス金利の先にある危機～**

小黒 一正 著  
朝日新聞出版

あなたの預金を下ろせなくなる!財政破綻が現実味を帯びるいま、預金封鎖のリスクが迫っている。ヘリマネ、財政ファイナンス、資産課税...元財務官僚が、最悪のシナリオを予測。「国家の収奪」に備える資産防衛法も解説する。

2016:10./ 252p  
978-4-02-331541-9  
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2016/12/04



**羽柴を名乗った人々(角川選書 578)**

黒田 基樹 著  
KADOKAWA

羽柴(豊臣)秀吉の政権時代、有力大名の名字はすべて「羽柴」であった。これは何を意味しているのか。新しい武家の政治序列を創り出した、秀吉の野望と類い稀な政治手腕を描き出す。

2016:11./ 261p  
978-4-04-703599-7  
本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2016/12/04



**習近平はいったい何を考えているのか～新・中国の大問題～(PHP新書 1066)**

丹羽 宇一郎 著  
PHP研究所

2049年、独裁体制は崩壊する!建国100周年の野望を予見!中国を知り尽くした元大使が見据える大国の覇権と激動の世界情勢。

2016:10./ 274p  
978-4-569-83180-0  
本体 ¥840+税



日本経済新聞 2016/12/04



**紙の世界史～歴史に突き動かされた技術～**

マーク・カーランスキー、川副 智子 著  
徳間書店

宗教・経済・芸術・生活...人類史の根底には紙があった。紙はなぜ生まれ、どのように各地へ伝わり、変化を遂げていったのか。紙を通して文明の始まりから現代までの世界史を概観する。

2016:11./ 493p  
978-4-19-864296-9  
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2016/12/04



**月9～101のラブストーリー～(幻冬舎新書 な-1-11)**

中川 右介 著  
幻冬舎

トレンディドラマで革命を起こし、爆発的なヒットを飛ばしてきた「月9」。人々を熱中させたものは何だったのか? 絶頂期に至る39作品を中心に、「月9」が連続ドラマの頂点に立つまでの10年の軌跡をたどる。

2016:10./474p  
978-4-344-98435-6  
本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2016/12/04



**水木しげるの不思議旅行(中公文庫 み11-4)**

水木 しげる 著  
中央公論新社

人の幸運や不運は、個人の努力とは関係ないところで決まることもある。その時にもしかしたら、妖怪が影響を与えているのかもしれない…。水木先生が自らの体験を交えて綴る、この世とあの世にまつわる不思議話22話。

2016:11./218p  
978-4-12-206318-1  
本体 ¥580+税



日本経済新聞 2016/12/04



**九十歳。何がめでたい**

佐藤 愛子 著  
小学館

人間は「のんびりしよう」なんて考えてはダメだということが、九十歳を過ぎてよくわかりました。御年九十二歳、もはや満身創痍の佐藤愛子が、ヘトヘトでしぼり出した怒りの書。『女性セブン』連載を書籍化。

2016:8./223p  
978-4-09-396537-8  
本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2016/12/04、産経新聞 2016/12/17



**欧州複合危機～苦悶するEU、揺れる世界～(中公新書 2405)**

遠藤 乾 著  
中央公論新社

ユーロ危機、難民流入、テロ事件、イギリスの離脱と試練が続くEU。なぜこのような危機に陥ったのか、EUは本当に崩壊するのか、その引き金は何か。日本や世界への影響も含め、欧州が直面する複合的な危機の本質を解明する。

2016:10./7p,294p  
978-4-12-102405-3  
本体 ¥860+税



日本経済新聞 2016/12/04、朝日新聞 2016/12/18



**挑む日本の最貧困地域～あいらん改革3年8カ月の全記録～**

鈴木 亘 著  
東洋経済新報社

日本最大のドヤ街「あいらん地区」の再生はこうして始まった。大阪市特別顧問という当事者中の当事者である著者の筆によって描く。

2016:10./13p,470p  
978-4-492-44434-4  
本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2016/12/04、毎日新聞 2016/12/11、毎日新聞 2016/12/18



**古典落語正蔵・三木助集(ちくま文庫)**

林家正蔵、桂三木助 著  
筑摩書房

端正な語り口で怪談・芝居噺、そして晩年の随談で聞手を魅了した正蔵、繊細な感覚、飄逸な軽みで人々に愛された三木助。懐しくも楽しい一席を。

1990:6./554p  
978-4-480-02443-5  
本体 ¥1,068+税



日本経済新聞 2016/12/11



**幻談・観面談～他三篇～(岩波文庫 緑 12-8)**

幸田 露伴 著  
岩波書店

斎藤茂吉に「このくらい洗練された日本語はない」と絶賛された「幻談」の語りは、まさに円熟しきった名人の芸というに値する。ほかに「骨董」「魔法修行者」など、晩年の傑作五篇を収録。

1990.11./ 200p  
978-4-00-310128-5  
本体 ¥500+税



日本経済新聞 2016/12/11



**昭和十七年の夏幻の甲子園～戦時下の球児たち～(文春文庫 は 44-1)**

早坂 隆 著  
文藝春秋

朝日新聞社主催から文部省主催に変更して強行された昭和 17 年の甲子園大会。大会後は「兵士」として戦場に向かった、多くの球児たちの数奇な運命を辿るノンフィクション。

2012.7./ 383p  
978-4-16-783803-4  
本体 ¥667+税



日本経済新聞 2016/12/11



**京奉行長谷川平蔵(新潮文庫 あ-72-3)**

秋月 達郎 著  
新潮社

鬼と呼ばれた火盗改・長谷川平蔵の父、初代平蔵が京都西町奉行に赴任した。その前に立ちをはだかつて京の町を騒がす悪党たち。贗坊主が暗躍する「六勝阿闍梨」ほか、全 3 編を収録したシリーズ第 1 弾。

2016.1./ 333p  
978-4-10-138943-1  
本体 ¥550+税



日本経済新聞 2016/12/11



**物流ビジネス最前線～ネット通販、宅配便、ラストマイルの攻防～(光文社新書 828)**

齊藤 実 著  
光文社

「物流を制するものがビジネスを制する」といわれるほど、その動向に注目が集まっている現代の物流。その実態と課題について、日本はもちろんのこと、「ネット通販先進国」であるアメリカの物流事情も含めて論じる。

2016.7./ 214p  
978-4-334-03931-8  
本体 ¥740+税



日本経済新聞 2016/12/11



**あらゆる文士は娼婦である～19 世紀フランスの出版人と作家たち～**

石橋 正孝、倉方 健作 著  
白水社

名作誕生の裏には編集者・出版者・書店あり。手練手管、権謀術策、偶然と必然—作家たちとわたりあった 6 人の出版人の奮闘物語。

2016.10./ 280p  
978-4-560-09515-7  
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2016/12/11



**アマゾンと物流大戦争(NHK 出版新書 495)**

角井 亮一 著  
NHK出版

アマゾンが仕掛ける物流革命により、経済の地殻変動が起こり始めている。あらゆるビジネスを飲み込む巨人の正体とは?流通先進国アメリカで取材を重ねる気鋭の物流コンサルタントが、日米ビジネスの最前線からレポートする。

2016.9./ 221p  
978-4-14-088495-9  
本体 ¥740+税



日本経済新聞 2016/12/11



**長谷川平蔵人足寄場平之助事件帖<1> 童懐(小学館文庫 ち3-4)**

千野 隆司 著  
小学館

長谷川平蔵が実施した人足寄場。伯父の平蔵を慕う平之助は定掛与力として寄場に勤めることに。その頃、押し込み強盗が起り、逃走用の船の船頭として雇われ、捕まった男が寄場に送られてきて…。平之助の成長と活躍を描く。

2016:10./ 275p  
978-4-09-406347-9  
本体 ¥580+税



日本経済新聞 2016/12/11



**近代都市の下層社会～東京の職業紹介所をめぐる人々～(サピエンティア 49)**

町田 祐一 著  
法政大学出版局

明治後期?大正前期に全国から人が集まった東京。そこに登場した営利・公益職業紹介所は、都市下層社会との接点として政治社会的に重要な意味を持っていた。その実態を様々な史料を元に検討し、下層社会が拡大した過程を追う。

2016:11./ 6p,281p,7p  
978-4-588-60349-5  
本体 ¥3,400+税



日本経済新聞 2016/12/11



**これ、いったいどうやったら売れるんですか?～身近な疑問からはじめるマーケティング～(SB新書 364)**

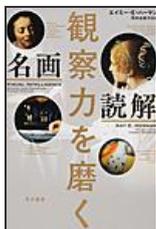
永井 孝尚 著  
SBクリエイティブ

身近な 8 つのストーリーで、マーケティングの基礎を学ぼう!会議でよく聞くあんな言葉、こんな言葉、すべてこの 1 冊でわかります!

2016:10./ 207p  
978-4-7973-8895-4  
本体 ¥800+税



日本経済新聞 2016/12/11



**観察力を磨く名画読解**

エイミー・E.ハーマン 著  
早川書房

フェルメールが描いた女性の表情から、あなたは何が読みとれる? 名画の分析法を学ぶことで、バイアスのない観察力、大切な情報を引き出す質問力、正確な伝達力、失敗しない判断力を身につけよう。

2016:10./ 361p  
978-4-15-209642-5  
本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2016/12/11



**中国共産党閥の中の決戦**

中澤 克二 著  
日本経済新聞出版社

最高指導部内で不気味に響く不協和音、周辺諸国や米国との危うい緊張状態、政権を大きく揺さぶる「爆弾文書」…。驕りゆえに難局を招いた習体制の現実と、激しさを増す中国共産党内の暗闘の裏側を、日経記者が鮮烈に描く。

2016:10./ 339p  
978-4-532-17606-8  
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2016/12/11



**昭和十八年の冬最後の箱根駅伝～戦時下でつながれたタスキ～**

早坂 隆 著  
中央公論新社

この駅伝が終わったら戦争。これが最後の箱根駅伝だー。昭和 18 年の箱根駅伝とは、一体どのような大会だったのか。「幻の大会」という虚像を排し、生き証人や関係者への取材で、新たな史実を掘り起こす。

2016:9./ 317p  
978-4-12-004893-7  
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2016/12/11



### 闇の平蔵

逢坂 剛 著  
文藝春秋

悪党や、手下たちさえ顔を知らない火盗改・長谷川平蔵。不屈きにも「闇の平蔵」を名乗る者が現われて……ハードボイルド時代小説。

日本経済新聞 2016/12/11

2016:11./ 338p

978-4-16-390554-9

本体 ¥1,600+税



2016:11./

2p,345p,26,5p

978-4-00-431627-5

本体 ¥980+税



### 読んじゃいなよ!〜明治学院大学国際学部高橋源一郎ゼミで岩波新書をよむ〜(岩波新書 新赤版 1627)

高橋 源一郎 編  
岩波書店

稀代の読み手・高橋源一郎が、ゼミの学生と岩波新書をトコトン読んだ2年間の記録。新書執筆陣の鷺田清一、長谷部恭男、伊藤比呂美を交え、真剣勝負の対話を重ねる中から、いまどきの学生の等身大の不安や希望も見えてくる。

日本経済新聞 2016/12/11



### 「移動」の未来

エドワード・ヒュームズ 著  
日経BP社

ヒトやモノをドアからドアへと運びつづける輸送システムとはどんなものなのか。システムを動かすための代償とは。交通・物流の「見たくない現実」と「見えてきた希望」を描き、交通過密なこの世界の仕組みを明らかにする。

日本経済新聞 2016/12/11

2016:10./ 437p

978-4-8222-5183-3

本体 ¥2,200+税



### 教育費破産(祥伝社新書 489)

安田 賢治 著  
祥伝社

奨学金の返済が滞って子だけでなく親も連鎖して自己破産に至るケース、中高私立進学や塾などで高額な教育費がかかるケース…。教育費貧乏に陥る中流家庭の親たちの実情を紹介し、教育にどう立ち向かうべきかを考える。

日本経済新聞 2016/12/11

2016:11./ 212p

978-4-396-11489-3

本体 ¥780+税



### ライムスター宇多丸の映画カウンセリング

宇多丸 著  
新潮社

「カツラを外すタイミングが分かりません」「そもそも国って何ですか?」ラジオ映画評でお馴染みの著者が、そんな悩みを解決するオススメ映画を紹介する。『月刊コミック@バンチ』連載に加筆し書籍化。

日本経済新聞 2016/12/11

2016:11./ 248p

978-4-10-350561-7

本体 ¥1,500+税



### GE 変化の経営

熊谷 昭彦 著  
ダイヤモンド社

2015年に2桁成長を記録したGEジャパン。IoT時代にGEが進めるグループ史上最大といえる変革はどのように現場で実践・浸透されてきているのかを解説し、組織も個人も変わりつづければ成長できることを伝える。

日本経済新聞 2016/12/11

2016:11./ 12p,239p

978-4-478-06911-0

本体 ¥1,600+税





**本当はブラックな江戸時代**

永井 義男 著  
辰巳出版

多かった通り魔事件、年に 2 日しかなかった奉公人の休日、いつも異臭が漂う長屋、低かった庶民の教育水準…。戯作、随筆、随想、日記などの資料をもとに、江戸時代の実際の姿を紹介する。

日本経済新聞 2016/12/11

2016:11./ 239p

978-4-7778-1780-1

本体 ¥1,400+税



**北方領土の謎**

名越 健郎 著  
海竜社

択捉軍事基地で 19 歳の少年が銃乱射、国後の森に 18 歳女性の麻薬中毒死体…。領土問題の裏に隠れた北方四島の真実とは?戦後 70 年以上ソ連・ロシアの実効支配下にある北方領土の実態を、ロシア側資料で浮き彫りにする。

日本経済新聞 2016/12/11

2016:11./ 259p

978-4-7593-1516-5

本体 ¥1,600+税



**オバマ政権の経済政策～リベラリズムとアメリカ再生のゆくえ～**

河音 琢郎、藤木 剛康 著  
ミネルヴァ書房

バラク・オバマ大統領はいかなる成果を上げたのか。マクロ経済や対外経済、財政などの主要論点を分析し、深刻な経済危機と政治対立に直面した 2 期 8 年間のオバマ政権期アメリカ経済の変化を、体系的かつ詳細に明らかにする。

日本経済新聞 2016/12/11

2016:11./ 10p,311p

978-4-623-07793-9

本体 ¥3,000+税



**老いる家崩れる街～住宅過剰社会の末路～(講談社現代新書 2397)**

野澤 千絵 著  
講談社

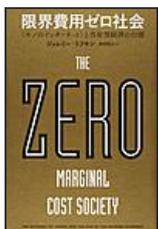
人口は減少するのに、都心では超高層マンションが林立、郊外では住宅建築が相次ぐ日本。住宅の「量」、住宅や住環境の質としての「古い」、新築住宅の「立地」の観点から、住宅過剰社会が抱える構造的な問題を明らかにする。

日本経済新聞 2016/12/11、朝日新聞 2016/12/18

2016:11./ 222p

978-4-06-288397-9

本体 ¥760+税



**限界費用ゼロ社会～<モノのインターネット>と共有型経済の台頭～**

ジェレミー・リフキン 著  
NHK出版

テクノロジーの進化が経済と社会を根底から変える!世界的な文明評論家が、3D プリンターや大規模オンライン講座 MOOC などの事例をもとに、デジタル革命の真のインパクトを読み解く。日本版向けの「特別章」付き。

日本経済新聞 2016/12/11、朝日新聞 2016/12/25

2015:10./ 531p

978-4-14-081687-5

本体 ¥2,400+税



**魚と日本人～食と職の経済学～(岩波新書 新赤版 1623)**

濱田 武士 著  
岩波書店

多くの「職人」によって支えられている日本独自の魚食文化が大きく変貌している。各地の漁港や市場を歩く研究者が、現場の新たな模索とともに魚食と魚職の関係を再考し、「食べる人」の未来に向けてのかかわり方も提言する。

日本経済新聞 2016/12/11、東京・中日新聞 2016/12/18

2016:10./ 5p,230p

978-4-00-431623-7

本体 ¥820+税





### 炸裂志

閻 連科、泉 京鹿 著  
河出書房新社

作家・閻連科は、炸裂市の歴史、売春婦と盗賊の年代記を綴り始める。発禁にも関わらず問題作を世に問うノーベル賞候補作家の大作。

日本経済新聞 2016/12/11、毎日新聞 2016/12/11

2016:11./ 471p  
978-4-309-20721-6

本体 ¥3,600+税



### 最古の文字なのか? ~氷河期の洞窟に残された32の記号の謎を解く~

ジェネビーブ・ボン・ペッツインガー 著  
文藝春秋

ラスコーやアルタミラに描かれたのは動物の絵だけではなかった。欧州全体の洞窟に刻まれた32個の記号は人類初の文字だったのか? 自ら洞窟に潜って記号を採取したカナダ人女性科学者がその謎に挑む。

日本経済新聞 2016/12/11、毎日新聞 2016/12/18

2016:11./ 300p 図版  
12p

978-4-16-390559-4

本体 ¥1,650+税



### 懺悔録(岩波文庫 青 814-1)

コリヤード 著  
岩波書店

コリヤードはスペイン人宣教師。本書はその彼が日本人キリシタン宗徒の懺悔(告解)を記録した異色の書。当時の日常の日本語を伝える重要な資料であり、また信徒の生活や風俗習慣をうかがい知る上で貴重な文献である。

日本経済新聞 2016/12/18

1986:7./ 173p

978-4-00-338141-0

本体 ¥500+税



### 尼僧の告白~テラーゲーター~(岩波文庫 青 327-2)

中村元 著  
岩波書店

『仏弟子の告白』『尼僧の告白』とも、生活・信仰を記録したことに違いはない。だが、尼僧たちは「二本の指ほどわずかな智慧しかない」とさげすまれた女であった。

日本経済新聞 2016/12/18

1982:4./ 121p

978-4-00-333272-6

本体 ¥480+税



### EUは危機を乗り越えられるか~統合と分裂の相克~

岡部 直明、EU研究会 著  
NTT出版

英国のEU離脱後、分裂の危機を深めるEU。ユーロ危機、難民問題など様々な問題にどう対処していくのか。第二次大戦の反省を踏まえて出発したEUという壮大な統合の今後を予測するべく、EU問題のエキスパートが結集して徹底的に分析する。

日本経済新聞 2016/12/18

2016:10./ 369p

978-4-7571-2360-1

本体 ¥2,400+税



### グローバル化とショック波及の経済学~地方自治体・企業・個人の対応~

小川 光 編  
有斐閣

グローバル化の進展に伴って、経済危機や災害のショックが、国境を越えて波及する。ショック波及に対する自治体・企業・個人の行動変化と対応を事例分析を通じて明らかにし、日本の今後の望ましい政策を探る。

日本経済新聞 2016/12/18

2016:10./ 11p,216p

978-4-641-16485-7

本体 ¥2,600+税





### スタンフォードの心理学講義～人生がうまくいくシンプルなルール～

ケリー・マクゴニガル 著

日経BP社

完璧じゃなくてもいい、先延ばししてもいい…。「スタンフォードの自分を変える教室」の著者による、最新の科学的データに基づく“本当の自分”を引き出す 25 のレッスン。『日経ビジネスアソシエ』連載をもとに単行本化。

2016:10./ 319p

978-4-8222-3096-8

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2016/12/18



### モテる構造～男と女の社会学～(ちくま新書 1216)

山田 昌弘 著

筑摩書房

女は女らしく、男は男らしく。こんな価値観が生き残っているのはなぜか。3つの性別規範が、男女非対称に機能している社会構造を暴く。

2016:11./ 206p

978-4-480-06923-8

本体 ¥760+税



日本経済新聞 2016/12/18



### うたごえの戦後史

河西 秀哉 著

人文書院

戦時には動員の手段として、戦後には市民運動や社会闘争の現場で、民主と平和の理念を担い、響いていたうたごえ。おかあさんコーラス、合唱映画などを取り上げ、日本近代以降、特に敗戦から現在にいたる「合唱」の歴史を追う。

2016:10./ 202p

978-4-409-52064-2

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2016/12/18



### 新撰小倉百人一首(講談社文芸文庫 つ E8)

塚本 邦雄 著

講談社

藤原定家選「小倉百人一首」を「凡作百首」と斬り捨てた現代短歌界の鬼才が、選歌をもって自説の正しさを証明した、名アンソロジー。

2016:11./ 316p

978-4-06-290327-1

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2016/12/18



### 超予測力～不確実な時代の先を読む 10 カ条～

フィリップ・E.テトロック、ダン・ガードナー、土方 奈美 著

早川書房

「専門家の予測精度はチンパンジーのダーツ投げにも劣る」と看破した著者は、卓越した予測者を集めその力の源泉を探った。その結果見えてきた鉄壁の10カ条を明かす、行動経済学的研究の金字塔。

2016:10./ 405p

978-4-15-209644-9

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2016/12/18



### 世界経済危険な明日

モハメド・エリアン 著

日本経済新聞出版社

2008 年の世界的な金融危機以降、「最後の拠りどころ」となった中央銀行=金融政策にはもはや頼れない。世界経済が直面する新たな危機の実相を描き出し、成長か崩壊か、迫り来る決定的な「T 字路」に備える考え方を説く。

2016:10./ 411p

978-4-532-35715-3

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2016/12/18



**虚実(うそまこと)妖怪百物語<急>(KWA I BOOKS)**

京極 夏彦 著  
KADOKAWA

妖怪が出現して暫くすると、相互監視や娯楽施設の閉鎖がはじまり、日本中が殺伐とした空気に支配されていった。「怪」関係者の一部は政府によって捕らえられてしまう。妖怪関係者は奪還を試みるが.....。

日本経済新聞 2016/12/18

2016:11./ 480p

978-4-04-104781-1

本体 ¥1,400+税



**虚実(うそまこと)妖怪百物語<破>(KWA I BOOKS)**

京極 夏彦 著  
KADOKAWA

妖怪が出現し騒動が頻発すると、政府は妖怪を諸悪の根源と決めつけ、駆逐に乗り出す。妖怪専門誌『怪』関係者は、異常事態の原因究明のため、“呼ぶ子”を出現させる謎の石の研究を続けるが...。『怪』掲載をもとに書籍化。

日本経済新聞 2016/12/18

2016:10./ 480p

978-4-04-104778-1

本体 ¥1,400+税



**虚実(うそまこと)妖怪百物語<序>(KWA I BOOKS)**

京極 夏彦 著  
KADOKAWA

「目に見えないモノが、ニッポンから消えている！」妖怪専門誌『怪』のアルバイト榎木津平太郎は、水木しげる氏の叫びを聞いた。だが逆に日本中で妖怪が目撃され始め...。『怪』掲載をもとに書籍化。

日本経済新聞 2016/12/18

2016:10./ 422p

978-4-04-104776-7

本体 ¥1,400+税



**政治が危ない**

御厨 貴、芹川 洋一 著  
日本経済新聞出版社

安倍官邸に文句を言えない与党の事情、拒否権集団となり対案を出せない野党の現状、極端に振れる世論と政治家の質の低下...。現場をよく知る同窓の学者と記者が、歴史的な視点も踏まえつつ、政治が抱える課題について語り合う。

日本経済新聞 2016/12/18

2016:11./ 235p

978-4-532-17610-5

本体 ¥1,600+税



**中東の絶望、そのリアル～戦場記者が、現地に暮らした 20 年～**

リチャード・エンゲル、冷泉 彰彦 著  
朝日新聞出版

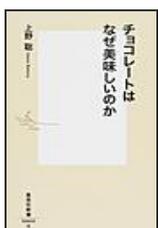
中東で 20 年暮らしたジャーナリストが、中東の複雑な歴史の概要を簡潔に解説。イラク戦争、アラブの春、シリア内戦の現場に身を置いた実体験から、各国の思惑と動向を辿り、IS 国誕生に至るプロセスの本質に迫る。

日本経済新聞 2016/12/18

2016:11./ 346p,7p,4p

978-4-02-251433-2

本体 ¥1,800+税



**チョコレートはなぜ美味しいのか(集英社新書 0860)**

上野 聡 著  
集英社

チョコレートやアイスクリームなど様々な食品の「食感」を微粒子の結晶構造から解析し、その理想形を追求する食品物理学。最先端をいく「美味しい」物理の世界を徹底解明する!

日本経済新聞 2016/12/18

2016:12./ 206p

978-4-08-720860-3

本体 ¥720+税





**毛沢東の対日戦犯裁判～中国共産党の思惑と1526名の日本人～(中公新書 2406)**

大澤 武司 著  
中央公論新社

満洲国や日中戦争に関与した1526名の日本人戦犯は、思想改造を経て、裁判では極めて寛大な判決が下される。その背後には何があったのか。新たに公開された史料から、毛沢東ら指導者が抱いた思想と戦略を明らかにする。

2016:11./ 5p,260p  
978-4-12-102406-0  
本体 ¥860+税



日本経済新聞 2016/12/18



**「子ども銀行」の社会史～学校と貯金の近現代～**

吉川 卓治 著  
世織書房

近代的な勤儉貯蓄の習慣を形成するために始まった「学校貯金」の成立にまでさかのぼり、戦後に誕生した「子ども銀行」のたどった歩みを、<教育の論理>と<金融経済の論理>の関係性という視点から明らかにする。

2016:11./ 7p,246p,4p  
978-4-902163-89-6  
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2016/12/18



**真理の探究～仏教と宇宙物理学の対話～(幻冬舎新書 お-13-3)**

佐々木 閑、大栗 博司 著  
幻冬舎

仏教と近代科学、両者が到達したのは「生きることに意味はない」という結論だった。そんな世界で人はどうしたら絶望せずに生きられるのか。なぜ物事を正しく見ることが必要なのか。当代一流の知性による白熱の対話。

2016:11./ 257p  
978-4-344-98439-4  
本体 ¥840+税



日本経済新聞 2016/12/18



**死の棘 改版(新潮文庫)**

島尾 敏雄 著  
新潮社

思いやりの深かった妻が、夫の〈情事〉のために突然神経に異常を来たした。狂気のとりことなって憑かれたように夫の過去をあばきたてる妻。ひたすら詫び、許しを求める夫。日常の平穏な刻は止まり、現実はずたずた散る。

2003:2./ 620p  
978-4-10-116403-8  
本体 ¥840+税



日本経済新聞 2016/12/25



**萬の翅～句集～(小熊座叢書 95 篇)**

高野 ムツオ 著  
KADOKAWA

あらたまの玉の中なる戦火かな 藤の花届かざるゆえ垂れるなり 初蝶やこの世は常に生まれたて 平成14年から24年春までの作品のうちから496句を収めた第5句集。

2013:11./ 203p  
978-4-04-652789-9  
本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2016/12/25



**新カラマーゾフの兄弟<下>**

亀山 郁夫 著  
河出書房新社

ドストエフスキー未完の傑作、ついに完結!父殺し、遺産と女、兄弟の葛藤、謎の<教団>…。犯人は誰か。カラマーゾフ家と黒木家を結ぶ謎とは。現代日本を舞台に描く、ノンストップ・ミステリー巨編。

2015:11./ 769p  
978-4-309-02423-3  
本体 ¥2,100+税



日本経済新聞 2016/12/25



### 新カラマーゾフの兄弟<上>

亀山 郁夫 著  
河出書房新社

ドストエフスキー未完の傑作、ついに完結! 父殺し、遺産と女、兄弟の葛藤、謎の<教団>…。犯人は誰か。カラマーゾフ家と黒木家を結ぶ謎とは。現代日本を舞台に描く、ノンストップ・ミステリー巨編。

日本経済新聞 2016/12/25

2015:11./ 664p

978-4-309-02422-6

本体 ¥1,900+税



\* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 4 2 2 6 \*



### 消滅世界

村田 沙耶香 著  
河出書房新社

「セックス」も「家族」も、世界から消える……日本の未来を予言と話題騒然!あの『殺人出産』を超える、今年度最大の衝撃作。

日本経済新聞 2016/12/25

2015:12./ 253p

978-4-309-02432-5

本体 ¥1,600+税



\* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 4 3 2 5 \*



### 一瞬の雲の切れ間に

砂田 麻美 著  
ポプラ社

ある偶然が引き起こした、痛ましい死亡事故。偶然の悲劇に翻弄される人間模様を、映画「エンディングノート」の監督が独自の視点から描き出した連作短編集。『asta\*』連載を加筆修正し単行本化。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:1./ 226p

978-4-591-14797-9

本体 ¥1,400+税



\* 9 7 8 4 5 9 1 1 4 7 9 7 9 \*



### ガラパゴス<下>

相場 英雄 著  
小学館

自殺に偽装して殺害された青年・仲野は、派遣労働者だった。田川は仲野殺害の実行犯を追いながら、大企業、人材派遣会社の欺瞞に切り込んでいく。ガラパゴス化した日本社会の矛盾を暴露する、危険極まりないミステリー。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:1./ 334p

978-4-09-386433-6

本体 ¥1,500+税



\* 9 7 8 4 0 9 3 8 6 4 3 3 6 \*



### ガラパゴス<上>

相場 英雄 著  
小学館

警視庁捜査一課継続捜査担当の田川信一は、身元不明のままとなっている死者のリストから殺人事件の痕跡を発見するが…。ガラパゴス化した日本社会の矛盾を暴露する、危険極まりないミステリー。

日本経済新聞 2016/12/25

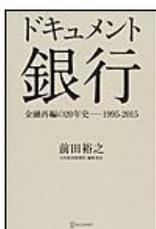
2016:1./ 270p

978-4-09-386432-9

本体 ¥1,400+税



\* 9 7 8 4 0 9 3 8 6 4 3 2 9 \*



### ドキュメント 銀行

前田 裕之 著  
ディスカヴァー・トゥエンティワン

どん底の時代に経営陣はいかに苦闘し、どう行動してきたのか。メガバンク誕生、長信銀の消滅、規制緩和の背景・功罪とは。銀行業の本質を、経済理論を紐解きながら解説し、銀行のあるべき姿を論じる。

日本経済新聞 2016/12/25

2015:12./ 471p

978-4-7993-1820-1

本体 ¥2,400+税



\* 9 7 8 4 7 9 9 3 1 8 2 0 1 \*



### ダグラス・ノース制度原論

ダグラス・C.ノース、瀧澤 弘和、中林 真幸、水野 孝之 著  
東洋経済新報社

『なぜ国家は衰退するのか』『劣化国家』など、現代世界を読み解くベストセラーの原点。制度論の大家による人類と経済の成長論。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:2./ 12p,286p,19p  
978-4-492-31474-6

本体 ¥3,800+税



\* 9 7 8 4 4 9 2 3 1 4 7 4 6 \*



### あるいは修羅の十億年

古川 日出男 著  
集英社

2026年の東京。心臓に原子炉を埋め込んだ、東京生まれの少女・谷崎ウラン。隔離された「森」からやってきた天才騎手・喜多村ヤソウ。二人が出会うとき、東京を揺るがす事態が巻き起こる。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:3./ 407p  
978-4-08-771657-3

本体 ¥2,200+税



\* 9 7 8 4 0 8 7 7 1 6 5 7 3 \*



### 天才

石原 慎太郎 著  
幻冬舎

幼少期のコンプレックス、政界入りのきっかけ、角福戦争の内幕、ロッキード事件の真相、田中派分裂の舞台裏、家族との軋轢…。戦後日本の基盤を作り上げながら、毀誉褒貶相半ばする田中角栄の汗と涙で彩られた生涯を描く。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:1./ 226p  
978-4-344-02877-7

本体 ¥1,400+税



\* 9 7 8 4 3 4 4 0 2 8 7 7 7 \*



### 蓮の数式

遠田 潤子 著  
中央公論新社

結婚して13年。一度も人間として認められなかった。不妊治療で婚家から孤立する女が出会ったのは、自らの生い立ちと算数障害に悩む男。愛を忘れた女と愛を知らない男の逃避行がはじまる。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:1./ 316p  
978-4-12-004811-1

本体 ¥1,700+税



\* 9 7 8 4 1 2 0 0 4 8 1 1 1 \*



### グローバライズ

木下 古栗 著  
河出書房新社

フリーク続出!端正な日本語、文学的技巧を尽くし、もはや崇高な程の下ネタや不条理、圧倒的無意味を描く孤高の天才、初の短篇集。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:3./ 201p  
978-4-309-02452-3

本体 ¥1,600+税



\* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 4 5 2 3 \*



### ジャズメン、ジャズを聴く～スイングジャーナル連載“アイ・ラヴ・ジャズ・テスト”傑作選～

小川 隆夫 著  
シンコーミュージック

ジャズ専門誌『スイングジャーナル』の人気企画だった“アイ・ラヴ・ジャズ・テスト”の中から42本を厳選して収録。来日ジャズ・ミュージシャンが他のプレイヤーの演奏を聴き、本音で論評。また自らのジャズについて語る。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:3./ 311p  
978-4-401-64266-3

本体 ¥2,000+税



\* 9 7 8 4 4 0 1 6 4 2 6 6 3 \*



**外道クライマー**

宮城 公博 著  
集英社インターナショナル

「最も野蛮で原始的な登山」と呼ばれる沢登り。那智の滝登攀による逮捕をきっかけに、日本や台湾、タイの未知の渓谷に挑む筆者と沢ヤたち。地球上に残された最後の秘境、ゴルジュに挑む壮絶なる冒険記。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:3./ 277p  
978-4-7976-7317-3  
本体 ¥1,600+税



**「不登校」は天才の卵～学校に行かない7つの選択肢～**

阿部 伸一 著  
宝島社

「行きたくても行けない」「急に学校へ行けなくなった」など、保護者が戸惑うことの多いケースの「不登校」を取り上げ、子どもへの対応や保護者がやるべきこと、学校以外の選択肢などを紹介する。全国の相談窓口リスト付き。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:2./ 191p  
978-4-8002-5221-0  
本体 ¥1,300+税



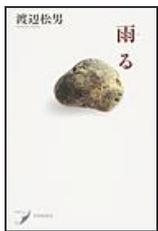
**大きな鳥にさらわれよう**

川上 弘美 著  
講談社

遙か遠い未来、滅亡の危機に瀕した人類は、小さな集団に分かれ、密やかに暮らしていた。生きながらえるために、ある祈りを胸に秘め。かすかな光を希求する人間の行く末を暗示した、新しい神話。『群像』掲載等を単行本化。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:4./ 340p  
978-4-06-219965-0  
本体 ¥1,500+税



**雨(ふる)～歌集～(現代歌人シリーズ 11)**

渡辺 松男 著  
書肆侃侃房

雪の明けに鈴のやうねといふきみよしいんとひびく木も家も鈴 病棟に孤独の落ちてみた朝はいちまの楓のやうに拾ひぬ 2002 年から 10 年余りの間に歌誌『かりん』に発表した歌から選んだ 457 首を収録する。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:3./ 173p  
978-4-86385-218-1  
本体 ¥2,100+税



**ジャッカ・ドフニ～海の記憶の物語～**

津島 佑子 著  
集英社

アイヌの母と和人の間に生まれ、幼くして孤児となったチカップ。16 世紀を舞台に、キリシタン一行と共に海を渡った女性の一生を描いた叙事小説。津島文学の集大成であり、最後の長編小説。遺作。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:5./ 459p  
978-4-08-771661-0  
本体 ¥2,500+税



**蒲公英(ダンデライオン)王朝記<巻ノ1> 諸王の誉れ(新☆ハヤカワ・SF・シリーズ 5026)**

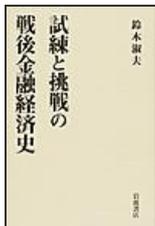
ケン・リュウ 著  
早川書房

少年がはじめて皇帝を目にしたその日から、運命は動き出した——権謀術数が渦巻く国家と政治に翻弄される人々を優しくも壮大な視線で描き出す、『紙の動物園』の著者が放つ一大武俠絵巻、開幕篇

日本経済新聞 2016/12/25

2016:4./ 376p  
978-4-15-335026-7  
本体 ¥1,700+税





### 試練と挑戦の戦後金融経済史

鈴木 淑夫 著

岩波書店

戦後の金融政策は試行錯誤の歴史であり、その軌跡は景気と家計に大きな影響をもたらしてきた。そして今、異次元の緩和とともに日本経済は未知の領域へと突入した。長く政策運営に携わった著者が来し方行く末を描く。

2016:5./ 12p,239p

978-4-00-061137-4

本体 ¥2,900+税



日本経済新聞 2016/12/25



### 失業なき雇用流動化～成長への新たな労働市場改革～

山田 久 著

慶應義塾大学出版会

働く人々が職場や会社を安心して移動できるようになれば、経済に活力が生まれる。高い賃金保証に軸足を置いた新たな雇用のあり方や、労使政の連携による就労・再就職支援システムなど、「成長につながる」方策を提言する。

2016:5./ 10p,268p

978-4-7664-2345-7

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2016/12/25



### サービス立国論～成熟経済を活性化するフロンティア～

森川 正之 著

日本経済新聞出版社

サービス経済化の実態を、豊富なデータと分析に基づいて明らかにし、日本経済を再び成長軌道に乗せるための政策を提言。サービス産業に焦点を当てた、日本を代表する官庁エコノミストによる日本経済論。

2016:4./ 362p

978-4-532-35692-7

本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2016/12/25



### まだ空はじゅうぶん明るいのに～詩集～

伊藤 悠子 著

思潮社

雨がしずかに降っている 七年が過ぎて公園が遠くなったことを その雨のように知る 遠い知らない公園にも雨が降っているだろう(「雨が降っている」より) 静謐の抒情詩集。

2016:4./ 93p

978-4-7837-3516-8

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2016/12/25



### 寒林

高柳 克弘 著

ふらんす堂

耳つかみはこぶ兎や山桜 耳あかく聖歌うたへる少女かな 盃蘭盆や足洗ふ水ゆたかなる 地球より月の親しや芒原 2009年春から2015年冬までの308句をまとめた第2句集。

2016:5./ 173p

978-4-7814-0860-6

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2016/12/25



### 珠玉の短編

山田 詠美 著

講談社

凄惨でおどろおどろしい作風で知られた女性作家が、自分の最新作に「珠玉の短編」という惹目を付けられたことに激しい苛立ちを覚え…。表題作をはじめ全11編を収録。『群像』他掲載を単行本化。

2016:6./ 253p

978-4-06-220124-7

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2016/12/25



**ビビビ・ビ・バップ**

奥泉 光 著

講談社

芥川賞作家によるエンタテインメント近未来小説!AI 技術による人間観の変容を通奏低音に、壮大なスケールで軽やかに語る!

日本経済新聞 2016/12/25

2016:6./ 661p

978-4-06-220062-2

本体 ¥2,600+税



**BB/PP**

松浦 寿輝 著

講談社

人工知能を持つ最上級の美しい女“ヒト型擬體”を手に入れた現代の青髭公を描く表題作をはじめ、またいとこの姉妹と過ごした 12 歳の夏の夜のひとときを回想する「石蹴り」など全 9 篇を収録。『群像』他掲載を単行本化。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:6./ 252p

978-4-06-220031-8

本体 ¥1,700+税



**無縫の海(短歌日記 2015)**

高野 公彦 著

ふらんす堂

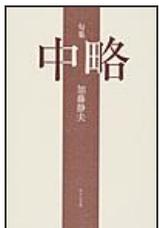
歌を詠むのも酒を飲むのも楽しいが、良き人と付き合うのもまた楽しい。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:5./ 382p

978-4-7814-0872-9

本体 ¥2,000+税



**中略〜句集〜**

加藤 静夫 著

ふらんす堂

病弱が売りの男や杉の花 蛇衣を脱ぐ痛くない放射能 運を天に任せし国やすいつちよん 作品全 385 句を東日本大震災を境に「以前篇」142 句、「以後篇」243 句に分け、それぞれ四季別に並べて収録した第 2 句集。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:5./ 142p

978-4-7814-0863-7

本体 ¥2,000+税



**永遠でないほうの火(新鋭短歌 25)**

井上 法子 著

書肆侃侃房

もうずっとあかるいままのになげんのとおくて淡い無二のふるさと どんなにか疲れただらうたましいを支えつづけてその観覧車 消えてゆくはずの予感に守られて砂糖菓子から美がやってくる 今を詠う歌人・井上法子の歌集。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:6./ 141p

978-4-86385-223-5

本体 ¥1,700+税



**フリー!**

岡部 えつ 著

双葉社

37 歳、広告会社のデザイナー、千春。仕事も恋も、状況はほぼ最悪。だけど、私には立ち上がる力がある。誰のせいにもしない、それが私のフリー!自立を目指す女性への応援歌。WEB マガジン『カラフル』連載を単行本化。

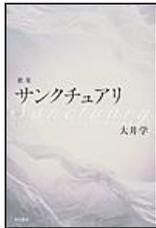
日本経済新聞 2016/12/25

2016:5./ 250p

978-4-575-23965-2

本体 ¥1,400+税





**サンクチュアリ～歌集～(新かりん百番 No.86)**

大井 学 著

KADOKAWA

馬場あき子に師事して 19 年。満を持して放たれる第一歌集。気鋭の論者として、短歌史家としての確かな歩みを進める著者が見つめ、歌うものとは。帯文馬場あき子、葉永田和宏、穂村弘、辻聡之。

2016:6./ 197p

978-4-04-876367-7

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2016/12/25



**美しい距離**

山崎 ナオコーラ 著

文藝春秋

死へと向かっていく妻に照射される夫のまなざし 40 歳代の妻は癌に冒され死へと向かって歩む。生命保険会社勤務の夫は愛する妻へと柔らかな視線を投げかける。人生考察の清々しさ。

2016:7./ 165p

978-4-16-390481-8

本体 ¥1,350+税



日本経済新聞 2016/12/25



**小説 君の名は。(角川文庫 し 57-3)**

新海 誠 著

KADOKAWA

田舎町に暮らす女子高校生・三葉は、自分が男の子になる夢を見る。一方、東京で暮らす男子高校生・瀧も自分が女子高校生になる夢を見る。2 人は夢の中で入れ替わっていることに気づくが…。2016 年 8 月公開映画の原作小説。

2016:6./ 262p

978-4-04-102622-9

本体 ¥560+税



日本経済新聞 2016/12/25



**23000(氷三部作 3)**

ウラジーミル・ソローキン 著

河出書房新社

「原初の光」を目指す教団は、二万三千の金髪碧眼の仲間を捜索する。20 世紀初頭ツングース隕石に始まる驚異の三部作、完結。

2016:7./ 288p

978-4-309-20712-4

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2016/12/25



**ブラバン甲子園大研究～高校野球を 100 倍楽しむ～**

梅津 有希子 著

文藝春秋

甲子園のアルプススタンドで日本一熱い夏を闘う吹奏楽部員たち。高校野球のブラバン応援はいつ始まった? 応援の基本ルールとは? ブラバン甲子園の謎を大解剖。有名校オリジナル応援秘話、有名校ブラバン顧問対談等も収録。

2016:7./ 212p

978-4-16-390485-6

本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2016/12/25



**金融政策の「誤解」～“壮大な実験”の成果と限界～**

早川 英男 著

慶應義塾大学出版会

日銀は何ができて、何ができないのか。緩和一辺倒の政策手段から、いかに脱却するか。日銀きっての論客といわれた著者が、日銀を退職後、ついに沈黙を破って持論を展開。金融政策など、日本経済に関する多くの「誤解」を正す。

2016:7./ 8p,288p

978-4-7664-2356-3

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2016/12/25



### 長谷川伸の戯曲世界～沓掛時次郎・臉の母・暗闇の丑松～

鳥居 明雄 著  
ぺりかん社

巨匠・長谷川伸の股旅物戯曲に見る神話的空間。『沓掛時次郎』『臉の母』『暗闇の丑松』の三篇を詳解。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:7./ 346p

978-4-8315-1442-4

本体 ¥3,500+税



\* 9 7 8 4 8 3 1 5 1 4 4 2 4 \*



### ベルリン詩篇

富岡 悦子 著  
思潮社

壊れたままのベルリンに導かれて 私たちは 安堵していた 銃痕をさらしたコンクリートの壁面 廃墟のままのポツダム広場 ゆっくり動く少年は 薄いコーヒーを手渡した(「ベルリン十二月」より) 詩集。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:7./ 113p

978-4-7837-3525-0

本体 ¥2,400+税



\* 9 7 8 4 7 8 3 7 3 5 2 5 0 \*



### 異端者

勝目 梓 著  
文藝春秋

情欲、悔恨、恥辱。夜ふけの静かな波音だけが、不思議な深い慰めと安らぎをもたらしてくれる…。戦後日本を生き抜いた男の、人には明かせない記憶の数々。官能文学の第一人者として長く君臨した作家による長編小説。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:8./ 289p

978-4-16-390507-5

本体 ¥1,700+税



\* 9 7 8 4 1 6 3 9 0 5 0 7 5 \*



### 逆行経済学の逆襲

リチャード・セイラー 著  
早川書房

人間は合理的。市場は正しい。こうした経済学の大前提に真っ向から挑んだ行動経済学。その第一人者が、自らの研究者人生を振り返りつつ、“異端の学問”が広く支持されるようになった過程を描く。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:7./ 527p

978-4-15-209625-8

本体 ¥2,800+税



\* 9 7 8 4 1 5 2 0 9 6 2 5 8 \*



### 卓球アンソロジー

田辺 武夫 著  
近代文藝社

日本人最初のピンポン・プレイヤーは夏目漱石だった!?卓球文学に分け入り、温泉卓球からオリンピックまで、卓球文化の魅力満載。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:8./ 445p

978-4-7733-8012-5

本体 ¥1,500+税



\* 9 7 8 4 7 7 3 3 8 0 1 2 5 \*



### 思ってます～池田澄子句集～

池田 澄子 著  
ふらんす堂

ミモザ咲き雀にしては尾の長し ペんぺんぐさ待たされていて恋のよう 秋の蚊のさやかに脚を垂らし来る 2011年から2015年半ば辺りまでの作を纏めた第6句集。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:7./ 204p

978-4-7814-0883-5

本体 ¥2,500+税



\* 9 7 8 4 7 8 1 4 0 8 8 3 5 \*



### コンビニ人間

村田 沙耶香 著  
文藝春秋

36 歳未婚女性、古倉恵子。大学卒業後も就職せず、コンビニのバイトは 18 年目。これまで彼氏なし。ある日、婚活目的の新入り男性、白羽がやってきて、そんなコンビニの生き方は恥ずかしいと突きつけられるが...

日本経済新聞 2016/12/25

2016:7./ 151p

978-4-16-390618-8

本体 ¥1,300+税



### 鳥の見しもの〜歌集〜

吉川 宏志 著  
本阿弥書店

原発をなおも信じる人の目に我は砂男のごとく映らむ 枝々のつぼみの赤をすべて消し桜はしろく満ちてゆくかも 空襲の無かりし京都ゆえ残りたる紅葉の絵に橋ひとつ架かる 2012 年?2015 年の 433 首を収録。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:8./ 189p

978-4-7768-1251-7

本体 ¥2,700+税



### 壁抜けの谷

山下 澄人 著  
中央公論新社

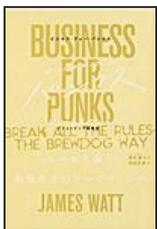
死んだ友だち。誰とでも寝る母。あいまいな記憶。はじまりも、終わりもない、ぼくとわたしと死者の“パレード”。存在することの根本を問いかける著者渾身の長篇小説。『アンデル 小さな文芸誌』連載を加筆、修正し単行本化。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:8./ 195p

978-4-12-004875-3

本体 ¥1,600+税



### ビジネス・フォー・パンクス〜ルールを破り熱狂を生むマーケティング〜

ジェームズ・ワット 著  
日経BP社

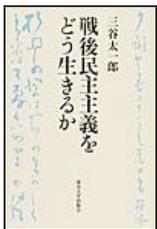
2007 年に 300 万円で始めたクラフトビールの会社「ブリュードッグ」が、8 年足らずで売上 70 億円を超える急成長を遂げた。熱狂的なファンを世界中でどうやって獲得したのか? 創業者が奇跡のマーケティングを語る。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:9./ 390p

978-4-8222-5170-3

本体 ¥1,900+税



### 戦後民主主義をどう生きるか

三谷 太一郎 著  
東京大学出版会

「戦後民主主義」とは何か。戦後 70 年を経てあらためて「戦後」の意味を問い、現代史の深みから日本の民主主義における個人の生き方について考える。好評既刊『学問は現実に関わるか』、『人は時代といかに向き合うか』の姉妹編。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:9./ 5p,262p

978-4-13-003339-8

本体 ¥2,800+税





**慢性デフレ真因の解明(シリーズ現代経済研究)**

渡辺 努 編

阿部 修人 著

日本経済新聞出版社

慢性デフレの特徴を整理した上で、企業と家計の行動をマイクロ・マクロのデータでとらえ、そのメカニズムを解明する。論文誌『Asian Economic Policy Review』掲載論文をもとに書籍化。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:9./ 8p,227p

978-4-532-13466-2

本体 ¥3,900+税



**羽羽〜はは、掃き清める大きなつばさ〜**

正木 ゆう子 著

春秋社

夏炉かな火があればみな火を見つめ 母包む花も氷も見知らぬ香 あふちの実ならむおそろくあふちの実 平成 21 年から 27 年までの発表句から約 300 句を収めた第 5 句集。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:9./ 217p

978-4-393-43447-5

本体 ¥2,000+税



**精霊の箱〜チューリングマシンをめぐる冒険〜<下>(ARCHIMAGE GARRET'S APPRENTICESHIP 2)**

川添 愛 著

東京大学出版会

錬金術、偽呪文、土人形の討伐、巨大織機の破壊…。新米魔術師ガレットに次々と襲いくる苦難と試練。「計算」と「コンピュータ」の基礎を冒険物語の形式で解き明かす、「白と黒のとびら」の続編。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:10./ 298p

978-4-13-063364-2

本体 ¥2,600+税



**精霊の箱〜チューリングマシンをめぐる冒険〜<上>(ARCHIMAGE GARRET'S APPRENTICESHIP 2)**

川添 愛 著

東京大学出版会

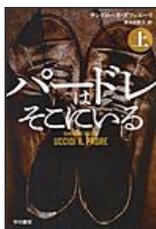
新米魔術師になって数か月、ガレットの前にはさらなる波乱万丈の運命が待ち受けていた。「チューリングマシン」をテーマに、言語理論に基づく壮大な世界観を冒険物語の形式で描ききった、「白と黒のとびら」の続編。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:10./ 304p

978-4-13-063363-5

本体 ¥2,600+税



**パードレはそこにいる<上>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM440-1)**

サンドローネ・ダツィエーリ 著

早川書房

強面の女性警察官と閉所恐怖症の男性コンサルタントが衝突しながら連続誘拐犯を追う！

日本経済新聞 2016/12/25

2016:9./ 389p

978-4-15-182201-8

本体 ¥920+税



**パードレはそこにいる<下>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM440-2)**

サンドローネ・ダツィエーリ 著

早川書房

ローマで起きた児童失踪事件には、幼い自分を誘拐し 11 年間監禁した犯人“パードレ”がいる-そう考えるダンテを信じるコロンバ。しかし、警察はふたりに疑いの眼を向ける。孤立無援のふたりは独自に過去の事件を洗い直し…。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:9./ 367p

978-4-15-182202-5

本体 ¥920+税





### 十年～高橋睦郎句集～

高橋 睦郎 著  
KADOKAWA

自由詩、定型詩、小説などあらゆるジャンルを横断する詩人による、新しい叙情の可能性を切り拓く第9句集。10年間の集大成となる609句は、浩瀚な古典の世界を基調に日本語の豊かさ、深さを重層的に味わえる。

日本経済新聞 2016/12/25

2016.9./ 221p  
978-4-04-876400-1

本体 ¥2,700+税



### 文明開化がやって来た～チョビ助とめぐる明治新聞挿絵～

林 丈二 著  
柏書房

明治時代の新聞挿絵という時代投影器を駆使して、日本人の基ともいべき人たちの姿と生活を紹介。維新後、日本人の生活に入ってきた「西洋」を自然に、あるいは不自然に取り込んできた様子がわかる。

日本経済新聞 2016/12/25

2016.10./ 243p,4p  
978-4-7601-4740-3

本体 ¥1,800+税



### 人の道、死ぬと町～歌集～

斉藤 斎藤 著  
短歌研究社

白昼堂々サンタが町にやって来てもうふたり来て拾うタクシー さよならはあおぞらに取って代わられて今日のわたしは人よりも鳩 2004年から2015年までの作品を収めた第2歌集。

日本経済新聞 2016/12/25

2016.9./ 363p  
978-4-86272-499-1

本体 ¥3,000+税



### 馬上～小島ゆかり歌集～(コスモス叢書 第1106篇)

小島 ゆかり 著  
現代短歌社

サーファーのかがやくからだ暗みたりふいに大きく鳶ひるがへり もみぢする木々に痛みはあるものか耳寒き指寒きあかつき 2013年夏から2015年夏までの519首を収めた第13歌集。

日本経済新聞 2016/12/25

2016.8./ 212p  
978-4-86534-164-5

本体 ¥2,315+税



### ひょうすべの国～植民人喰い条約～

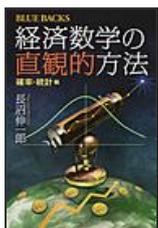
笠野 頼子 著  
河出書房新社

ひょうすべに支配され、暴力と抑圧が加速する世界で、詩歌は生き延びることができるのか……腐敗した現代社会に亀裂を穿つ傑作!

日本経済新聞 2016/12/25

2016.11./ 274p  
978-4-309-02520-9

本体 ¥2,000+税



### 経済数学の直観的方法<確率・統計編>(ブルーバックス B-1985)

長沼 伸一郎 著  
講談社

難解なイメージの現代の経済学は、理系と文系の狭間を突くアプローチで、直観的な理解の道が拓ける。確率・統計編は、「ブラック・ショールズ理論」を初級編・中級編・上級編に分けて解説する。

日本経済新聞 2016/12/25

2016.11./ 294p  
978-4-06-257985-8

本体 ¥1,160+税





**沈黙法廷**

佐々木 譲 著  
新潮社

複数の不審死が発生。捜査線上に家事代行業の女性が浮上する。舞台は裁判員裁判の場へ。無罪を主張する被告は、証言台で突然口を閉ざし…。有罪に代えても守るべき何が彼女にあるのか? 『北海道新聞』ほか連載を加筆修正。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:11./ 557p

978-4-10-455511-6

本体 ¥2,100+税



**一夜劇〜句集〜**

中原 道夫 著  
ふらんす堂

初反故を入れ屑籠の眠りに就く 無患子のぬばたまをこそ衝きたけれ 船上生活羨しや船底の冷えさへも 2013?2015 年の 512 句をまとめた第 12 句集。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:10./ 269p

978-4-7814-0914-6

本体 ¥3,500+税



**空閑風景**

齋藤 恵美子 著  
思潮社

部屋と世界が、触れあえぬまま重なるときの、余剰部分/そこで、外皮から朽ちるとして/最後に、わたくしに、何がひかるか(「孤影」)。言葉のまなざしに現れる、もっとも遠い一点まで。空洞を鳴らす黙音のふるえ、詩23篇。カバー写真=ひさの

日本経済新聞 2016/12/25

2016:11./ 102p

978-4-7837-3534-2

本体 ¥2,400+税



**未知への逸脱のために**

伊藤 浩子 著  
思潮社

やがておとずれる一切を予感し くるかみは償いはじめる まっすぐな瞳をおおった 傾いだ道しるべを あるいは姉たちの饒舌な 乳房さえをも(「日々の痕跡」より) 詩と散文のあわいで無限に枝分かれし続ける 20 篇を収録。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:11./ 161p

978-4-7837-3546-5

本体 ¥2,800+税



**片翅〜句集〜(小熊座叢書 第102篇)**

高野 ムツオ 著  
邑書林

声もなく集まり永久に花を待つ 冬林檎夜は冥府へ香を放つ 宇宙には隅などあらず寒の鯉 星祭地下水脈の上に立つ 平成 24 年春から 28 年春までの 395 句を収めた第 6 句集。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:10./ 150p

978-4-89709-822-7

本体 ¥2,200+税



**わたしの日付変更線**

ジェフリー・アングルス 著  
思潮社

言語の迷路は暗くて長いから 文法と友好条約を結ぶことにする 文法はわたしよりずっと背が高い 力を合わせたらいいだろう(「文法のいない朝」より) 2 つの言語を行き来するアメリカ人詩人による日本語詩集。

日本経済新聞 2016/12/25

2016:12./ 145p

978-4-7837-3540-3

本体 ¥2,200+税





### ヒーローの選択

行成 薫 著  
講談社

清水は宅配水の訪問営業中に旧友・小山田と再会。予言者・ケンジのラップは、清水が小山田の部屋に来ることを予言していた。ケンジに会って話を聞いてくれば、水の契約をすると小山田は言い...

2016:11./ 287p

978-4-06-220333-3

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2016/12/03



### 「茶の湯」の密室(ミステリー・リーグ)

愛川 晶 著  
原書房

事件はすべて「落語の中」でオチをつけます——。死んだはずの猫が現れる「密室」、猫殺しで破門された元落語家の復権をかけた三題噺。凝りに凝った濃密な「本格落語推理」が、どちらの「通」も、うならせます！

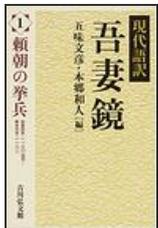
2016:11./ 333p

978-4-562-05355-1

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/12/03



### 現代語訳吾妻鏡<1> 頼朝の拳兵

五味 文彦、本郷 和人 編  
吉川弘文館

治承4年(1180)以仁王の平家追討令旨に応じ東国各地に源氏が蜂起する。老武者三浦義明の討死、黄瀬川宿での頼朝・義経の初めての対面等、数々のエピソードに彩られた、鎌倉武家政権の誕生を活写する。

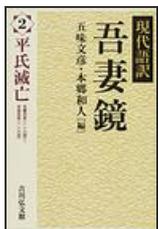
2007:10./ 284p

978-4-642-02708-3

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2016/12/04



### 現代語訳吾妻鏡<2> 平氏滅亡

五味文彦、本郷和人 編  
吉川弘文館

解き放たれた東国武士団は瞬く間に京都に殺到し、木曾義仲を撃破。鎌倉軍と平氏との全面衝突となる。多くの人々の運命を翻弄しながら、内乱は壇ノ浦での平氏滅亡を迎える。一躍ヒーローとなった義経だったが...

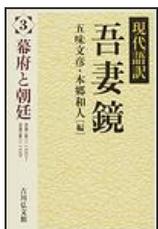
2008:2./ 272p

978-4-642-02709-0

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2016/12/04



### 現代語訳吾妻鏡<3> 幕府と朝廷

五味 文彦、本郷 和人 編  
吉川弘文館

頼朝の尽力で閑院内裏が再建され、重源の手で東大寺の再建も始まる。一方、頼朝に追われる源行家は摂津で討たれるが、義経は逃亡を続け、藤原秀衡を頼って奥州に赴くが...

2008:4./ 256p

978-4-642-02710-6

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2016/12/04



### 現代語訳吾妻鏡<4> 奥州合戦

五味 文彦、本郷 和人 編  
吉川弘文館

秀衡亡き後、奥州藤原氏の家督を継いだ泰衡は、鎌倉からの圧力に耐えかね、とうとう義経を自害に追い込む。だがそれでも泰衡を許さなかった頼朝は、追討の宣旨を待たずに自ら大軍を率いて奥州に向かい進発する。

2008:8./ 240p

978-4-642-02711-3

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2016/12/04



**現代語訳吾妻鏡<5> 征夷大將軍**

五味 文彦、本郷 和人 編  
吉川弘文館

奥州藤原氏討滅ののち、頼朝はついに後白河法皇と対面、右近衛大将・権大納言を経て征夷大將軍となる。有力御家人佐々木氏と延暦寺の対立の一方、内乱による「数万之怨霊」を供養する永福寺も完成し、新時代が到来する。

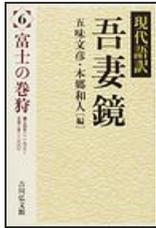
2009:1./ 320p

978-4-642-02712-0

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2016/12/04



**現代語訳吾妻鏡<6> 富士の巻狩**

本郷 和人、五味 文彦 編  
吉川弘文館

富士の巻狩の場で突発した曾我兄弟の仇討ち。そして頼朝の急死で重石を失った幕府は、若き鎌倉殿頼家の失政と有力御家人間の対立の激化により、混沌の時代に突入した。梶原景時が御家人らの糾弾により失脚し、滅び去る。

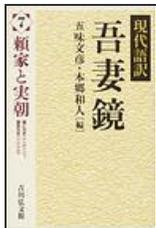
2009:6./ 284p

978-4-642-02713-7

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2016/12/04



**現代語訳吾妻鏡<7> 頼家と実朝**

五味 文彦、本郷 和人 編  
吉川弘文館

将軍になった頼家は、病気を機に実権を奪われ、程なく没する。かわって実朝が将軍になるが、今度は平賀朝雅将軍擁立計画が露見、関与した北条時政は出家し伊豆に隠居。時政の子義時が幕政を主導、侍所別当の地位を手中にし…。

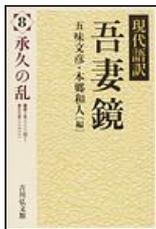
2009:10./ 324p

978-4-642-02714-4

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2016/12/04



**現代語訳吾妻鏡<8> 承久の乱**

五味 文彦、本郷 和人 編  
吉川弘文館

将軍実朝の暗殺で、京と鎌倉は緊張状態へ。幕府討伐を目論む後鳥羽上皇の院宣に対し、幕府軍は大挙上洛、朝廷軍と対決する。将軍実朝の迷走と、その殺害から承久の乱までを描く。

2010:3./ 300p

978-4-642-02715-1

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2016/12/04



**現代語訳吾妻鏡<9> 執権政治**

五味 文彦、本郷 和人、西田 友広 編  
吉川弘文館

承久の乱を乗り越えた幕府では、北条泰時が執権に就任する。北条義時・政子、大江広元ら幕府草創以来の人々が相ついで没するなか、摂関家出身の藤原頼経が将軍に就任し、幕府政治は新たな段階へと移行してゆく。

2010:10./ 288p

978-4-642-02716-8

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2016/12/04

**蘭学事始 改版(岩波文庫 青 20-1)**杉田玄白、緒方富雄 著  
岩波書店

福沢諭吉は友人とともに繰り返し『蘭学事始』を読んだが、『ターヘル・アナトミア』の原書を前にした玄白たちが「艦舵なき船の大海に乗り出だせしが如く」ただただ呆然とするばかりだったとある条に至るや、常に感涙し無言に終わったという。

1959:3./ 196p

978-4-00-330201-9

本体 ¥600+税



毎日新聞 2016/12/04

**ヨーロッパぶらりぶらり(ちくま文庫)**山下清 著  
筑摩書房

“裸の大将”の目に写ったヨーロッパとは。美しい細密画と訥々とした文章で綴るほのぼのの紀行。

1994:9./ 252p

978-4-480-02904-1

本体 ¥600+税



毎日新聞 2016/12/04

**折たく柴の記(岩波文庫 黄 212-1)**新井 白石、松村 明 著  
岩波書店

6代家宣、7代家継の2代にわたって幕府の中樞で活躍した江戸中期の儒学者・政治家新井白石(1657-1725)の自叙伝。

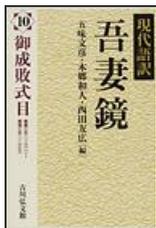
1999:12./ 476p

978-4-00-302121-7

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2016/12/04

**現代語訳吾妻鏡<10> 御成敗式目**五味 文彦、本郷 和人、西田 友広 編  
吉川弘文館

日本最初の武家法典「関東御成敗式目」が制定され、評定衆による合議制も確立。天災に、幕府運営に、奮闘努力する北条泰時のもと、花開く執権政治。そして、次代をになう若者たちが元服を迎える。

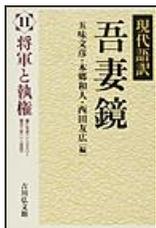
2011:4./ 28p,252p

978-4-642-02717-5

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2016/12/04

**現代語訳吾妻鏡<11> 將軍と執権**五味文彦、本郷和人、西田 友広 編  
吉川弘文館

將軍頼経は檢非違使別当に任命。隠岐では後鳥羽上皇が没する。執権北条泰時の没後、孫経時が後を嗣ぎ、頼経の子頼嗣を新將軍とした。

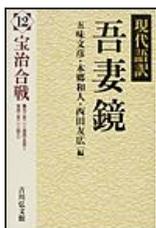
2012:2./ 336p

978-4-642-02718-2

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2016/12/04

**現代語訳吾妻鏡<12> 宝治合戦**五味 文彦、本郷 和人、西田 友広 編  
吉川弘文館

執権に就任した北条時頼は、反時頼派の前將軍藤原頼経を京都に送還する。そして、北条氏・安達氏と三浦氏との間に宝治合戦が勃発した。合戦後、幕府草創からの功臣である三浦氏は滅亡し、北条氏の専制体制が確立する。

2012:11./ 22p,222p

978-4-642-02719-9

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2016/12/04



**パリ散歩画帖(朝日文庫 や 32-1)**

山本 容子 著  
朝日新聞出版

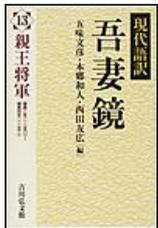
フランスパンの袋、カフェのメニュー、メロの切符…。銅版画家の著者が、小路を散歩しながら見つけたパリの日常をコラージュ。「自分だけの旅ノート」の作り方を伝授する。切り取り式のポストカード付き。

毎日新聞 2016/12/04

2013:3./ 161p

978-4-02-261754-5

本体 ¥1,000+税



**現代語訳吾妻鏡<13> 親王將軍**

五味 文彦、本郷 和人、西田 友広 編  
吉川弘文館

執権北条時頼に嫡子時宗が誕生する。摂家將軍藤原頼嗣の追放と、後嵯峨上皇皇子宗尊親王の関東下向と將軍就任が断行され、幕府の体制のみならず、朝幕関係も新たな段階へと移行してゆく。

毎日新聞 2016/12/04

2013:6./ 20p,239p

978-4-642-02720-5

本体 ¥2,800+税



**現代語訳吾妻鏡<14> 得宗時頼**

五味 文彦、本郷 和人、西田 友広 編  
吉川弘文館

連署極楽寺重時の出家に続き、病に倒れた執権北条時頼は出家を決意。重時の子長時に執権職を譲る。回復した時頼は僧形で執政を開始。得宗専制政治への第一歩であった。やがて時宗が元服。幕府は静かに転換点を迎える。

毎日新聞 2016/12/04

2014:3./ 18p,214p

978-4-642-02721-2

本体 ¥2,800+税



**太平記<1>(岩波文庫 黄版 143-1)**

岩波書店

鎌倉幕府の滅亡に始まる南北朝の動乱、北条一族の終焉、室町幕府の成立…。数十年にわたって列島を揺るがした巨大な戦乱を記す「太平記」。その古態を伝える「西源院本」に校注を加える。1は第178巻を収録。

毎日新聞 2016/12/04

2014:4./ 488p

978-4-00-301431-8

本体 ¥1,140+税



**地球の細道**

安西 水丸 著

エーディーエー・エディタ・トーキョー

江ノ島でイルカを見て、鳥取で民藝に魅せられ、ハンザ同盟の中心地を歩き、モンゴルで草原をわたる風にふかれ…。芭蕉は日本、水丸は世界の「ほそみち」を辿る。稀代のマルチ作家が遺した92の旅風景。折り込み地図つき。

毎日新聞 2016/12/04

2014:8./ 379p

978-4-87140-687-1

本体 ¥2,200+税



**太平記<2>(岩波文庫 30-143-2)**

兵藤 裕己 著

岩波書店

鎌倉幕府の滅亡に始まる南北朝の動乱、北条一族の終焉、室町幕府の成立…。数十年にわたって列島を揺るがした巨大な戦乱を記す「太平記」。その古態を伝える「西源院本」に校注を加える。2は第9715巻を収録。

毎日新聞 2016/12/04

2014:10./ 566p

978-4-00-301432-5

本体 ¥1,380+税





**徒然草～現代語訳付き～ 新版(角川ソフィア文庫 A311-1)**

兼好法師 著  
KADOKAWA

日本人にもっとも親しまれてきた随筆「徒然草」。人生・恋愛・政道など、243 段の話題がしばしば連想的な配列で並ぶ。近年劇的に進んだ中世の歴史学の研究成果を取り込み、本文、注釈、現代語訳のすべてを刷新した新版。

2015:3./ 475p

978-4-04-400118-6

本体 ¥1,080+税



毎日新聞 2016/12/04



**現代語訳吾妻鏡<15> 飢饉と新制**

五味 文彦、本郷 和人、西田 友広 編  
吉川弘文館

将軍宗尊親王の上洛準備が進められる。隠居した北条時頼だが、依然政治にも関与し、将軍もしばしば最明寺邸を訪れた。諸国で暴風等の被害が大きく、将軍上洛は延期。弘長新制と呼ばれる政治改革の幕府法令も出される。

2015:4./ 19p,233p

978-4-642-02722-9

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2016/12/04



**太平記<3>(岩波文庫 30-143-3)**

兵藤 裕己 著  
岩波書店

鎌倉幕府の滅亡に始まる南北朝の動乱、北条一族の終焉、室町幕府の成立…。数十年にわたって列島を揺るがした巨大な戦乱を記す「太平記」。その古態を伝える「西源院本」に校注を加える。3 は第 16?21 巻を収録。

2015:4./ 520p

978-4-00-301433-2

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2016/12/04



**太平記<4>(岩波文庫 黄版 143-4)**

岩波書店

鎌倉幕府の滅亡に始まる南北朝の動乱、北条一族の終焉、室町幕府の成立…。数十年にわたって列島を揺るがした巨大な戦乱を記す「太平記」。その古態を伝える「西源院本」に校注を加える。4 は第 23?29 巻を収録。

2015:10./ 517p

978-4-00-301434-9

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2016/12/04



**現代語訳吾妻鏡<16> 将軍追放**

五味 文彦、本郷 和人、西田 友広 編  
吉川弘文館

弘長 3 年(1263)、北条時頼が没し、嫡男時宗が連署となる。文永 3 年(1266)、時宗・北条政村・金沢実時らは将軍宗尊親王側近の陰謀について密議し、親王は京に送られる。親王入洛の記事を以て全巻の筆を止める。

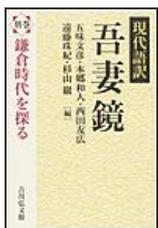
2015:11./ 18p,151p

978-4-642-02723-6

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2016/12/04



**現代語訳吾妻鏡<別巻> 鎌倉時代を探る**

五味 文彦、本郷 和人、西田 友広、遠藤 珠紀、杉山 巖 編  
吉川弘文館

「吾妻鏡」の特徴、諸本と伝来、描かれた時代の概略などを記し、「吾妻鏡」から広がる鎌倉時代の政治と法、社会と文化などの多様な問題を平易に解説する。「吾妻鏡」と鎌倉時代への理解がいつそう深まる最終巻。

2016:3./ 7p,242p

978-4-642-02724-3

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2016/12/04



**太平記<5>(岩波文庫 30-143-5)**

兵藤 裕己 著  
岩波書店

鎌倉幕府の滅亡に始まる南北朝の動乱、北条一族の終焉、室町幕府の成立...。数十年にわたって列島を揺るがした巨大な戦乱を記す「太平記」。その古態を伝える「西源院本」に校注を加える。5 は第 30?36 巻を収録。

毎日新聞 2016/12/04

2016:4./ 532p  
978-4-00-301435-6

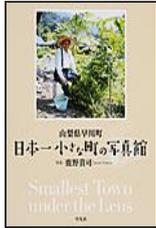
本体 ¥1,320+税



2016:9./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-582-27826-2

本体 ¥3,800+税



**山梨県早川町日本一小さな町の写真館**

鹿野 貴司 著  
平凡社

南アルプス山麓の人口 1100 人あまりの日本最少人口の町・早川町。美しい自然に囲まれた町の魅力を余すことなく紹介する写真集。

毎日新聞 2016/12/04



**東日本大震災農業復興はどこまで進んだか～被災地と JA が歩んだ 5 年間～**

農林中金総合研究所 著  
家の光協会

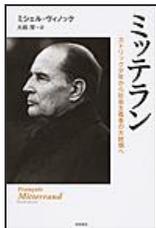
東日本大震災からの農業と農村の復興の歩みについての、農林中金総合研究所の 5 年間にわたる現地調査の記録をまとめたもの。JA が果たしてきた役割も含め、岩手・宮城・福島 3 県の農業復興の現時点までの状況と課題を示す。

毎日新聞 2016/12/04

2016:9./ 223p

978-4-259-52188-2

本体 ¥1,800+税



**ミッテラン～カトリック少年から社会主義者の大統領へ～**

ミシェル・ヴィノック、大嶋 厚 著  
吉田書店

社会党出身のフランス大統領、フランソワ・ミッテラン。ド・ゴールとの対決、左翼の再建と政権交代、欧州統合...。フランス現代史に深い刻印を残した政治家の生涯を、一級の歴史家が描く。

毎日新聞 2016/12/04

2016:8./ 499p 図版 16p

978-4-905497-43-1

本体 ¥3,900+税



**太平記<6>(岩波文庫 黄版 143-6)**

岩波書店

鎌倉幕府の滅亡に始まる南北朝の動乱、北条一族の終焉、室町幕府の成立...。数十年にわたって列島を揺るがした巨大な戦乱を記す「太平記」。その古態を伝える「西源院本」に校注を加える。6 は第 37?40 巻を収録。

毎日新聞 2016/12/04

2016:10./ 291p,95p

978-4-00-301436-3

本体 ¥1,010+税



**カラー版音楽で楽しむ名画～フェルメールからシャガールまで～(平凡社新書 830)**

加藤 浩子 著  
平凡社

フェルメール、ゴッホ.....。彼らはみな「音楽」を描いていた。かつてない視点で捉える音楽と絵画の幸せな関係。図版多数収録。

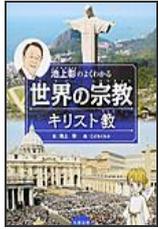
毎日新聞 2016/12/04

2016:11./ 214p

978-4-582-85830-3

本体 ¥980+税





### 池上彰のよくわかる世界の宗教<キリスト教>

池上 彰、こどもくらぶ 編

池上 彰 著

丸善出版

キリスト教はどこでどのようにして生まれた? どうやって世界中に広まっていった? 数ある宗教のなかから「キリスト教」を取り上げて解説。キリスト教をめぐる争いと歴史についても紹介します。

2016:11./ 47p

978-4-621-30087-9

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2016/12/04



### 池上彰のよくわかる世界の宗教<イスラム教>

池上 彰、こどもくらぶ 編

池上 彰 著

丸善出版

イスラム教はどのようにしてできて、どのように広まった? 神の言葉を伝える「コーラン」とは? 数ある宗教のなかから「イスラム教」を取り上げて解説。中東問題についても紹介します。

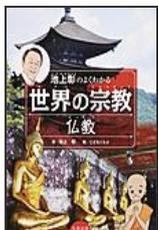
2016:11./ 47p

978-4-621-30088-6

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2016/12/04



### 池上彰のよくわかる世界の宗教<仏教>

池上 彰、こどもくらぶ 編

池上 彰 著

丸善出版

仏教はどこでどのようにして生まれた? はじめに人々に仏教を説いた「お釈迦様」とはどんな人物だった? 数ある宗教のなかから「仏教」を取り上げて解説。ヒンドゥー教や、日本古来の神道についても紹介します。

2016:11./ 47p

978-4-621-30089-3

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2016/12/04



### 池上彰のよくわかる世界の宗教<アメリカの宗教>

池上 彰、こどもくらぶ 編

池上 彰 著

丸善出版

世界中から人々に移り住んでいるアメリカ合衆国では、国民が信じる宗教は実に様々です。アメリカ人とキリスト教の関係や、キリスト教以外の宗教、アメリカとユダヤ教など、アメリカの宗教について解説します。

2016:11./ 47p

978-4-621-30090-9

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2016/12/04



### 松田さんの181日

平岡 陽明 著

文藝春秋

余命わずかな役者の松田さんと遊び歩く脚本家の私。驚きの過去を知った時——オール讀物新人賞受賞作ほか、泣かされて暖まる五篇。

2016:11./ 293p

978-4-16-390555-6

本体 ¥1,620+税



毎日新聞 2016/12/04



**天界の眼～切れ者キューゲルの冒険～(ジャック・ヴァンス・トレジャリー)**

ジャック・ヴァンス 著

国書刊行会

北の地に飛ばされたキューゲルは、憎き魔術師に復讐することができるのか? 行く先々で大騒動を巻き起こす、自称切れ者キューゲルの奇想天外・荒唐無稽なる大冒険を描く、サイエンス・ファンタジーの連作全7篇を収録。

2016:11./ 324p

978-4-336-05921-5

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2016/12/04



**木佐木日記<上> 『中央公論』と吉野・谷崎・芥川の時代**

木佐木 勝 著

中央公論新社

若き『中央公論』編集者が見た大正デモクラシー期の文壇・論壇。そして有島武郎と心とした美人記者・波多野秋子の実像。雑誌ジャーナリズムの貴重な史料を創業130年記念で復刊。

2016:11./ 478p

978-4-12-004903-3

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2016/12/04



**木佐木日記<下> 名物編集長・滝田樗陰と関東大震災**

木佐木 勝 著

中央公論新社

若き『中央公論』編集者が見た未曾有の災害と激変する社会情勢。長らく「幻」とされてきたが、四十余年ぶりの復刊にあたって発見された「日記原本」を収録。(解題)横山尊

2016:11./ 486p

978-4-12-004904-0

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2016/12/04



**信じる者はダマされる～うさぎとマツコの人生相談～**

中村 うさぎ、マツコ・デラックス 著

毎日新聞出版

「ママ友が生理的に合わない」「老け顔になっていく自分が嫌」「子どもが勉強しない」うさぎとマツコが本音と毒舌で悩める子羊たちにとっておきのサバイバル術を授けます。『サンデー毎日』連載に加筆し書籍化。

2016:12./ 235p

978-4-620-32423-4

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2016/12/04



**竹山道雄セレクション<1> 昭和の精神史**

平川 祐弘 編

竹山 道雄 著

藤原書店

今こそ求められる真の自由主義者の珠玉のセレクション、発刊!名著『ビルマの堅琴』の著者を貫いていた思想とは?戦前のナチズム・軍国主義から戦後の共産主義独裁まで、左右問わず狂信的思想・政治を鋭く批判し続けた真のリベラリストの論考を精選!

2016:10./ 568p

978-4-86578-094-9

本体 ¥4,800+税



毎日新聞 2016/12/04、読売新聞 2016/12/25



### 漢語と日本人

鈴木修次 著  
みすず書房

日常における漢語使用を具体的にとりあげ、その意味と機能を明らかにした、ユニークな「ことばの文化論」。豊富な実例によって展開される本書は、日本語を考える人々に貴重な示唆を与えてくれる。

1995:1./ 288p

978-4-622-01175-0

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2016/12/11



### 漢字の社会史～東洋文明を支えた文字の三千年～(読みなおす日本史)

阿辻 哲次 著  
吉川弘文館

中国語を表記する文字でありながら、今日まで日本人の言語生活・文字文化に絶大な影響を与え続ける漢字。漢字への人間の関わりを軸に、成立から現在までの漢字の歴史を、豊富なエピソードを交えながら解説する。

2013:1./ 234p

978-4-642-06389-0

本体 ¥2,100+税



毎日新聞 2016/12/11



### 方言漢字(角川選書 520)

笹原 宏之 著  
角川学芸出版

漢字は日本全国共通と思っていたら大間違い!

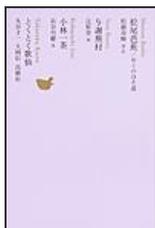
2013:2./ 253p

978-4-04-703520-1

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/12/11



### 日本文学全集<12> 松尾芭蕉/おくのほそ道

丸谷 才一、大岡 信、高橋 治 著  
河出書房新社

芭蕉、蕪村、一茶の発句を、それぞれ松浦寿輝、辻原登、長谷川権が精選し評釈を付す。ほかに、「おくのほそ道」(新訳)、「とくとく歌仙」(丸谷才一他)など。俳句入門に最適の一冊。

2016:6./ 548p

978-4-309-72882-7

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2016/12/11



### 崩壊国家と国際安全保障～ソマリアにみる新たな国家像の誕生～

遠藤 貢 著  
有斐閣

氏族、軍閥、海賊、ビジネスマンなど、さまざまな主体が割拠するソマリア。中央政府が存在しない状況下で、どのように秩序が保たれているのか。国内と国外の両面から、崩壊国家ソマリアを総合的に分析する。

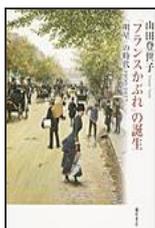
2015:11./ 10p,283p

978-4-641-14913-7

本体 ¥4,100+税



毎日新聞 2016/12/11



### 「フランスかぶれ」の誕生～「明星」の時代 1900-1927～

山田 登世子 著  
藤原書店

文語から口語へと日本の文学が移りゆくなか、フランスから脈々と注ぎこまれた都市的詩情とは何だったのか。その媒体となった雑誌『明星』や作家などを通じて、「フランス憧憬」が生んだ日本近代文学の系譜を描く。

2015:10./ 271p

978-4-86578-047-5

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2016/12/11



**ユーロ危機とギリシャ反乱(岩波新書 新赤版 1586)**

田中 素香 著  
岩波書店

2010年のギリシャ危機から今日まで続くユーロ圏の危機の経過、危機の原因、制度改革、そして危機克服の方法について説明。国として「独り勝ち」といわれたドイツと、危機の続くギリシャに特に注目する。

2016:1/ 8p,248p,8p

978-4-00-431586-5

本体 ¥820+税



毎日新聞 2016/12/11



**米ソ核軍縮交渉と日本外交～INF問題と西側の結束 1981-1987～**

瀬川 高央 著  
北海道大学出版会

1980年代の米ソ INF(中距離核戦力)削減交渉をめぐる日本の外交・安全保障上の利益と主張に注目し、西側結束を基盤にした日米の対ソ政策が中距離核ミサイル SS-20 の全廃に結実するまでの政治過程を再構成する。

2016:2/ 8p,504p,6p

978-4-8329-6818-9

本体 ¥7,500+税



毎日新聞 2016/12/11



**アディクションと加害者臨床～封印された感情と閉ざされた関係～**

藤岡 淳子 著  
金剛出版

恐れと不安と孤独からアディクション/犯罪加害に救いを求めた当事者たちの回復と償いと変化の可能性を探る臨床ケースレポート。

2016:1/ 235p

978-4-7724-1467-8

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2016/12/11



**軽薄**

金原 ひとみ 著  
新潮社

裕福な年上の夫と結婚した 29 歳のカナは、満たされた日々を送っていた。だが、未成年の甥から烈しい思いを寄せられ…。空虚への抗いと、その果てにある一筋の希望を描く長篇小説。『新潮』掲載を単行本化。

2016:2/ 238p

978-4-10-304534-2

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2016/12/11



**オープンダイアログ**

ヤーコ・セイックラ、トム・エーリック・アーンキル 著  
日本評論社

フィンランド発、急性期精神病に 24 時間以内に介入し、対話中心で治療する実例とシステムを紹介した初の基本的テキストの決定版!

2016:3/ 14p,231p

978-4-535-98421-9

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2016/12/11



**8号室～コムナルカ住民図鑑～**

ゲオルギイ・コヴェンチューク、片山 ふえ 著  
群像社

ソ連時代の都会暮らしを象徴する共同アパート=コムナルカ。仕事も世代も異なる人々の生活が否応なく見えてしまう空間で日々繰り広げられる奇妙でほろ苦い人間模様を、生き生きと言葉でスケッチしていく画家のエッセイ集。

2016:3/ 109p

978-4-903619-63-7

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2016/12/11



### 食べる私

平松 洋子 著  
文藝春秋

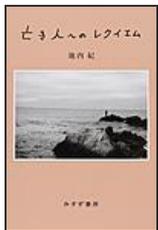
食を語れば、人間の核心が見えてくる。デーブ・スペクター、林家正蔵、土井善晴、堀江貴文、高橋尚子、樹木希林など各界の著名人 29 人との「食」をめぐる対話を収録。『オール讀物』掲載を書籍化。

毎日新聞 2016/12/11

2016:4./ 379p

978-4-16-390445-0

本体 ¥1,750+税



### 亡き人へのレクイエム

池内 紀 著  
みすず書房

年経るにつれあの世に友達が多くなる。出会いの形はそれぞれ、でもずっと大切な人を語る 27 編。長編エッセイ「死について」を付す。

毎日新聞 2016/12/11

2016:4./ 260p,4p

978-4-622-07975-0

本体 ¥3,000+税



### 核に魅入られた国家〜知られざる拡散の実態〜

会川 晴之 著  
毎日新聞出版

現在の北朝鮮を支える核開発技術は、どこで生まれ、北朝鮮に渡ったのか? 丹念な現地取材を基に、「北朝鮮核実験」につながる各国の核開発史を明らかにする。『毎日新聞』連載「核回廊を歩く」に加筆・修正を施して単行本化。

毎日新聞 2016/12/11

2016:3./ 253p

978-4-620-32376-3

本体 ¥1,650+税



### 素晴らしいアメリカ野球(新潮文庫 む-6-4)

フィリップ・ロス 著  
新潮社

審判を殺そうとした監督、アル中の一塁手...。架空の球団の珍道中を描きつつ、アメリカの夢と神話を痛快に笑い飛ばした米文学屈指の問題作が復刊。詳細な注釈、井上ひさしの解説、村上春樹×柴田元幸の解説セッションも収録。

毎日新聞 2016/12/11

2016:5./ 697p

978-4-10-220041-4

本体 ¥990+税



### 憲法改正とは何か〜アメリカ改憲史から考える〜(新潮選書)

阿川 尚之 著  
新潮社

「改憲」しても変わらない、「護憲」しても変わってしまう。27 回の正式な改正と、多くの実質的改憲を経てきたアメリカ合衆国憲法の歴史から、立憲主義の意外な側面が見えてくる。日本人の硬直した憲法観を解きほぐす。

毎日新聞 2016/12/11

2016:5./ 316p

978-4-10-603787-0

本体 ¥1,400+税



### 老生

賈 平凹、吉田 富夫 著  
中央公論新社

百数十年の生々流転を凝視した弔い師が唱うのは、中国現代史への哀切な引導歌。40 年代の国共内戦期、共産党政権による土地改革、文化大革命、経済成長期を背景にした 4 つの物語で構成される長編小説。

毎日新聞 2016/12/11

2016:4./ 520p

978-4-12-004848-7

本体 ¥3,700+税



**日本会議の正体(平凡社新書 818)**青木 理 著  
平凡社

安倍政権とも密接な関係を持ち、憲法改正などを掲げて運動を展開する草の根保守ネットワーク「日本会議」。そのルーツと成り立ち、活動の現状、今後の方向性を余すところなく描く。

2016:7./ 263p

978-4-582-85818-1

本体 ¥800+税



毎日新聞 2016/12/11

**戦後日本外交～軌跡と課題～(岩波現代全書 089)**栗山 尚一 著  
岩波書店

いかにして「戦後レジーム」は構築されたのか。40年間、外務省の中枢を歩んできた著者が、戦後外交の歩みを評価し、今後の針路を示した遺著。日米同盟・尖閣問題・憲法九条論という、日本外交最大の課題についても提言する。

2016:6./ 12p,271p

978-4-00-029189-7

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2016/12/11

**ヨーロッパ・コーリング～地べたからのポリティカル・レポート～**ブレイディみかこ 著  
岩波書店

社会保障の削減や貧困の拡大など、日本と同じ問題に直面する欧州で、新たな求心力を持った左派が支持を集めている。在英20年のライターが熱い思いとクールな筆致で綴る政治時評。『Yahoo!ニュース』掲載等を単行本化。

2016:6./ 9p,289p

978-4-00-002399-3

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/12/11

**鏡のなかのボードレール(境界の文学)**くぼた のぞみ 著  
共和国/editorial republica

詩人ボードレールと、その褐色の恋人ジャンヌ。「ジャンヌ・デュヴァル詩篇」からクツツエーの小説「恥辱」までをたどり、クレオール文化の諸相を透視する。アンジェラ・カーターの短篇「ブラック・ヴィーナス」も収録。

2016:6./ 209p

978-4-907986-20-9

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2016/12/11

**人を信じられない病～信頼障害としてのアディクション～**小林 桜児 著  
日本評論社

依存症を意志の弱さや脳の病気としてきた従来の考え方を離れ、人間関係の病と理解し、回復への道を説く、依存症臨床の新知識!

2016:7./ 220p

978-4-535-98437-0

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2016/12/11

**我が愛する詩人の伝記(講談社文芸文庫 む A9)**室生 犀星 著  
講談社

島崎藤村、高村光太郎、山村暮鳥、北原白秋、萩原朔太郎、千家元麿、堀辰雄...。室生犀星が、親交のあった詩人の生身の姿とその芸術家の魂を優しく照射する。

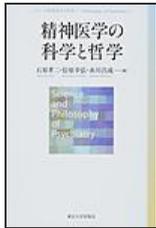
2016:8./ 277p

978-4-06-290318-9

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2016/12/11

**精神医学の科学と哲学(シリーズ精神医学の哲学 1)**石原 孝二、信原 幸弘、糸川 昌成 編  
東京大学出版会

人びとは精神障害にどう向き合ってきたのかーその哲学的な基礎を探究するシリーズ。

毎日新聞 2016/12/11

2016:8./ 7p,219p,8p  
978-4-13-014181-9

本体 ¥4,800+税

**精神医学の歴史と人類学(シリーズ精神医学の哲学 2)**鈴木 晃仁、北中 淳子 編  
東京大学出版会

精神疾患が注目される近現代、精神医学と社会の関係は変わりつづけている。第1部では、表象、専門職、宗教、メディアという観点から精神医学の歴史を問いなおす。第2部では、人類学の視点から精神医学の実践を捉えなおす。

毎日新聞 2016/12/11

2016:9./ 7p,248p,8p  
978-4-13-014182-6

本体 ¥4,800+税

**精神医学と当事者(シリーズ精神医学の哲学 3)**石原 孝二、河野 哲也、向谷地 生良 編  
東京大学出版会

リカバリー思想の展開、地域精神科医療の様々なアプローチ、当事者研究。これらが精神医学の変革にどのように寄与しうるのかを、現代社会と精神医学の関係を見据えながら検討する。シリーズ完結。

毎日新聞 2016/12/11

2016:11./ 8p,251p,7p  
978-4-13-014183-3

本体 ¥4,800+税

**クー・クラックス・クラン～白人至上主義結社 KKK の正体～(平凡社新書 827)**浜本 隆三 著  
平凡社

白人至上主義を唱え、アメリカ南北戦争後に誕生した秘密結社クー・クラックス・クラン。その盛衰の背景とメカニズムを考察する。

毎日新聞 2016/12/11

2016:10./ 223p  
978-4-582-85827-3

本体 ¥800+税

**人材覚醒経済**鶴 光太郎 著  
日本経済新聞出版社

一億総活躍、同一労働同一賃金、性格スキル…。働き方だけで日本は変わる! 成長のアキレス腱となった無限定正社員システム。その問題点を解決できるのはジョブ型正社員だけ。実力派経済学者が労働改革の具体策を提示する。

毎日新聞 2016/12/11

2016:9./ 311p  
978-4-532-35702-3

本体 ¥2,800+税

**熊と踊れ<上>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM439-1)**アンデシュ・ルーслンド、ステファン・トゥンベリ 著  
早川書房

軍倉庫から銃を盗み出した青年レオは、弟たちとともに、恐るべき連続銀行襲撃を計画する。果たして彼らを待ち受けるものとは……

毎日新聞 2016/12/11

2016:9./ 561p  
978-4-15-182151-6

本体 ¥1,000+税





**熊と踊れ<下>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM439-2)**

アンデシュ・ルーслンド、ステファン・トゥンベリ 著

早川書房

緻密かつ大胆な犯行で警察を翻弄し、次々と銀行を襲うレオたち。その暴力の扱い方は少年時代に父から学んだものだった。かつて彼らに何がおこったのか。そして今、父は何を思うのか。実際の事件をモデルにした北欧ミステリ。

2016:9./ 570p

978-4-15-182152-3

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2016/12/11



**脂肪の塊/ロンドリ姉妹～モーパッサン傑作選～(光文社古典新訳文庫 KA モ 2-2)**

モーパッサン 著

光文社

人間のもつ醜いエゴイズム、好色さを痛烈に描いた「脂肪の塊」、イタリア旅行で出会った娘との思い出を綴った「ロンドリ姉妹」など、モーパッサンの初期作品からヴァラエティに富む中・短篇全 10 作を収録。

2016:9./ 334p

978-4-334-75339-9

本体 ¥920+税



毎日新聞 2016/12/11



**シベリア出兵～近代日本の忘れられた七年戦争～(中公新書 2393)**

麻田 雅文 著

中央公論新社

ロシア革命後、反革命軍救出を名目にロシアへ派兵した日本は、バイカル湖畔まで占領。だが、パルチザンや赤軍に敗退、虐殺にも遭遇し…。増派と撤兵に揺れる内政、酷寒の地での 7 年間にわたる戦争の全貌を描く。

2016:9./ 6p,266p

978-4-12-102393-3

本体 ¥860+税



毎日新聞 2016/12/11



**梅もどき**

諸田 玲子 著

KADOKAWA

関ヶ原の戦いで徳川勢力に敗北した父を持ち、のちに家康の側室となり、寵臣・本多正純に下賜されたお梅の方。数奇な運命に翻弄されながらも、しなやかに生きぬいた実在の女性の人生を描く。『公明新聞』連載を単行本化。

2016:10./ 377p

978-4-04-103475-0

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2016/12/11



**森のきのこ、きのこの森**

新井 文彦、白水 貴 著

玄光社

北海道・阿寒の原生林、あるいは東北地方の白神山地のブナ原生林で、著者が出会ったきのこたちの姿を、そのきのこたちが生きている素晴らしい環境を含めて紹介する。きのこガイド付き。

2016:10./ 141p

978-4-7683-0781-6

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2016/12/11



**応仁の乱～戦国時代を生んだ大乱～(中公新書 2401)**

呉座 勇一 著

中央公論新社

室町後期、諸大名が東西両軍に分かれ、京都市街を主戦場として戦った応仁の乱。なぜ勃発し、どう終結に至ったか。長期化した理由とは。高い知名度とは対照的に、実態は十分知られていない日本史上屈指の大乱を読み解く。

2016:10./ 8p,302p

978-4-12-102401-5

本体 ¥900+税



毎日新聞 2016/12/11



### 分節幻想～動物のボディプランの起源をめぐる科学思想史～

倉谷 滋 著  
工作舎

脊椎動物とは何か? 頭とは何か? 90年代に誕生した「進化発生学」の観点から、脊椎動物の頭部分節をめぐる学者の探求を辿り、動物形態の起源と進化、自然への眼差しの変遷に迫る。

2016:11./ 861p

978-4-87502-478-1

本体 ¥9,000+税



毎日新聞 2016/12/11



### 「この世界の片隅に」劇場アニメ絵コンテ集

「この世界の片隅に」製作委員会 著

双葉社

昭和20年、広島・呉。わたしはここで生きている。2016年11月公開の劇場用長編アニメーション「この世界の片隅に」の絵コンテ集。「映画の設計図」である絵コンテを、片渕須直監督の解説付きで収録。

2016:11./ 699p

978-4-575-31187-7

本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2016/12/11



### サイコパス(文春新書 1094)

中野 信子 著

文藝春秋

とんでもない犯罪を平然と遂行する、ウソがバレても、むしろ自分が被害者であるかのようにふるまう…。そんなサイコパスの脳の謎が脳科学の急速な進歩で明らかになってきた。脳と人類の進化に隠されたミステリーに迫る。

2016:11./ 232p

978-4-16-661094-5

本体 ¥780+税



毎日新聞 2016/12/11



### 経済学私小説<定常>の中の豊かさ

齊藤 誠 著

日経BP社

<夜がけつて訪れることのない黄昏>の豊穡さとは、<失われた20年>と<15年デフレ>という迷妄を「実証」で吹き飛ばす。経済学と小説の<新結合>による渾身の日本経済論。

2016:1./ 461p

978-4-8222-5102-4

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2016/12/11、朝日新聞 2016/12/25



### 時間かせぎの資本主義～いつまで危機を先送りできるか～

ヴォルフガング・シュトレーク、鈴木 直 著

みすず書房

いま世界は銀行危機、国家債務危機、実体経済危機という三重の危機の渦中にある。貨幣のマジックで危機を押さえ込む「時間かせぎ」はどこまで可能か。欧米で大きな反響を呼んだ、現代資本主義論。

2016:2./ 317p

978-4-622-07926-2

本体 ¥4,200+税



毎日新聞 2016/12/11、朝日新聞 2016/12/25



### 戦争まで～歴史を決めた交渉と日本の失敗～

加藤 陽子 著

朝日出版社

かつて日本は、世界から「どちらを選ぶか」と3度、問われた。より良き道を選べなかったのはなぜか。「歴史を選ぶ」際の作法を、戦争までの歴史を決めた3つの交渉から考える。連続講義に加筆、再構成。

2016:8./ 466p

978-4-255-00940-7

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2016/12/11、毎日新聞 2016/12/18



**愛は一如～富安風生句集～(ふらんす堂文庫)**

鈴木 貞雄 編  
富安 風生 著  
ふらんす堂

よるこべばしきりに落つる木の実かな あはあはと富士容あり炎天下 秋晴の運動会をしてみるよ 遠い遠い愛しい記憶貝割菜 富安風生の代表作を網羅し、精選 390 句を収録する。鈴木貞雄の解説、季語別初句索引も掲載。

2016:10./ 94p  
978-4-7814-0920-7  
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2016/12/13



**ホフマン短篇集(岩波文庫 赤 414-2)**

エルンスト・テオドール・アマデーウス・著  
岩波書店

平穏な日常の秩序をふみはずして我知らず夢想の世界へふみこんでゆく主人公たち。幻想作家ホフマンは、現実と非現実をめまぐるしく交錯させながら、人間精神の暗部を映し出す不気味な鏡を読者につきつける。

1984:9./ 324p  
978-4-00-324142-4  
本体 ¥780+税



毎日新聞 2016/12/18



**チャイコフスキーわが愛**

バランシン、ヴォルコフ 著  
新書館

一杯の水が彼の命を奪った?まるでロシアン・ルーレットのように…。二十世紀の天才芸術家バランシンが推理する誰も知らなかった作曲家の真実。チャイコフスキー没後 100 年記念。

1993:12./ 270p  
978-4-403-23037-0  
本体 ¥1,748+税



毎日新聞 2016/12/18



**井筒俊彦全集<第1巻> アラビア哲学**

井筒 俊彦 著  
慶應義塾大学出版会

存在と言語をめぐる、広大無辺な思想コスモス。井筒俊彦のすべての日本語著作を執筆年月日または発表年月日の順に収めた全集。第1巻は 1935 年から 1948 年の時期に発表された最初期の著作を収録。

2013:9./ 494p,32p  
978-4-7664-2071-5  
本体 ¥6,000+税



毎日新聞 2016/12/18



**井筒俊彦全集<第2巻> 神秘哲学**

井筒 俊彦 著  
慶應義塾大学出版会

存在と言語をめぐる、広大無辺な思想コスモス。井筒俊彦のすべての日本語著作を執筆年月日または発表年月日の順に収めた全集。第2巻は 1949 年から 1951 年の時期に発表された著作を収録。

2013:10./ 621p,27p  
978-4-7664-2072-2  
本体 ¥6,800+税



毎日新聞 2016/12/18



**井筒俊彦全集<第3巻> ロシア的人間**

井筒 俊彦 著  
慶應義塾大学出版会

存在と言語をめぐる、広大無辺な思想コスモス。井筒俊彦のすべての日本語著作を執筆年月日または発表年月日の順に収めた全集。第3巻は 1951 年から 1953 年の時期に発表された著作を収録。

2014:1./ 575p,20p  
978-4-7664-2073-9  
本体 ¥6,800+税



毎日新聞 2016/12/18



**井筒俊彦全集<第4巻> イスラーム思想史**

井筒 俊彦 著  
慶應義塾大学出版会

存在と言語をめぐる、広大無辺な思想コスモス。井筒俊彦のすべての日本語著作を執筆年月日または発表年月日の順に収めた全集。第4巻は1954年から1975年の時期に発表された著作を収録。

2014:3./ 580p,38p  
978-4-7664-2074-6  
本体 ¥6,800+税



毎日新聞 2016/12/18



**井筒俊彦全集<第5巻> 存在顕現の形而上学**

井筒 俊彦 著  
慶應義塾大学出版会

イランから帰国し、長年に亘る海外での思索が日本語著作として結実する著作群(1978年-1980年)を、発表年月日順に収録。

2014:5./ 599p,31p  
978-4-7664-2075-3  
本体 ¥6,800+税



毎日新聞 2016/12/18



**井筒俊彦全集<第6巻> 意識と本質**

井筒 俊彦 著  
慶應義塾大学出版会

存在と言語をめぐる、広大無辺な思想コスモス。井筒俊彦のすべての日本語著作を執筆年月日または発表年月日の順に収めた全集。第6巻は1980年から1981年にかけて発表された著作を収録。

2014:7./ 479p,23p  
978-4-7664-2076-0  
本体 ¥6,000+税



毎日新聞 2016/12/18



**井筒俊彦全集<第7巻> イスラーム文化**

井筒 俊彦 著  
慶應義塾大学出版会

存在と言語をめぐる、広大無辺な思想コスモス。井筒俊彦のすべての日本語著作を執筆年月日または発表年月日の順に収めた全集。第7巻は1981年から1983年にかけて発表された著作を収録。

2014:9./ 664p,31p  
978-4-7664-2077-7  
本体 ¥7,800+税



毎日新聞 2016/12/18



**井筒俊彦全集<第8巻> 意味の深みへ**

井筒 俊彦 著  
慶應義塾大学出版会

存在と言語をめぐる、広大無辺な思想コスモス。井筒俊彦のすべての日本語著作を執筆年月日または発表年月日の順に収めた全集。第8巻は1983年から1985年にかけて発表された著作を収録。

2014:12./ 536p,30p  
978-4-7664-2078-4  
本体 ¥6,000+税



毎日新聞 2016/12/18



**井筒俊彦全集<第9巻> コスモスとアンチコスモス**

井筒 俊彦 著  
慶應義塾大学出版会

存在と言語をめぐる、広大無辺な思想コスモス。井筒俊彦のすべての日本語著作を執筆年月日または発表年月日の順に収めた全集。第9巻は1985年から1989年にかけて発表された著作を収録。講演音声 CD 付き。

2015:2./ 451p,29p  
978-4-7664-2079-1  
本体 ¥7,000+税



毎日新聞 2016/12/18



くるみ割り人形とねずみの王さま/ブランビラ王女(光文社古典新訳文庫 KA ホ3-3)

ホフマン 著

光文社

珠玉のメールヘン「くるみ割り人形とねずみの王さま」、役者ジューリオとお針子ジアチンタの恋が大騒動を巻き起こす「ブランビラ王女」。奔放な想像力が炸裂するホフマン円熟期の傑作2篇を収録。

2015:4./ 470p

978-4-334-75309-2

本体 ¥1,260+税



毎日新聞 2016/12/18



井筒俊彦全集<第10巻> 意識の形而上学

井筒 俊彦 著

慶應義塾大学出版会

存在と言語をめぐる、廣大無辺な思想コスモス。井筒俊彦のすべての日本語著作を執筆年月日または発表年月日の順に収めた全集。第10巻は1987年から1993年にかけて発表された著作を収録。

2015:5./ 664p,29p

978-4-7664-2080-7

本体 ¥7,800+税



毎日新聞 2016/12/18



投資は「きれいごと」で成功する〜「あたたかい金融」で日本一をとった鎌倉投信の非常識な投資のルール〜

新井 和宏 著

ダイヤモンド社

赤字、非上場でも長期投資。数兆円を運用する外資系金融の職を辞し、社会性と経済性を両立する金融ベンチャー「鎌倉投信」を立ち上げた稀代のファンドマネージャーが、ありえない運用を支える手法と哲学のすべてを明かす。

2015:4./ 219p

978-4-478-06485-6

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2016/12/18



井筒俊彦全集<第11巻> 意味の構造

井筒 俊彦 著

慶應義塾大学出版会

存在と言語をめぐる、廣大無辺な思想コスモス。井筒俊彦のすべての日本語著作を執筆年月日または発表年月日の順に収めた全集。第11巻は1992年の著作を収録。

2015:7./ 415p,30p

978-4-7664-2081-4

本体 ¥5,800+税



毎日新聞 2016/12/18



鬼神の如く〜黒田叛臣伝〜

葉室 麟 著

新潮社

諸藩取り潰しの機会を窺う幕府に、すすんで主君の不忠を訴え出た黒田家家老の真意は?まことの忠義とは何かを問う骨太の歴史長篇。

2015:8./ 311p

978-4-10-328013-2

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2016/12/18



童謡の近代〜メディアの変容と子ども文化〜(岩波現代全書 076)

周東 美材 著

岩波書店

近代日本で子どもはいかに文化の担い手となったのか。「童謡」を大衆文化へと発展させた北原白秋、鈴木三重吉らの活動を追い、歌声文化の魅力と変容を、雑誌『赤い鳥』とその周辺のメディア産業に探る。

2015:10./ 8p,277p

978-4-00-029176-7

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2016/12/18



### キャロル(河出文庫 ハ2-12)

P.ハイスミス 著

河出書房新社

クリスマス、おもちゃ売りの女店員はキャロルと出会う...サスペンスの女王による、二人の女性の恋の物語。映画化原作ベストセラー。

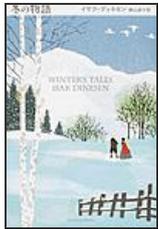
2015.12./ 462p

978-4-309-46416-9

本体 ¥820+税



毎日新聞 2016/12/18



### 冬の物語

イサク・ディネセン、横山 貞子 著

新潮社

北欧の華やかな春、美しい夏、長く厳しい冬のなかを生きるデンマークの人々。作家自身がもっとも愛した物語る力に満ち溢れた短篇集。

2015.12./ 363p

978-4-10-506981-0

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2016/12/18



### 私の「戦後民主主義」

岩波書店編集部 編

赤川 次郎 著

岩波書店

多くの尊い人命と引きかえに、戦争は二度とやらないと誓った憲法とともに獲得された、国民主権、自由と人権の尊重、平和主義、平等...。それらをめぐる、戦後を歩んできた各界 38 人からの貴重なメッセージを掲載する。

2016.1./ 10p,185p

978-4-00-061106-0

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2016/12/18



### トルストイ～戦争と平和(ダイジェストと抄訳)/五月のセヴァストポリ/セルギー神父/ハジ・ムラート/舞踏会の後でほか～(集英社文庫 Z1-4)

加賀 乙彦 編

トルストイ 著

集英社

大長編『戦争と平和』を抄訳と加賀乙彦のダイジェスト、合わせて約 300P に集約! ほか『ハジ・ムラート』など、ロシアの文豪トルストイの初期から最晩年までの作品を新訳で紹介。(解説/加賀乙彦)

2016.1./ 826p

978-4-08-761037-6

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2016/12/18



### 「全世界史」講義～教養に効く!人類 5000 年史～<1> 古代・中世編

出口 治明 著

新潮社

文明の誕生から現代まで、人類 5000 年の歴史を一気読み。複雑な歴史の流れが手に取るようにわかる、「教養の達人」渾身の名講義!

2016.1./ 379p

978-4-10-336472-6

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2016/12/18



### 「全世界史」講義～教養に効く!人類 5000 年史～<2> 近世・近現代編

出口 治明 著

新潮社

古代・中世編に続き、ルネサンスから現代までを一気読み。複雑な歴史の流れが手に取るようにわかる、全ビジネスマン必読の傑作講義!

2016.1./ 396p,19p

978-4-10-336473-3

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2016/12/18



**井筒俊彦全集<第12巻> アラビア語入門**

井筒 俊彦 著  
慶應義塾大学出版会

存在と言語をめぐる、広大無辺な思想コスモス。井筒俊彦のすべての日本語著作を執筆年月日または発表年月日の順に収めた全集。第12巻はローマ字やアラビア文字などをふくむ横組みの著作を収録。

2016:3./ 617p  
978-4-7664-2082-1  
本体 ¥7,800+税



毎日新聞 2016/12/18



**『痴人の愛』を歩く**

樫原 辰郎 著  
白水社

浅草をふりだしに、横浜方面の京浜工業地帯へー谷崎潤一郎の名作をもとに、映画人でもあった文豪の「嗜好」の遍歴を辿るエッセイ。

2016:3./ 221p  
978-4-560-08494-6  
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2016/12/18



**海洋アジア vs.大陸アジア~日本の国家戦略を考える~(セミナー・知を究める1)**

白石 隆 著  
ミネルヴァ書房

アメリカを中心とする海洋同盟と中国を中心とする大陸連携、その大きなうねりのなかで、日本が進むべき道とは何か。

2016:2./ 3p,275p,7p  
978-4-623-07571-3  
本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2016/12/18



**非常識な建築業界~「どや建築」という病~(光文社新書 802)**

森山 高至 著  
光文社

過剰なデザイン、下請け丸投げのゼネコン、偏った建築教育...。建築エコノミストが、現在の建築業界から数々の「非常識」が生みだされる原因を、「どや建築」などいくつかの視点で検証し、解説する。

2016:2./ 245p  
978-4-334-03905-9  
本体 ¥780+税



毎日新聞 2016/12/18



**村に火をつけ、白痴になれ~伊藤野枝伝~**

栗原 康 著  
岩波書店

筆一本を武器に、結婚制度や社会道徳と対決した伊藤野枝。彼女が生涯をかけて燃やそうとしたものは何なのか。気鋭の政治学者が、ほとぼしる情熱、躍動する文体でその人間像と思想に迫る。

2016:3./ 18p,176p  
978-4-00-002231-6  
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/12/18



**視覚都市の地政学~まなざしとしての近代~**

吉見 俊哉 著  
岩波書店

盛り場、百貨店、映画館、街頭テレビ、テレビのある茶の間、ディズニーランド...。都市・東京を舞台に、<まなざしとしての近代>はいかに生成・増殖し、変容したのか。吉見都市論の集大成。「都市のドラマトルギー」の続編。

2016:3./ 10p,468p,27p  
978-4-00-061086-5  
本体 ¥4,900+税



毎日新聞 2016/12/18



### オリンピック経済幻想論～2020年東京五輪で日本が失うもの～

アンドリュー・ジンバリスト 著  
ブックマン社

東京五輪はすでに金銭的にも広告的にも頭打ち。感動を与え富を失う世界的イベントの意味とは?過去の大会の経済収支から読み解く、“オリンピックは儲からない”という真実。

2016:3./ 226p  
978-4-89308-855-0  
本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2016/12/18



### 近代科学の形成と音楽

ピーター・ペジック、竹田 円 著  
NTT出版

音楽なくして近代科学の発展はなかった! 科学者にしてプロのピアニストである著者が、音楽が天文学、数学、物理学、医学・生理学など、科学の幅広い分野に与えた影響を、歴史の流れに沿って紹介する。

2016:12./ 478p  
978-4-7571-6065-1  
本体 ¥5,000+税



毎日新聞 2016/12/18



### 憲法の無意識(岩波新書 新赤版 16)

柄谷 行人 著  
岩波書店

なぜ改憲は実現しないのか。なぜ九条は実行されていないのに、残されているのか。日本人の歴史的・集団的無意識に分け入り、「戦争の末」の平和ではない、世界平和への道筋を示す。2006?2015年の講演を再構成。

2016:4./ 4p,199p  
978-4-00-431600-8  
本体 ¥760+税



毎日新聞 2016/12/18



### 『論語』と孔子の生涯(中公叢書)

影山 輝國 著  
中央公論新社

「論語」の解釈は一通りではない!六朝時代、梁の皇侃が著した「論語義疏」を手がかりに「論語」の豊かな内実を解き明かし、あわせて孔子の生涯を丁寧にとどる。役立つコラムも満載。

2016:3./ 302p  
978-4-12-004816-6  
本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2016/12/18



### 父を想う～ある中国作家の自省と回想～

閻 連科、飯塚 容 著  
河出書房新社

厳しくも慈愛溢れる父や伯父の生き様は古き良き中国を体現していた。文革、貧困、戦争.....ノーベル賞候補作家による感動のエッセイ。

2016:5./ 223p  
978-4-309-20704-9  
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2016/12/18



### われらは愛と正義を否定する～脳性マヒ者横田弘と「青い芝」～

横田 弘、立岩 真也、臼井 正樹 著  
生活書院

障害児殺しの母親の減刑嘆願に異議を申し立て、養護学校の義務化に反対。優生思想をどう考え、フェミニズム運動の何を論争したのか。人生の最期の瞬間まで課題提起を行い続けた脳性マヒ者、横田弘の80年の生涯の実像に迫る。

2016:4./ 235p,11p  
978-4-86500-053-5  
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2016/12/18



### 蔡英文～新時代の台湾へ～

蔡 英文 著  
白水社

台湾初の女性総統が、一度は総統選に敗北しながらも、市民との対話を通じ模索し続けた、新たなリーダーシップの形と未来の台湾の姿。

毎日新聞 2016/12/18

2016:5./ 281p

978-4-560-09248-4

本体 ¥1,900+税



### アントニウスとクレオパトラ<上>

エイドリアン・ゴールズワージー 著  
白水社

アントニウスは優れた軍人・名将だったのか?クレオパトラとの愛はどこまで本物だったのか?通説をいくつも覆す新しい評伝。

毎日新聞 2016/12/18

2016:6./ 289p

978-4-560-09255-2

本体 ¥3,400+税



### アントニウスとクレオパトラ<下>

エイドリアン・ゴールズワージー 著  
白水社

アントニウスは優れた軍人・名将だったのか?クレオパトラとの愛はどこまで本物だったのか?通説をいくつも覆す新しい評伝。

毎日新聞 2016/12/18

2016:6./ 212p,71p

978-4-560-09256-9

本体 ¥3,400+税



### 脳が壊れた(新潮新書 673)

鈴木 大介 著  
新潮社

養老孟司さん絶賛! 深刻なのに笑える、感動の闘病記。握った手を開こうとしただけで、おしっこが漏れそうになるのは何故!? 41歳の脳梗塞とその後の「高次脳機能障害」。当事者による驚きのリアルドキュメント!

毎日新聞 2016/12/18

2016:6./ 233p

978-4-10-610673-6

本体 ¥760+税



### 日本国民であるために～民主主義を考える四つの問い～(新潮選書)

互 盛央 著  
新潮社

「電車で割り込みをされたとき、あなたは何を思いますか?」誰もが日常で抱く違和感と共に「民主主義の原理」を解明し、戦後日本のあまりに特異な姿を浮かび上らせる。私たちが日本国民であることの意味を問い直す試み。

毎日新聞 2016/12/18

2016:6./ 286p

978-4-10-603791-7

本体 ¥1,300+税



### 大災害の時代～未来の国難に備えて～

五百旗頭 真 著  
毎日新聞出版

関東、阪神・淡路、東日本を中心に、2016年の熊本地震まで、日本社会の地震に対する歴史性とその問題点を明らかにし、来るべき大災害への対策を提案する。『毎日新聞』連載を単行本化。

毎日新聞 2016/12/18

2016:6./ 330p

978-4-620-32366-4

本体 ¥2,200+税





**平田篤胤～交響する死者・生者・神々～(平凡社新書 819)**

吉田 麻子 著  
平凡社

新資料から、現代にも通ずる日本独自の豊かな死生観を探求した、江戸後期を代表する思想家としての新たな篤胤像を描き出す意欲作。

2016:7./ 255p

978-4-582-85819-8

本体 ¥820+税



毎日新聞 2016/12/18



**仏教の仮面を?ぐ**

ベルナール・フオール 著  
トランスビュー

仏教の常識を真っ向から再検討。タテマエに固執し理想化しようとする偏狭な「ネオ・ブディズム」に立ち向かい、豊かな多様性を持ちつつ生き続けた仏教が、近代合理主義の行き詰まりに打開の視座を提示すると主張する。

2016:6./ 206p

978-4-7987-0159-2

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2016/12/18



**ボクシングと大東亜～東洋選手権と戦後アジア外交～**

乗松 優 著  
忘羊社

戦後賠償や戦犯裁判と同時期に行われたアジアとのボクシング交流。証言や資料をもとに、ボクシング興行に夢を託した男達の実像と、大戦中 100 万人以上が犠牲となったフィリピンとの国交回復を巡る葛藤と交流の軌跡を描く。

2016:6./ 319p

978-4-907902-11-7

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2016/12/18



**まっ直ぐに本を売る～ラディカルな出版「直取引」の方法～**

石橋 毅史 著  
苦楽堂

最小規模の出版社を始める人が「書店との直取引の方法」を獲得するための教科書。書店の利益を増やす、書店が求める冊数を即日出荷する…。尖鋭にして根源的な本の売り方「直取引(トランスビュー方式)」のすべてを解剖する。

2016:6./ 236p,3p

978-4-908087-04-2

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/12/18



**人生の真実(創元海外 SF 叢書 11)**

グレアム・ジョイス 著  
東京創元社

千里眼を持つ女家長マーサの決断で、赤ん坊はヴァイン家の 8 人の女たちに育てられることに。フランクと名づけられた男の子は風変わりな一族の中で大きくなってゆき…。英国幻想小説の巨匠による、生と死を見つめる家族の物語。

2016:7./ 359p

978-4-488-01460-5

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2016/12/18



**ミュージカル史**

小山内 伸 著  
中央公論新社

ミュージカルはいかにして成熟してきたか。ミュージカルの起源から現在までをひもといたブロードウェイ・ミュージカル史。「ショー・ボート」「オクラホマ!」「マイ・フェア・レディ」など、主要な作品について綴る。

2016:6./ 261p

978-4-12-004861-6

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/12/18



### シェイクスピア～人生劇場の達人～(中公新書 2382)

河合 祥一郎 著  
中央公論新社

世界各国で読み継がれているシェイクスピア。彼が生きた動乱の時代を踏まえて、その人生や作風、そして作品の奥底に流れる思想を読み解き、今に通じる人生哲学を汲み取る。

2016:6./ 4p,242p  
978-4-12-102382-7  
本体 ¥820+税



毎日新聞 2016/12/18



### 父母の記～私的昭和の面影～

渡辺 京二 著  
平凡社

家族との思い出、引き揚げの記憶、水俣病闘争、新日本文学から戦後思想史まで—思想家・渡辺京二が自身の昭和を語る回想記。

2016:8./ 252p  
978-4-582-83736-0  
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2016/12/18



### 人間さまお断り～人工知能時代の経済と労働の手引き～

ジェリー・カプラン、安原 和見 著  
三省堂

人工知能技術の進歩に伴い、「人間さまお断り」の時代は必ずやってくる。そのときに備え、人類はどんな手を打つべきなのか。AI研究に草創期から関わった著者が、IT起業家としての視点から大胆に切り込む一冊。

2016:8./ 268p  
978-4-385-36059-1  
本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2016/12/18



### 日の沈む国から～政治・社会論集～

加藤 典洋 著  
岩波書店

「災後」と「戦後」の共存という事態は何を意味するか。この社会の新たな問題を考えるための指標を示す。『インターナショナル・ニューヨーク・タイムズ』への寄稿文の日本語原文を中心にまとめて書籍化。

2016:8./ 8p,294p  
978-4-00-024529-6  
本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2016/12/18



### 小島信夫長篇集成<9> 静温な日々/うるわしき日々

小島 信夫 著  
水声社

伝統的な小説の方法を悉く破砕する、縦横無尽の小説世界。小島信夫の文学的功績をあらためて見直すことを意図した著作集。9は、「静温な日々」「うるわしき日々」と、それぞれの単行本および文庫の「あとがき」を収録。

2016:7./ 453p  
978-4-8010-0119-0  
本体 ¥6,000+税



毎日新聞 2016/12/18



### 昭和の歌舞伎名優列伝(淡交新書)

石橋 健一郎 著  
淡交社

脈々と続いている歌舞伎の歴史の中で、昭和の歌舞伎とはどのようなものだったのか。十一代目片岡仁左衛門から、六代目中村歌右衛門まで、名優・31名のすがたを通して、昭和の歌舞伎の魅力に迫る。

2016:9./ 275p  
978-4-473-04120-3  
本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2016/12/18



**井筒俊彦全集<別巻> 未発表原稿・補遺・著作目録・年譜・総索引**

井筒 俊彦 著  
慶應義塾大学出版会

存在と言語をめぐる、広大無辺な思想コスモス。井筒俊彦のすべての日本語著作を執筆年月日または発表年月日の順に収めた全集。別巻は未発表原稿をはじめ、補遺、著作目録、年譜などを収録。講演音声 CD 付き。

2016:9./ 1 冊  
978-4-7664-2083-8  
本体 ¥7,200+税



毎日新聞 2016/12/18



**世界をわかないものに育てること~文学・思想論集~**

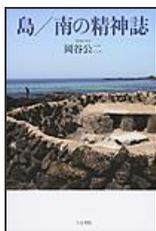
加藤 典洋 著  
岩波書店

「巨匠とマルガリータ」から「永遠の 0」「東京プリズン」まで。同時代と歴史に沈潜し、文学の<現在>を浮き彫りにする。主に 2011 年以降の論考、エッセー、講演記録、文庫解説などを収録。

2016:9./ 6p,272p  
978-4-00-061148-0  
本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2016/12/18



**島/南の精神誌**

岡谷 公二 著  
人文書院

原初の神社を求め聖なる森を訪ね歩き、あるいは、自文明を否定した西欧の南方行の系譜をたどり、日本人にとっての南の意味を問い続ける。「島の精神誌」など既刊 4 冊に単行本未収録の文章を加えて復刊。

2016:9./ 605p  
978-4-409-54083-1  
本体 ¥7,800+税



毎日新聞 2016/12/18



**敦煌から奈良・京都へ**

礪波 護 著  
法蔵館

東洋史学の碩学によるシルクロードや中国の歴史・文化・人物、中国学を牽引した内藤湖南・宮崎市定等に関するユーモア溢れる随筆集。

2016:10./ 318p  
978-4-8318-7710-9  
本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2016/12/18



**吉行淳之介~抽象の閃き~**

加藤 宗哉 著  
慶應義塾大学出版会

昭和のダンディズム、なまなましい生理の結晶と澄みわたる文体の魅力…。吉行淳之介の主要な作品の生成をたどりながら、あらたなる吉行文学の本質を論じる。『三田文学』連載を書籍化。

2016:10./ 186p  
978-4-7664-2381-5  
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2016/12/18



**日本史のなぜ~なぜこの国で一度だけ革命が成功したのか~(朝日新書 583)**

大澤 真幸 著  
朝日新聞出版

日本の歴史上、ただ一人の革命家とは?日本史のなぜを足がかりに、中国の易姓革命、イエス・キリストの革命との比較考察を通じて、社会を変える真因に迫る、知的興奮に満ちた思考の記録。『小説トリッパー』掲載を書籍化。

2016:10./ 195p  
978-4-02-273683-3  
本体 ¥720+税



毎日新聞 2016/12/18



### 果報者ササル〜ある田舎医者物語〜

ジョン・バージャー、ジャン・モア 著

みすず書房

ブッカー賞作家ジョン・バージャーと写真家ジャン・モアが、一人の田舎医者の姿を通して人間と医療の本質を浮彫にした傑作ドキュメント。1967年刊のロングセラーに2015年版解説を加筆して初邦訳。

2016:11./211p

978-4-622-08552-2

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2016/12/18



### 世界一美しい数学塗り絵〜宇宙の紋様〜

Alex Bellos, Edmund Harriss, 秋山 仁 著

化学同人

本書は数学の美の世界を冒険したいという人たちのためのガイドブックであると同時に、色を塗るという作業に没頭することによって洞察力と想像力が培われるようにつくられた塗り絵コレクションです。

2016:11./6p,150p

978-4-7598-1922-9

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2016/12/18



### 土の記<上>

高村 薫 著

新潮社

東京の大学を出て関西の大手メーカーに就職し、奈良県は大宇陀の旧家の婿養子となった伊佐夫。妻を交通事故で失い、古希を迎えた伊佐夫は、残された棚田で黙々と米をつくる…。『新潮』連載を加筆修正。

2016:11./248p

978-4-10-378409-8

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2016/12/18



### 土の記<下>

高村 薫 著

新潮社

雨の下でにわか農夫はじっと息を殺し、晴れば嬉々として田んぼへ飛び出す。男は土を耕し、鯰と遊ぶ。始まりも終わりもない、果てしない人間の物思いと、天と地と、生命のポリフォニー。『新潮』連載を加筆修正。

2016:11./251p

978-4-10-378410-4

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2016/12/18



### 縮充する日本〜「参加」が創り出す人口減少社会の希望〜(PHP新書 1072)

山崎 亮 著

PHP研究所

教育、マーケティング、政治。同時並行的に起きている「参加」の潮流を読み解き、縮小しゆく日本社会の「あるべき姿」を考える。

2016:11./445p

978-4-569-82737-7

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2016/12/18



### 日本教の社会学〜戦後日本は民主主義国家にあらず〜

小室 直樹、山本 七平 著

ビジネス社

戦後日本は民主主義国家ではない、そして戦前日本は軍国主義国家ではない。神学としての日本教、現代日本社会の成立と日本教の倫理をテーマに、政治・経済・宗教など叡智を尽くした白熱の議論をまとめる。

2016:12./365p

978-4-8284-1923-7

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2016/12/18



### サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<上>

ユヴァル・ノア・ハラリ 著  
河出書房新社

国家、貨幣、企業.....虚構が他人との協力を可能にし、文明をもたらした!ではその文明は、人類を幸福にしたのだろうか?現代世界を鋭くえぐる、40カ国で刊行の世界的ベストセラー!

2016:9./ 267p  
978-4-309-22671-2

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2016/12/18、読売新聞 2016/12/25



### サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<下>

ユヴァル・ノア・ハラリ 著  
河出書房新社

近代世界は帝国主義・科学技術・資本主義のフィードバック・ループによって、爆発的に進歩した!ホモ・サピエンスの過去、現在、未来を俯瞰するかつてないスケールの大著、ついに邦訳!

2016:9./ 294p

978-4-309-22672-9

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2016/12/18、読売新聞 2016/12/25



### 謎のアジア納豆～そして帰ってきた<日本納豆>～

高野 秀行 著  
新潮社

辺境作家が目指した未知の大陸、それは納豆だった。山奥のジャングルで出会った納豆ご飯、ぱりぱりと割れるせんべい納豆、日本の究極の納豆...。知的好奇心あふれるノンフィクション。『考える人』掲載に書き下ろしを追加。

2016:4./ 350p

978-4-10-340071-4

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/12/18、日本経済新聞 2016/12/25



### ジニのパズル

崔 実 著  
講談社

中学から朝鮮学校に通うことになったジニは、一人だけ朝鮮語ができず、なかなか居場所が見つけれない。1998年、テポドンが発射された翌日、ジニは警察を名乗る男たちに取り囲まれ...。『群像』掲載を単行本化。

2016:7./ 185p

978-4-06-220152-0

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2016/12/18、日本経済新聞 2016/12/25



### 自由の条件～スミス・トクヴィル・福澤諭吉の思想的系譜～(叢書・知を究める8)

猪木 武徳 著  
ミネルヴァ書房

トクヴィルの「アメリカのデモクラシー」を精査していくなかで、アダム・スミス、トクヴィル、福澤諭吉の英仏日の国際的思想伝播の過程を巡り「人間にとっての自由の意味」を今一度問い直す。

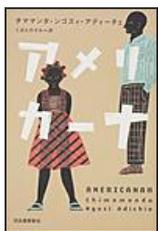
2016:9./ 7p,351p,8p

978-4-623-07792-2

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2016/12/18、日本経済新聞 2016/12/25



### アメリカーナ

チママンダ・シゴズィ・アディーチェ、くぼた のぞみ 著  
河出書房新社

国境に引き裂かれた恋人達が母国で再会する。人種、アイデンティティ、国家といった問題を絡めて描く壮大なスケールの移民の物語。

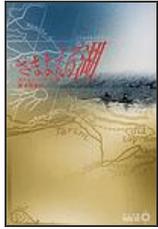
2016:10./ 538p

978-4-309-20718-6

本体 ¥4,600+税



毎日新聞 2016/12/18、日本経済新聞 2016/12/25



**さまよえる湖(中公文庫)**

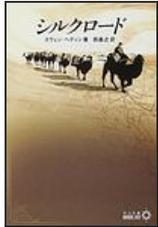
スヴェン・ヘディン 著  
中央公論新社

古代の史書に名をとどめるロプ湖の謎を突きとめるため、ヘディンとその一行は中央アジアの不毛の砂漠に立ち向かった。ヘディン最後の冒険の記録。

毎日新聞 2016/12/25

2001:10./ 421p  
978-4-12-203922-3

本体 ¥1,000+税



**シルクロード(中公文庫)**

スヴェン・ヘディン 著  
中央公論新社

北京からゴビ砂漠を経てハミへ。ウルムチでの幽囚を経て西安へ。最後の大旅行の全行程を「道」をテーマに綴った、西域自動車遠征隊三部作の第二部。

毎日新聞 2016/12/25

2003:3./ 380p  
978-4-12-204187-5

本体 ¥1,000+税



**ペルセポリス<1> イランの少女マルジ**

マルジャン・サトラピ 著  
バジリコ

子供のころ、革命がありました。戦争がありました。人がたくさん死にました…。イスラム革命、イラン・イラク戦争。著者自身が体験してきた激動の時代を斬新なタッチで描いた注目の回想録。

毎日新聞 2016/12/25

2005:6./ 1冊(ページ付なし)

978-4-901784-65-8

本体 ¥1,400+税



**ペルセポリス<2> マルジ、故郷に帰る**

マルジャン・サトラピ 著  
バジリコ

ひとり国を離れ、恋もした。クスリもやった。そして失望した。戦火を逃れた異国での孤独…。傷心の帰国、結婚やがて離婚。著者自身が体験してきた激動の時代を無邪気な声で伝える回想録、第2弾。

毎日新聞 2016/12/25

2005:6./ 1冊(ページ付なし)

978-4-901784-66-5

本体 ¥1,500+税



**ルネサンス絵画の社会史(ヴァールブルク・コレクション)**

マイケル・バクサンドール 著  
平凡社

毎日新聞 2016/12/25

1989:10./ 305p

978-4-582-23815-0

本体 ¥2,893+税



**探検家としてのわが生涯**

スヴェン・ヘディン 著  
白水社

87年にわたる生涯に9回にわたってアジア各地を旅行・探検したヘディン。未知の砂漠をさまよひ、未踏の山地を、河を湖を縦横無尽に探索し、その生涯をひたすら中央アジア探検に捧げた。その探検家としての人生を綴る。

毎日新聞 2016/12/25

1997:10./ 540p

978-4-560-03027-1

本体 ¥4,000+税





**レオナルド・ダ・ヴィンチ論(ちくま学芸文庫 ウ 22-1)**

ポール・ヴァレリー 著  
筑摩書房

レオナルドのデッサンと文章に見られるダイナミックな精神運動に魅せられたヴァレリーが、天才の“創造”の謎に迫る、批評史上に輝く論考。ヴァレリーの思考と美学のすべてを映し出す3篇及び Vues 収録の2篇を新訳で収録。

毎日新聞 2016/12/25

2013:9./ 329p

978-4-480-09556-5

本体 ¥1,300+税



**美術家列伝<第1巻>**

ジョルジョ・ヴァザーリ、森田 義之、越川 倫明、甲斐 教行、宮下 規久朗、高梨 光正、森田 義之 著

中央公論美術出版

美術家の伝記に美術家の美術史的 position、簡単な経歴などを付載し、現存する作品の図版を掲載した書。第1巻は、チマブーエ、アンドレア・ピサーノ、タッデオ・ガッティ、ロレンツォ・モナコ等を取り上げる。

毎日新聞 2016/12/25

2014:2./ 426p

978-4-8055-1601-0

本体 ¥30,000+税



**美術家列伝<第3巻>**

ジョルジョ・ヴァザーリ 著

中央公論美術出版

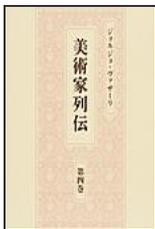
美術家の伝記に美術家の美術史的 position、簡単な経歴などを付載し、現存する作品の図版を掲載した書。第3巻は、レオナルド・ダ・ヴィンチ、ブラマンテ、マルコ・カルディスコ等を取り上げる。

毎日新聞 2016/12/25

2015:2./ 547p

978-4-8055-1603-4

本体 ¥30,000+税



**美術家列伝<第4巻>**

ジョルジョ・ヴァザーリ、森田 義之、越川 倫明、甲斐 教行、宮下 規久朗、高梨 光正、森田 義之 著

中央公論美術出版

美術史において最も重要で著名な不朽の名著、本邦初の完全翻訳。解説と詳細な註、可能な限りの図版を多数掲載した決定版。

毎日新聞 2016/12/25

2016:2./ 441p

978-4-8055-1604-1

本体 ¥30,000+税



**少年少女に希望を届ける詩集**

鈴木 比佐雄 編

コールサック社

少年少女に対する深い愛情が注がれた詩やエッセイを掲載。谷川俊太郎、高村光太郎、新川和江、あさのあつこ、浅田次郎、宮沢賢治、金子みすゞ、落合恵子など、著名な詩人や作家の作品も収録する。

毎日新聞 2016/12/25

2016:8./ 319p

978-4-86435-258-1

本体 ¥1,500+税



**星野智幸コレクション<3> link**

星野 智幸 著

人文書院

星野智幸の代表作と単行本未収録の作品等をあわせた自選作品集。3 は、自死の連鎖の中でもがく「無間道」三部作、植物的な死生観を人間世界に持ち込んだ「アルカロイド・ラヴァーズ」、単行本未収録短篇「桃源郷」などを収録。

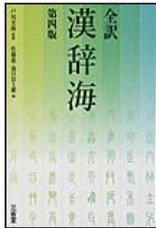
毎日新聞 2016/12/25

2016:12./ 369p

978-4-409-15027-6

本体 ¥2,400+税





### 全訳漢辞海 第4版

佐藤 進、濱口 富士雄 編  
三省堂

漢文学習や中国古典の読解に必要な漢字・語句を中心に、親字約 1 万 2500 字、熟語関連項目 8 万語超を収録。精確な字音情報、合理的な語義解説、句法解説のほか、豊富な漢文用例すべてに日本語訳・書き下し文・出典を明示。

2016:10./ 180p,1,800p  
978-4-385-14048-3  
本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2016/12/25



### 創造元年 1968

笠井 潔、押井 守 著  
作品社

文学、メシ、暴力、エロ、SF、赤軍、ゴジラ、最終戦争...。1968 年という時代に同じ空気を吸っていたクリエイター2 人がその時代と“創造”の原風景を振り返り、半世紀を経た日本と TOKYO の姿を徹底的に語り尽くす。

2016:9./ 253p  
978-4-86182-596-5  
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/12/25



### ペーパーバッククリスマス〜最高の贈りもの〜(Forest Books)

ケヴィン・アラン・ミルン 著  
いのちのことば社

毎日新聞 2016/12/25

2016:10./ 206p  
978-4-264-03380-6  
本体 ¥1,500+税



### 今日という一日のために

近藤 勝重 著  
幻冬舎

なんでもない日も、思い返せば、よく笑った日であった。味わい深い文章で、日常のおかしさやせつなさを鮮やかに切り取る珠玉のコラム集。『毎日新聞』連載 10 周年の「しあわせのトンボ」傑作選。

2016:10./ 223p  
978-4-344-03014-5  
本体 ¥1,100+税



毎日新聞 2016/12/25



### 火あぶりにされたサンタクロース

クロード・レヴィ=ストロース 著  
KADOKAWA

戦後フランスで巻き起こったサンタクロース論争を起点に、現代社会における大人と子ども、死者と生者、そして人類にとっての贈与の意味に切り込んでいく。日仏の人類学者が競演するクリスマス論の名著、新装版。

2016:11./ 113p  
978-4-04-400220-6  
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/12/25



### 青春の門<第8部> 風雲篇(講談社文庫 い1-83)

五木 寛之 著  
講談社

伊吹信介は、ユーラシア大陸横断の大望を胸に秘め、シベリアへの密航を果たす。国際情勢の複雑多岐な現実に戸惑いながらも、大自然に生きる人々との出逢いに心打たれる信介。未知の世界の息吹に触れ、冒険の旅は続く。

2016:12./ 442p  
978-4-06-293486-2  
本体 ¥850+税



毎日新聞 2016/12/25